KD02902-4888

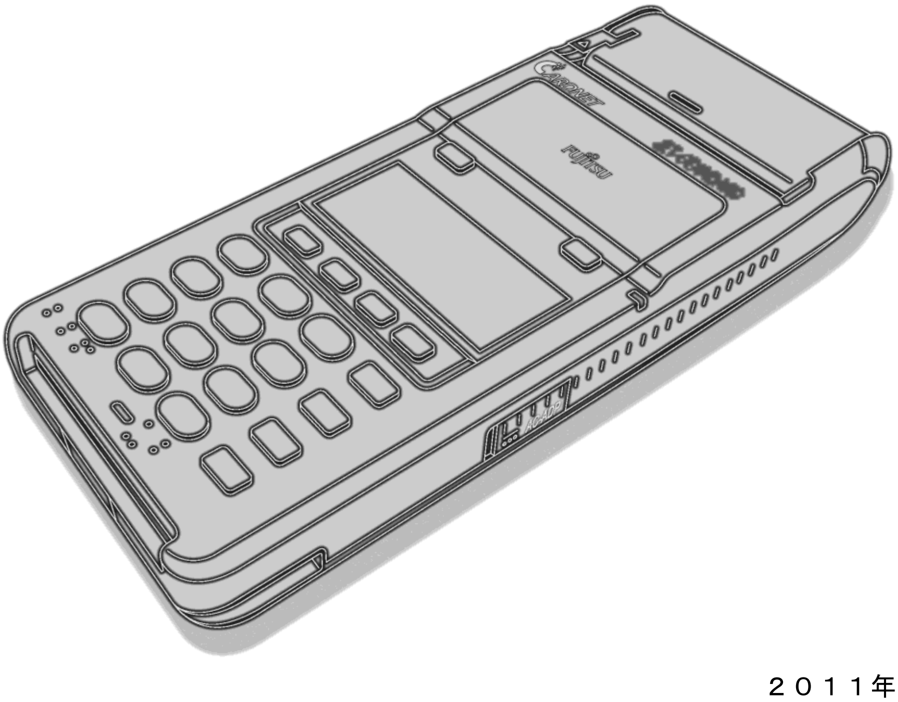
CARDNET

ジェットモバイル
JET-MOBILE

取扱説明書

FUJITSU

FTMP-AM01
FTMP-AA01



２０１１年７月

■ 安全にご使用いただくために

本書には、JET-MOBILE（以降“本端末”といいます）を正しく安全にご使用いただくための、重要な情報が記載されています。
本端末をご使用になる前には、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで、本端末をご使用ください。
また、本書は、本端末の使用中いつでも参照できるよう、大切に保管しておいてください。

■ ごあいさつ

このたびは、JET-MOBILE（以降“本端末”といいます）をご導入いただき、誠にありがとうございます。
本端末は、磁気クレジットカードやICクレジットカード、およびデビットカードを使用した取引が無線で行える決済端末です。また、店舗での集計業務なども行えます。
本書では、店舗の管理者の方や店員の方を対象に、本端末の日常の操作方法を説明しています。
本端末をご使用になる前には、必ず本書をお読みください。

ハイセイフティ用途への使用について

本端末は、一般事務用、パーソナル用、家庭用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以降“ハイセイフティ用途”といいます）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本端末を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合には、担当営業までご相談ください。

輸出する際の注意事項について

本端末および本書を輸出または提供する場合には、外国為替及び外国貿易法及び米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

VCCI 適合基準について

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。『取扱説明書』に従って、正しい取り扱いをしてください。　VCCI-B

高調波電流規格について

本端末は、“高調波電流規格 JISＣ61000-3-2 適合品”です。

電波法の規程について

本端末には、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則第2条第1項11号の3に規定される以下の設備が組み込まれております。
・機器名称：FOMA UM02-F、工事設計認証番号：001XYAA1429

事業系の使用済製品の引取りとリサイクルについて

＜本端末の廃棄について＞

- 本端末の所有権が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。
- 製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引取りを行います。
  お問合せ／お申込み：
  （http://www.frontech.fujitsu.com/eco/）の富士通フロンテックリサイクルシステムをご参照ください。

＜バッテリー（リチウムイオン電池）の廃棄について＞

- リチウムイオン電池は貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- 使用済リチウムイオン電池を廃棄する場合には、充電式電池リサイクル協力店に設置してあるリサイクル BOX に入れてください。
  詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  (http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html)
- リチウムイオン電池を火中に投じると、破裂の恐れがあります。
  使用済リチウムイオン電池は、ビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- 当社は有限責任中間法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。

Li-ion

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

＜メモリ保護電池の廃棄について＞

- 使用済メモリ保護電池を廃棄する場合には、電池がショートしないようコネクタ部をビニールテープなどで絶縁処理をしてから、地方自治体の条例または規則に従って廃棄してください。

■ 本書の見方

本書で使用している記号には、次のような意味があります。

- 警告表示の意味

記号	意味
⚠警告	人体の危険につながるような注意事項を示しています。
⚠注意	けがや損害につながるような注意事項を示しています。

- 図記号の意味

記号	意味
 一般的禁止	一般的な禁止事項を示しています。
 接触禁止	触れてはいけない、という意味です。触れると、感電またはけがをする恐れがあります。
 分解禁止	分解したり改造したりしてはいけない、という意味です。分解したり改造したりすると、感電や火災の恐れがあります。
 強制	必ず行っていただきたいことを示しています。
 プラグを抜け	感電などの危険性があるため、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

- 本文中の記号の意味

記号	意味
注意	注意していただきたいことを示しています。
Point	参考にしていただきたいことや、知っておいてほしいことを示しています。
>参照>	参照先を示しています。

- 画面に表示される内容について

本書では、代表的な画面を例に、操作方法を説明しています。なお、画面に表示される内容は、本端末の種類、カード会社とのご契約、本端末の設定、使用するカードの種類などによって異なる場合があります。

■ 安全上のご注意

本端末を安全にご使用いただくためには、いくつかの注意事項があります。本端末をご使用になる前には、必ず本書をお読みいただき、正しい取扱い方法を守ってください。

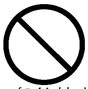
⚠警告

ここに記載された内容を守らないと、人体の危険につながる場合があります。感電や火災など、人体の危険につながるような事故の原因となりますので、内容をよくお読みいただき、正しくお取り扱いください。



一般的禁止

- 落とさない・強い衝撃を与えない
  本端末、バッテリー、および AC アダプタを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。感電や火災の恐れがあります。
  本端末を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合には、すぐに電源を切って、富士通決済端末サポートデスクにご連絡ください。
- 水をかけたり、ぬらしたりしない
  本端末に水をかけたり、水にぬらしたりしないでください。特に、屋外で使用する場合には、雨などで本端末をぬらさないように注意してください。感電や火災の恐れがあります。
- 加熱しない
  本端末、バッテリー、および AC アダプタを加熱したり、火の中に投げ込んだりしないでください。また、車の中（特にダッシュボードなど、直射日光のあたるところ）や炎天下など、高温になる場所に放置しないでください。火災の恐れがあります。
- バッテリーの端子をショートさせない
  バッテリーの＋と－の端子を、ネックレスなどの金属類でショートさせないでください。感電や火災の恐れがあります。
- AC コードを傷つけない
  AC アダプタの AC コードを傷つけたり、加工したり、重いものを乗せたりしないでください。また、AC コードを布でくるんだ状態で使用しないでください。感電や火災の恐れがあります。
- AC コードを束ねない
  AC アダプタの AC コードを束ねないでください。発熱や火災の恐れがあります。
- コンセントを共用しない
  バッテリーを充電する際には、他の機器とコンセントを共用しないでください。火災の恐れがあります。



一般的禁止

- **水や飲み物などの近くでは使用しない**
  本端末、バッテリー、および AC アダプタを、水や飲み物などの近くでは使用しないでください。水や飲み物などがかかると、感電や火災の恐れがあります。
  本端末に水や飲み物などがかかった場合には、すぐに電源を切って、富士通決済端末サポートデスクにご連絡ください。
- **引火や爆発の恐れがある場所では使用しない**
  プロパンガスやガソリンなどの引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。火災の恐れがあります。
- **電波の使用を禁止された場所では使用しない**
  病院や飛行機内など、電波の使用を禁止された場所では使用しないでください。医療用電気機器などに影響を与える恐れがあります。
- **高精度な電子機器の近くでは使用しない**
  高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器（補聴器、ペースメーカ、その他医療用電気機器、火災報知機、自動ドア、その他自動制御装置）の近くでは、本端末の電源を切ってください。電子機器が誤作動するなどの影響を与える恐れがあります。
  ペースメーカ、その他医療用電気機器をご使用される方は、当該の各医療用電気機器メーカまたは販売業者に、電波による影響をご確認ください。



接触禁止

- **ぬれた手でコンセントに触らない**
  バッテリーを充電する際には、ぬれた手でコンセントに触らないでください。感電の恐れがあります。



分解禁止

- **分解・改造・焼却しない**
  本端末、バッテリー、および AC アダプタを、分解したり、改造したり、焼却したりしないでください。感電や火災の恐れがあります。



強制

- **作業は電源を切ってから行う**
  紙づまりの除去などの作業は、電源を切ってから行ってください。感電の恐れがあります。
- **表示された電源電圧で使用する**
  AC アダプタなどは、機器に表示されている電源電圧で使用してください。感電や火災の恐れがあります。
- **電源プラグを持って着脱する**
  バッテリーを充電する際には、電源プラグを持って、AC コードを着脱してください。AC コードを引っ張ったりしないでください。感電や火災の恐れがあります。

強制

- **雷に注意する**
  屋外で使用中に雷が鳴りだした場合には、すぐに電源を切って、安全な場所に移動してください。感電の恐れがあります。

プラグを抜け

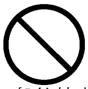
- **煙・臭い・音に注意する**
  煙が出たり、変な臭いがしたり、変な音がしたりしたら、すぐに電源を切って、バッテリーを本端末から外してください。バッテリーの充電中の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグを抜いて、バッテリーを本端末から外してください。感電や火災の恐れがあります。
  その後、富士通決済端末サポートデスクにご連絡ください。

⚠注意

ここに記載された内容を守らないと、けがや損害につながる場合があります。けがや損害につながるような事故の原因となりますので、内容をよくお読みいただき、正しくお取り扱いください。

一般的禁止

- **本書に記載のないことは行わない**
  本書に記載のないことは行わないでください。また、本書で説明されていない本端末の箇所をいじらないでください。万一、本端末内に登録されているデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- **上に物を置かない・押さえつけない**
  本端末の上に物を置いたり、押さえつけたりしないでください。本端末が破損する恐れがあります。
- **落とさない・衝撃を与えない**
  本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  本端末には、精密センサが内蔵されています。衝撃によって精密センサが壊れてしまうと、本端末が正常に動作しなくなる恐れがあります。
- **後ろポケットなどに入れない**
  本端末を持ち運ぶ際には、ズボンの後ろポケットなどに入れないでください。座ったときに、本端末が破損する恐れがあります。
- **勝手に廃棄しない**
  本端末を勝手に廃棄しないでください。廃棄する場合には、設置の申込みをしたカード会社にご連絡ください。
- **勝手に修理しない**
  本端末を勝手に修理しないでください。正常に動作しない場合には、富士通決済端末サポートデスクにご連絡ください。



一般的禁止

- **不良カードを使用しない**
  次のような不良カードは、使用しないでください。
  - セロテープなどが貼ってあるカード
  - 金属箔､金属板､導電体などの異物がついているカード
  - 折れたり、反ったり、曲がったりしているカード
  - 破れているカード
  - 磁気情報が壊れているカード
- **磁気カードリーダにカード以外を通さない**
  磁気カードリーダには、カードまたはクリーニングカード以外のものを通さないでください。特に、金属類は挿入しないでください。
- **IC カード挿入口にカード以外を挿入しない**
  IC カード挿入口には､カードまたはクリーニングカード以外のものを挿入しないでください。特に、金属類は挿入しないでください。
- **幼児や子供の触れるところに置かない**



接触禁止

- **印字直後にはプリンタ部に触らない**
  印字直後には、プリンタ部が高温になっている場合があるため、プリンタ部に触らないでください。やけどの恐れがあります。
- **プリンタ部のカッターに触らない**
  プリンタ部には、ロール紙を切るためのカッターが付いています。誤って手を切らないように注意してください。



強制

- **電源の投入・切断は手順どおりに行う**
  電源を入れたり切ったりするときには、本書の手順どおりに行ってください。手順に従わないと、本端末が故障したり、本端末内のデータが壊れてしまう恐れがあります。
- **ロール紙の交換に注意する**
  ロール紙を交換する際には、プリンタ部に髪の毛などが巻き込まれないように注意してください。
- **液晶ディスプレイの破損に注意する**
  液晶ディスプレイ（画面）の内部の液には、刺激性の物質が含まれています。液晶ディスプレイが破損して、液が流れ出してしまった場合には、絶対に液を口に入れないでください。誤って口に入れてしまった場合には、流水で 15 分以上洗浄した後に、医師に相談してください。皮膚に付着してしまった場合には､流水で 15 分以上洗浄してください。
- **バッテリー・メモリ保護電池は専用品を使用する**
  バッテリーおよびメモリ保護電池は、専用品を使用してください。専用品以外を使用すると、本端末が故障する原因となります。

強制

- **ACアダプタは専用品を使用する**
  ACアダプタは、専用品を使用してください。専用品以外を使用すると、電圧や電流容量などの差異によって、本端末が故障する原因となります。

■ 本端末の使用環境について

本端末は、無線を利用しています。本端末は、次のような場所や環境では使用できませんので、注意してください。

場所・環境	影響	対処方法
FOMAサービスエリア 圏外の場所	電波が届きません。	電波状態の良い場所に移動します。
トンネル 地下 エレベータ	電波が届きません。または、電波が弱くなります。	
高層ビル 海岸沿い	複数の基地局と接続され、基地局が特定できません。	低層階または内陸部に移動します。
金属物の近く （スチール机・ スチール棚など）	電波が金属物に吸収されてしまいます。	本端末を金属物から10cm以上離します。
複数台または 他の無線機器との同時使用	電波が干渉し合ってしまいます。	機器間を、70cm以上離します。

なお、電波状態が良い場合でも、使用中に電波状態の悪い場所へ移動したりすると、通信が切れることがありますので、注意してください。

■ 本端末の使用上の注意について

- 低温下での使用について
  低温下では、本端末の運用時間が、常温下に比べて減少します。
  低温下で使用される場合には、早めに充電してください。
- 充電を知らせるメッセージが表示されたら、すみやかに充電を行ってください。
- 高温下（40℃以上）の環境で、本端末を長時間手に持って使用されると、低温火傷の原因となることがあります。十分に注意してください。

■ 本端末の使用場所・保管場所について

本端末を、次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。感電、火災、故障の原因となります。

- 静電気、ほこり、湿気の多い場所
- 温度 0～50℃（長期保管の場合は 0～20℃を推奨）、湿度 20～85％の範囲を超える場所（サウナなど）
- 直射日光の当たる場所（車のダッシュボードなど）
- 火気の周辺、または熱気のこもる場所
- 薬品などの近く
- 冷暖房器具の近く
- 漏水、漏電の危険がある場所
- 強い磁界が発生する場所
- テレビ、ラジオ、コードレス電話機などの近く
- 補聴器、ペースメーカ、その他医療用電気機器の近く
- 火災報知機、自動ドア、その他自動制御装置などの近く

■ 本端末の長期保管方法について

本端末を長期保管する場合には、**十分に充電されたバッテリーと、メモリ保護電池が装着された状態で保管してください。また、メモリ保護電池の消耗を防ぐために、1か月ごとにバッテリーを充電してください。バッテリーを充電しないと、本端末内のデータが壊れてしまう場合があります。**

■ 本端末の清掃について

本端末が汚れてしまった場合には、きれいな乾いた布で拭いてください。汚れがひどい場合には、布に水または洗剤を含ませて、固く絞ってから汚れた部分を拭いてください。
なお、本端末清掃の際には、ベンジンやシンナーなどの揮発性の有機溶剤や、薬品科学ぞうきん、殺虫剤は使用しないでください。変形、変色、故障の原因となります。
また、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）も使用しないでください。
ご使用の清掃用スプレーが可燃性かどうかについては、清掃用スプレー現品をご確認いただくか、または清掃用スプレーメーカにご確認ください。

■ 本端末の故障について

本端末が故障した場合には、富士通決済端末サポートデスクにご連絡ください。

■ 梱包箱の保管について

梱包箱は、廃棄せずに、大切に保管しておいてください。本端末の修理や設定変更などを依頼する際に使用します。

■ 目次

第1章　はじめてご使用になるときに

1.1 本端末の種類について

ここでは、本端末の種類を説明します。
本端末には、使用できるカードの種類によって、次の２種類があります。

- **クレジット／デビット両用機**
  磁気クレジットカード、IC クレジットカード、およびデビットカードでの販売業務を行うことができます。
- **クレジット専用機**
  磁気クレジットカードおよび IC クレジットカードでの販売業務を行うことができます。

注意 IC クレジットカードおよびデビットカードは、カード会社とのご契約によって、使用できない場合があります。

Point 本端末には、上記の種類のほかに、クレジットカードでの取引の処理方法によって、次の２種類があります。
・ギャザリング端末
・オーソリ端末

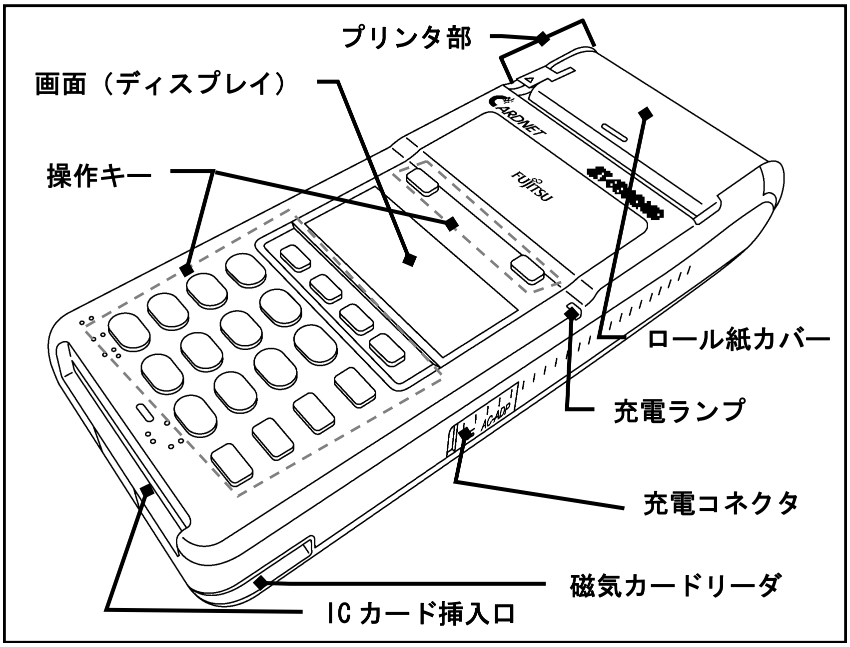
>参照> ギャザリング端末およびオーソリ端末については、「4-2ページ　クレジットカードでの取引の処理方法（ギャザリング・オーソリ）について」を参照してください。

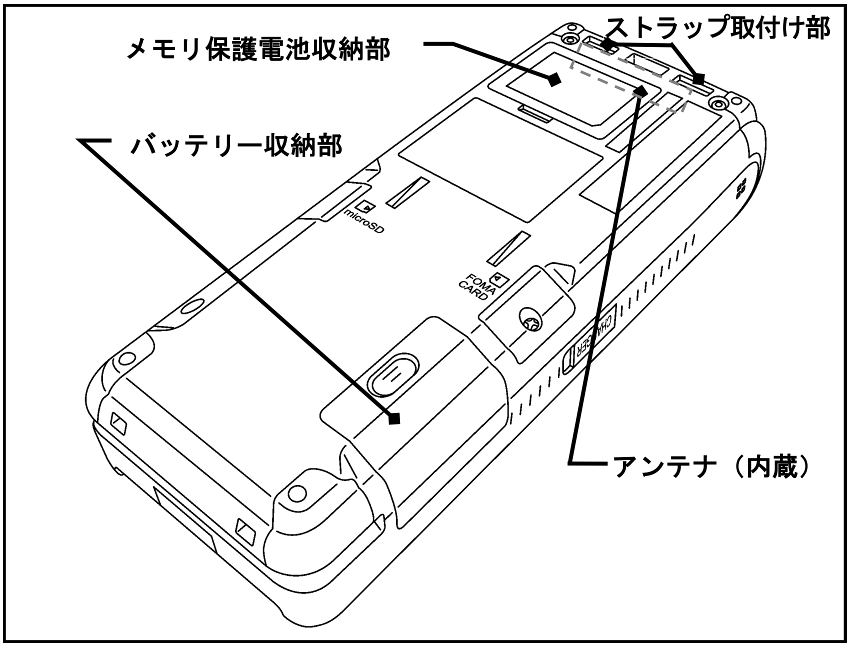
注意 本端末は、充電式バッテリーを使用しています。
本端末は、バッテリーをフルに充電してから使用してください。

>参照> バッテリーを充電する方法については、「2-2ページ　バッテリーの充電方法」を参照してください。

1.2　各部の名称

ここでは、本端末の各部の名称を説明します。

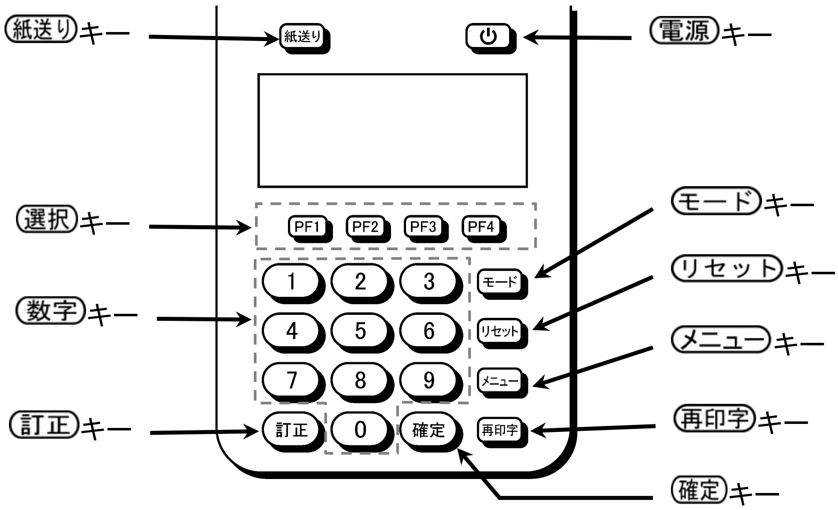




注意　アンテナが内蔵されている箇所の周辺にはステッカーなどを貼らないでください。

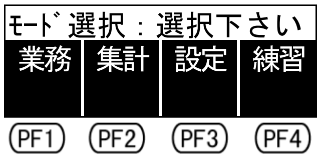
1.3　操作キーの使い方

ここでは、本端末の操作キーの使い方を説明します。



- 紙送りキー
  ロール紙を自動的に紙送りするときに使用します。このキーを押している間、本端末はロール紙を少しずつ送り続けます。
- 電源キー
  電源を入れたり切ったりするときに使用します。電源を切るときは、２秒以上押してください。

Point　本端末の電源を入れると、モード選択画面が表示されます。



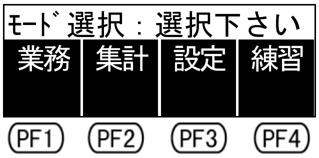
>参照>　電源を入れた後の画面の流れについては、「1-10ページ　電源を入れた後の画面の流れ」を参照してください。

Point　本端末の電源が切れるのは、次の画面です。
・業務パスワード入力画面
・モード選択画面
・業務初期画面
（クレジット業務初期画面、デビット業務初期画面を含む）
・管理パスワード入力画面
・集計初期画面
・設定初期画面
・練習初期画面
・練習モードの次の画面
－ 業務初期画面
（クレジット業務初期画面、デビット業務初期画面を含む）
－ 管理パスワード入力画面
－ 集計初期画面
なお、上記以外の画面では、ロックがかかり電源を切ることはできません。

> **Point**　本端末の電源を切っても、本端末内のメモリバックアップ機能が働くため、本端末内電源回路の一部が活電された待機状態となっています。

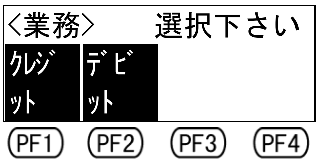
- **選択キー**（PF1からPF4）
  PF1からPF4の各キーは、画面の１番下の行に表示される項目に対応しています。表示される項目の中から１つを選択するときに使用します。
- **モードキー**
  モード選択画面に戻すときに使用します。
  本端末には、次の４つのモードがあります。
  - 業務モード
    磁気クレジットカード、IC クレジットカード、およびデビットカードでの売上や取消返品などを行うモードです。
  - 集計モード
    中間計や日計表の印字などを行うモードです。
  - 設定モード
    本端末の設定値の確認や変更を行うモードです。
  - 練習モード
    本端末の操作の練習を行うモードです。業務および集計の操作を練習できます。

≪モード選択画面≫

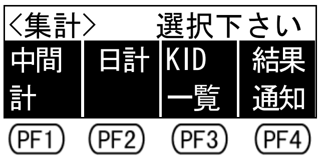


≪各モードの初期画面≫

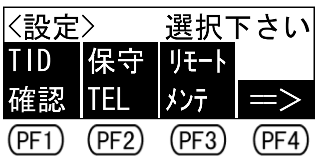
【業務初期画面】



【集計初期画面】



【設定初期画面】

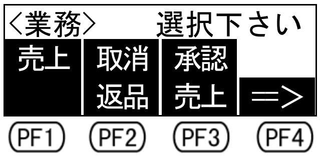


【練習初期画面】



Point　モード選択画面でPF2（集計）キーまたはPF3（設定）キーを押すと、本端末の設定によって管理パスワード入力画面が表示される場合があります。この場合には、管理パスワードを入力して、確定キーを押してください。

Point　業務初期画面は、クレジット専用機の場合には、次の画面となります。なお、PF3（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。



Point　集計初期画面のPF4（結果通知）は、IC クレジットカードでの売上の際に取引データの送信に失敗して、本端末内に送信されていない取引データが残っている場合に表示されます。

>参照>　本端末の設定については、「7-17ページ　パスワードの設定・消去」を参照してください。

- **リセットキー**
  処理を中止するときに使用します。このキーを押すと、画面は操作中の処理の初期画面に戻ります。
- **メニューキー**
  本端末ごとの装置固有の設定を行うときに使用します。
- **再印字キー**
  売上票や日計表などの伝票を、印字し直すときに使用します。このキーを押すと、直前の取引の伝票を再印字することができます。
- **訂正キー**
  誤操作または誤入力をしたときに使用します。このキーを押すと、入力した値が消去されて、直前の画面に戻ります。何も入力しないでこのキーを押すと、１つ前の画面に戻ります。
- **確定キー**
  １つの画面に対する入力を終了するときや、一連の操作（すべてのデータの入力）を完了するときに使用します。
- **数字キー**
  金額や商品コードなどの数字を入力するときに使用します。

Point　操作を間違えた場合の対処方法

・入力を誤った場合
入力の途中で[訂正]キーを押すと、間違えた値が消去されます。正しい値を入力してください。

・既に入力した値を訂正したい場合
[訂正]キーを押すと、１つ前の画面に戻ります。正しい値を入力してください。

・その他
- 入力値が不正な場合
  ありえない値（13 月など）を入力してしまった場合には、ブザーが鳴ります。正しい値を入力してください。
- 入力桁数がオーバーした場合
  入力桁数がオーバーしてしまった場合には、ブザーが鳴ります。[訂正]キーを押して、正しい値を入力してください。
- 不正なキーを押した場合
  許可されていないキーを押してしまった場合には、ブザーが鳴ります。

1.4　カードの読取り方

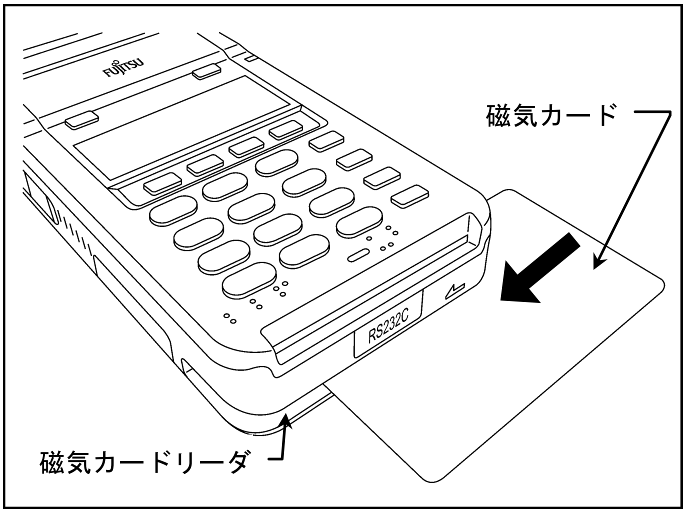
ここでは、磁気カードおよび IC カードの読取り方を説明します。

1.4.1　磁気カードの読取り方

ここでは、磁気カードの読取り方を説明します。
磁気クレジットカードまたはデビットカードは、この方法で読み取ってください。

注意　デビットカードは、カード会社とのご契約によって、使用できない場合があります。

（1）　磁気カードを、磁気カードリーダに通します。



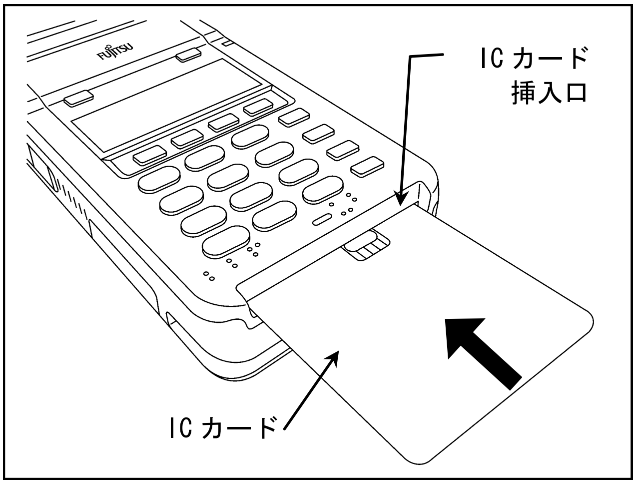
注意　磁気カードリーダの溝にそって、磁気カードを右から左へ、すばやく通してください。

1.4.2　IC カードの読取り方

ここでは、IC カードの読取り方を説明します。
IC クレジットカードは、この方法で読み取ってください。

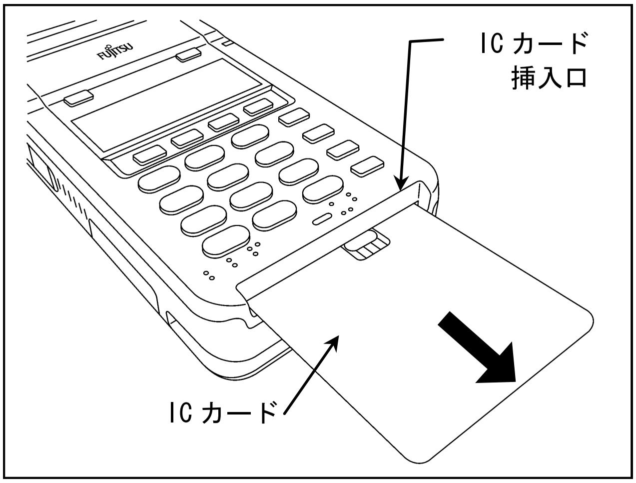
注意　IC クレジットカードは、カード会社とのご契約によって、使用できない場合があります。

(1)　IC カードを、IC カード挿入口に挿入します。



注意　IC カードの表が上向きとなるようにして、軽く奥に突きあたるまで挿入してください。

(2)　“IC カードを抜いて下さい”とメッセージが表示されたら、IC カードを抜き取ります。



注意　必ず、“IC カードを抜いて下さい”とメッセージが表示されたことを確認してから、IC カードを抜き取ってください。“IC カードを抜いて下さい”とメッセージが表示される前に IC カードを抜くと、IC カードや本端末が故障する恐れがあります。

1.5　電源を入れた後の画面の流れ

ここでは、本端末の電源を入れた後の画面の流れを説明します。
本端末の電源を入れると、次のような画面が順に表示されます。

(株)日本ｶｰﾄﾞﾈｯﾄﾜｰｸ
APLNO : VXXLXX
FTMP-XXXX

業務ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ********
入力後確定ｷｰをどうぞ

業務パスワード入力画面で、業務パスワードを入力して、(確定)キーを押します。

Point この画面は、本端末の設定によって、表示されない場合があります。

Point 業務パスワードは、８桁まで入力できます。

Point 入力した業務パスワードは、“＊”で表示されます。

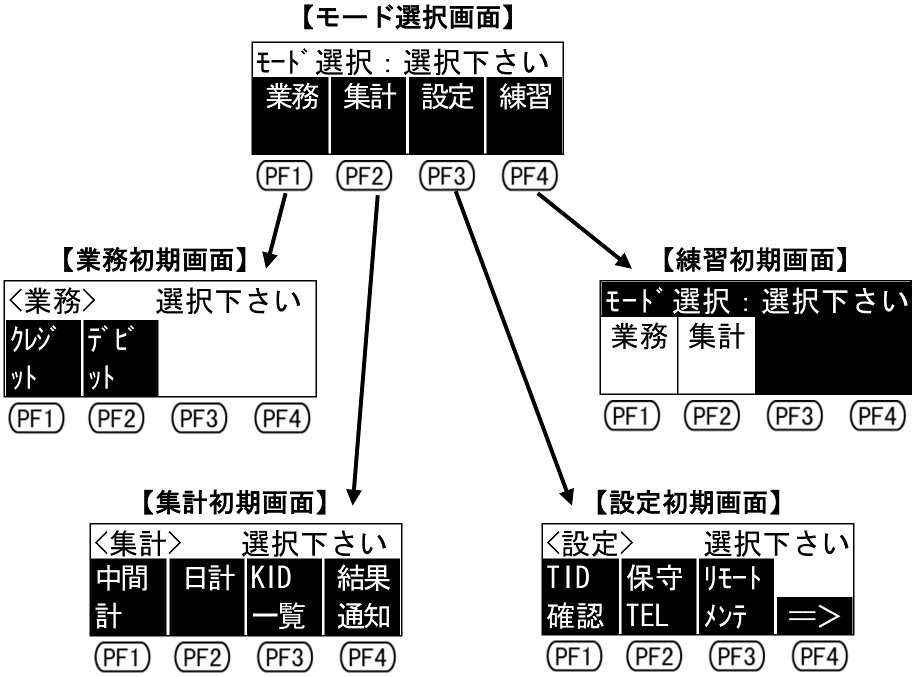
>参照> 本端末の設定については、「7-17ページ　パスワードの設定・消去」を参照してください。

ﾓｰﾄﾞ選択：選択下さい

業務	集計	設定	練習
(PF1)	(PF2)	(PF3)	(PF4)

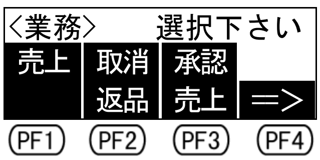
モード選択画面が表示されます。

モード選択画面で各モードに対応する選択キーを押すと、各モードの最初の画面が表示されます。これらの画面を“業務初期画面”、“集計初期画面”、“設定初期画面”、“練習初期画面”といいます。



Point　モード選択画面で(PF2)（集計）キーまたは(PF3)（設定）キーを押すと、本端末の設定によって管理パスワード入力画面が表示される場合があります。この場合には、管理パスワードを入力して、(確定)キーを押してください。

Point　業務初期画面は、クレジット専用機の場合には、次の画面となります。なお、(PF3)（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。

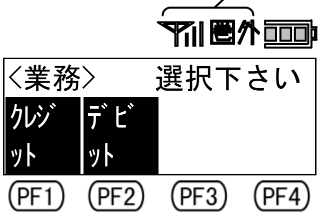


Point　集計初期画面の(PF4)（結果通知）は、IC クレジットカードでの売上の際に取引データの送信に失敗して、本端末内に送信されていない取引データが残っている場合に表示されます。

>参照>　本端末の設定については、「7-17ページ　パスワードの設定・消去」を参照してください。

1.6　アンテナ表示とバッテリー表示の見方

ここでは、本端末の画面の右上に表示されるアンテナ表示とバッテリー表示の見方を説明します。



アンテナ表示
電波状態の目安が表示されます。電波の届いていない場所では、“圏外”が表示されます。

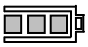
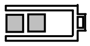
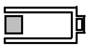
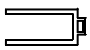
バッテリー表示
バッテリー残量の目安が表示されます。

■ アンテナ表示

アンテナ表示	アンテナ本数	意味（電波状態の目安）
	4 本	電波状態が良好です。本端末での取引ができます。
	3 本	電波状態がやや良好です。本端末での取引ができます。
	2 本	電波状態が弱いです。本端末での取引はできません。本端末の向きを変えて使用してみてください。それでも取引できない場合には、電波状態の良い場所に移動して、本端末を使用してください。
	1 本	
圏外		FOMA サービスエリア圏外です。本端末での取引はできません。電波状態の良い場所に移動して、本端末を使用してください。

注意　アンテナ表示は目安です。電波状態が良好でも、本端末での取引ができない場合もありますので、注意してください。

■ バッテリー表示

バッテリー表示	意味（バッテリー残量の目安）
	バッテリーが十分に残っています。本端末での取引ができます。
	バッテリーが若干少なくなっています。本端末での取引ができます。
	バッテリーが少なくなっています。本端末での取引はできますが、早めにバッテリーを充電してください。
	バッテリーがほとんど残っていません。本端末での取引はできません。すぐにバッテリーを充電してください。

注意　バッテリー表示は目安です。バッテリーが多少残っていても、本端末での取引ができない場合もありますので、注意してください。

>参照>　バッテリーを充電する方法については、「2-2ページ　バッテリーの充電方法」を参照してください。

1.7　タイマ機能について

ここでは、本端末のタイマ機能について説明します。
本端末には、次のようなタイマ機能があります。なお、それぞれのタイマの値は、本端末の機器設定で変更することができます。

>参照>　本端末の機器設定については、「7-8ページ　機器設定（機器に関する情報の設定）」を参照してください。

■ 自動電源OFFタイマ（初期設定値：５分）

操作の途中で一定時間何も操作しないと、本端末の電源が自動的に切れます。

Point　自動電源OFFタイマが有効なのは、次の画面です。
- 業務パスワード入力画面
- モード選択画面
- 業務初期画面（クレジット業務初期画面、デビット業務初期画面を含む）
- 管理パスワード入力画面
- 集計初期画面
- 設定初期画面
- 練習初期画面
- 練習モードの次の画面
  - 業務初期画面（クレジット業務初期画面、デビット業務初期画面を含む）
  - 管理パスワード入力画面
  - 集計初期画面

■ バックライト消灯タイマ（初期設定値：３分）

操作の途中で一定時間何も操作しないと、画面とキーのバックライトが自動的に消えます。この場合、任意のキーを押すと、元に戻ります。

Point　バックライト消灯タイマに“０分”を設定すると、バックライトは常についたままとなります。

Point　バックライト消灯タイマは、通信中と印字中には無効となります。

■ キー入力待ちタイマ（初期設定値：60秒）

操作の途中で一定時間何も入力しないと、次のメッセージが表示され、それ以上操作ができなくなります。この場合には、リセットキーを押して、最初から操作し直してください。

```
M04:　入力ﾀｲﾑｱｳﾄ
ﾘｾｯﾄｷｰを押して、
やり直して下さい
```

■ 暗証番号入力待ちタイマ（初期設定値：180 秒）

暗証番号入力の途中で一定時間何も入力しないと、次のメッセージが表示され、それ以上操作ができなくなります。この場合には、リセットキーを押して、最初から操作し直してください。

```
M04:  入力ﾀｲﾑｱｳﾄ
ﾘｾｯﾄｷｰを押して、
やり直して下さい
```

1.8　会員番号の非表示機能について

ここでは、会員番号の非表示機能について説明します。
本端末には、伝票に印字されるカード番号、口座番号、および有効期限を非表示にする会員番号の非表示機能があります。
会員番号の非表示機能とは、カード会社とのご契約によって、カード番号の一部、口座番号の一部、および有効期限を“X”で印字することです。
会員番号の非表示機能は、個人情報保護の観点から、個人情報の漏洩を防止すること、また、それに起因する不正使用の発生を防止することを目的として実施しています。

Point　会員番号の非表示機能の対象となるのは、次のカード番号、口座番号、および有効期限です。
・クレジット売上票に印字されるカード番号および有効期限
・デビット売上票（口座引落確認書）に印字される口座番号
・中間計および日計表に印字されるカード番号および口座番号

Point　会員番号の非表示機能は、端末ごとの設定となります。したがって、カード会社とのご契約によって会員番号を非表示とした端末では、その端末で行ったすべての取引でカード番号の一部、口座番号の一部、および有効期限が“X”で印字されます。

>参照>　会員番号非表示の場合の伝票印字例については、「9-2ページ　クレジット売上票」、「9-6ページ　デビット売上票（口座引落確認書）」、および「9-10ページ　日計表」を参照してください。

注意　クレジット取消返品を行う際に、取消、返品、またはオーソリ予約取消を行う売上票において、会員番号が非表示（カード番号の一部、および有効期限が“X”）となっている場合で、お客様のクレジットカードがない場合には、マニュアル入力を行うことができません。この場合には、検索入力を行うか、または該当するカード会社にお問い合わせください。

注意　会員番号の非表示機能についてのご質問などは、本端末の申し込みをされたカード会社にお問い合わせください。

>参照>　クレジット取消返品については、「4-43ページ　クレジット取消返品」を参照してください。

>参照>　マニュアル入力については、「4-53ページ　マニュアル入力(カード情報の手動入力)」を参照してください。

>参照>　検索入力については、「4-57ページ　検索入力（カード情報の検索入力）」を参照してください。

第2章　　本端末の取扱いについて

2.1　バッテリーの充電方法

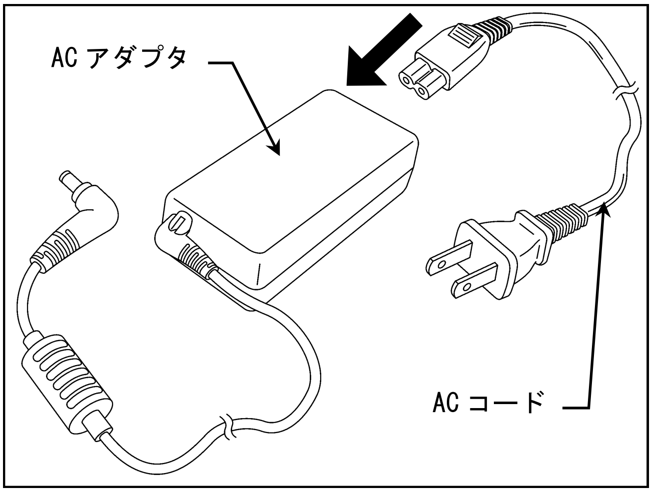
ここでは、バッテリーを充電する方法を説明します。

注意	本端末では、充電式バッテリーを使用しています。本端末を初めてご使用になる場合には、バッテリーをフルに充電するために、最低 2.5 時間の充電を行ってください。なお、バッテリーがフルに充電された状態で、本端末を長期保管した場合、約 1.5 か月間、本端末内のデータが保護されます。
注意	バッテリーの充電は、0～40℃の環境にて行ってください。

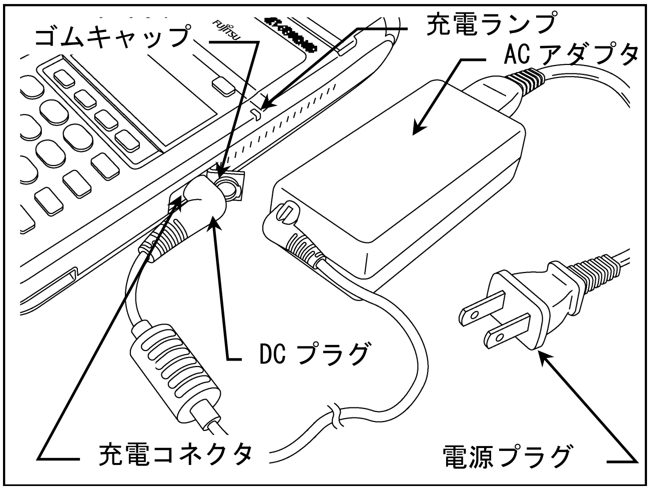
（1）　本端末の電源を切ります。

注意	必ず、本端末の電源を切ってから、バッテリーを充電してください。 本端末の電源を切らずに充電した場合には、フルに充電できないことがあります。

（2）　AC アダプタと AC コードを接続します。



（3）　充電コネクタのゴムキャップを開けて、AC アダプタの DC プラグを接続します。



注意	AC アダプタおよび AC コードは、専用品を使用してください。専用品以外を使用すると、電圧や電流容量などの差異によって、本端末が故障する原因となります。

（4）　AC コードの電源プラグを、コンセントに接続します。

Point	充電中は、本端末の充電ランプが緑色に点灯します。 充電が完了すると、充電ランプが消えます。
Point	バッテリーが空の状態から、約 2.5 時間で充電が完了します。

注意	充電を正常に行うために、充電が完了するまで、AC コードの電源プラグをコンセントから外さないでください。
注意	本端末の充電ランプが赤色に点灯した場合には、ただちに AC アダプタの DC プラグを充電コネクタから外し、バッテリーを本端末から外して、富士通決済端末サポートデスクにご連絡ください。

（5）　充電ランプが消えて充電が完了したことを確認したら、AC コードの電源プラグをコンセントから外して、AC アダプタの DC プラグを充電コネクタから外します。

注意	AC アダプタおよび AC コードは、保管しておいてください。

2.2　備品の交換方法

ここでは、次の備品を交換する方法を説明します。

- バッテリー
- メモリ保護電池
- ロール紙
- ロール紙カバー
- プラテン

>参照>　備品のご注文については、「付-3ページ　端末オプション品」を参照してください。

2.2.1　バッテリーの交換方法

ここでは、バッテリーを交換する方法を説明します。

注意　**バッテリーの交換は、必ず残量のあるメモリ保護電池が本端末にセットされた状態で行ってください。メモリ保護電池が外されたままバッテリーを交換すると、本端末内のデータが壊れて、本端末が使用できなくなりますので、絶対に行わないでください。**

注意　バッテリーを交換する前には、メモリ保護電池のアラームメッセージが表示されていないことを確認してください。メモリ保護電池のアラームメッセージが表示されている状態でバッテリーを取り出すと、本端末内のデータが消えてしまいます。
なお、メモリ保護電池のアラームメッセージが表示されている場合には、メモリ保護電池を交換してから、バッテリーを交換してください。

注意　バッテリーの交換は、本書に記載されている手順に従って行ってください。手順を間違えると、本端末が故障したり、本端末内のデータが壊れる原因となります。

注意　バッテリーを交換した後には、バッテリーを充電してから、本端末を使用してください。

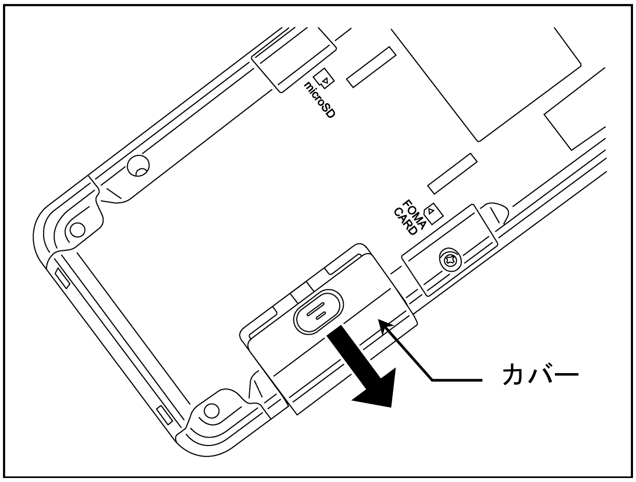
>参照>　メモリ保護電池を交換する方法については、「2-8ページ　メモリ保護電池の交換方法」を参照してください。

>参照>　バッテリーを充電する方法については、「2-2ページ　バッテリーの充電方法」を参照してください。

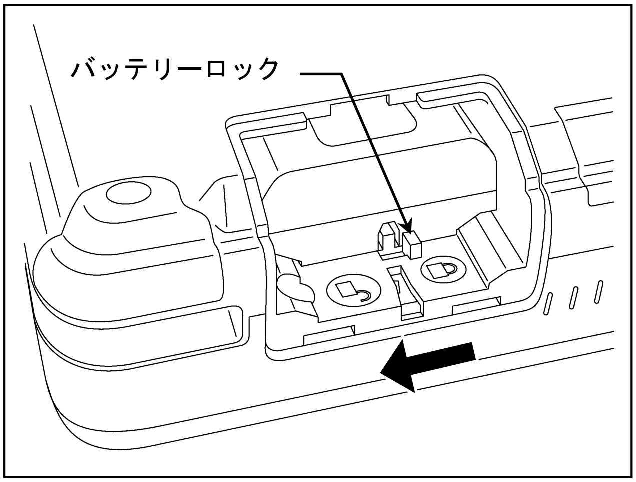
（1）　本端末の電源を切ります。

注意　本端末の電源を切らないでバッテリーを取り出すと、本端末内のデータが消えてしまう恐れがあります。

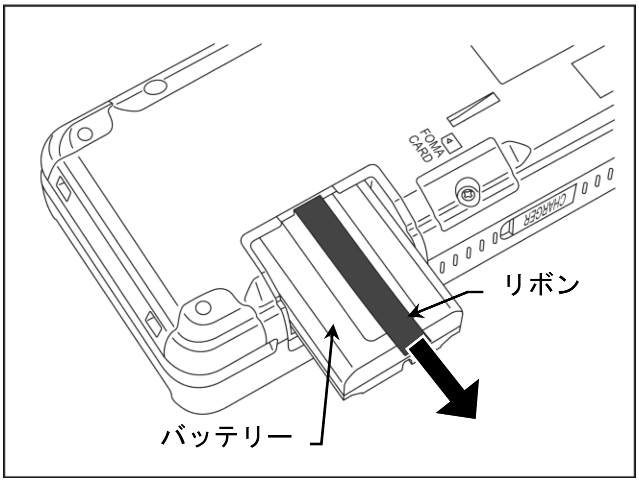
（2）　バッテリー収納部のカバーを親指などで押しながら、右側にずらして、カバーを外します。



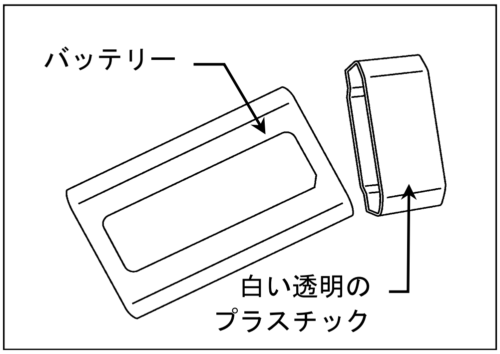
（3）　バッテリーロックを手前にスライドさせます。



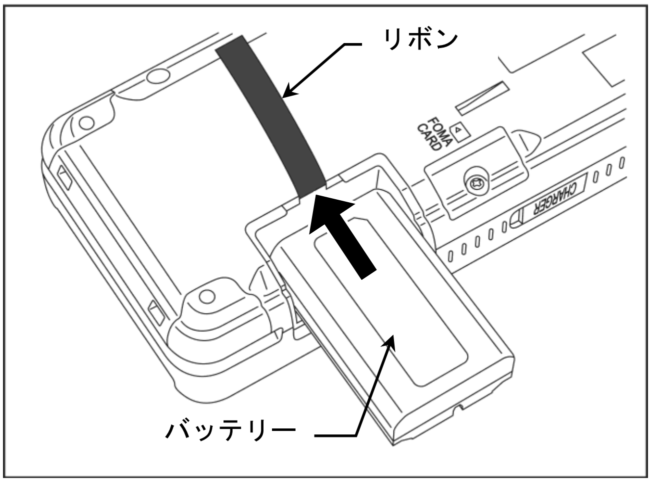
（4）　黒いリボンを手前に軽く引いて、バッテリーを取り出します。



(5)　新しいバッテリーの端子側に白い透明のプラスチックが付いている場合には、白い透明のプラスチックを取り外します。

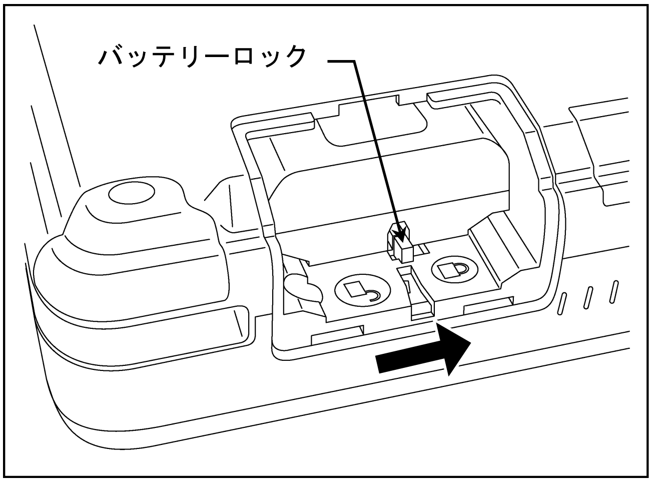


(6)　黒いリボンを上にあげ、バッテリーの端子を下側にして、端子側からバッテリーをバッテリー収納部に挿入します。



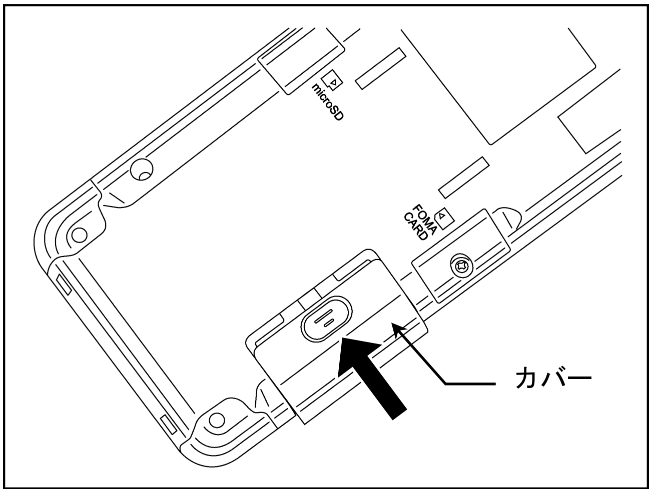
注意　バッテリーは、専用品を使用してください。専用品以外を使用すると、本端末が故障する原因となります。

（7）　バッテリーロックを矢印の方向にスライドさせます。



注意	バッテリーロックは、必ず矢印の方向にスライドさせてください。バッテリーロックが手前にあると、バッテリー収納部のカバーが閉められません。

（8）　バッテリー収納部のカバーを閉めます。



（9）　本端末の電源を入れます。

注意	バッテリー収納部のカバーがきちんと閉められていないと、COVER OPENのメッセージが表示されて、本端末が起動できません。

2.2.2 メモリ保護電池の交換方法

ここでは、メモリ保護電池を交換する方法を説明します。

Point　メモリ保護電池とは、バッテリーの交換時やバッテリーが切れたときに、本端末内のデータを保護するための電池のことです。

注意　メモリ保護電池は、**４年を目安に交換**してください。

注意　メモリ保護電池が切れると、“保護電池不足”のアラームメッセージが表示されます。そのまま放置すると、バッテリーの交換時やバッテリーが切れたときに、本端末内のデータが壊れて、本端末が使用できなくなります。

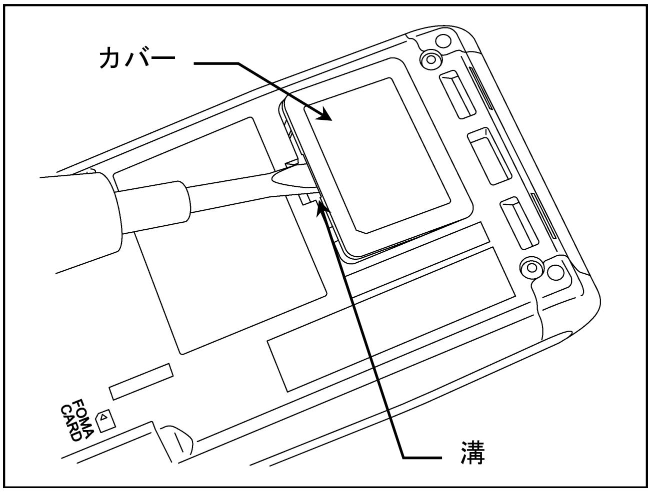
注意　**メモリ保護電池の交換は、必ず充電されたバッテリーが本端末にセットされた状態で行ってください。バッテリーが外されたままメモリ保護電池を交換すると、本端末内のデータが壊れて、本端末が使用できなくなりますので、絶対に行わないでください。**

(1)　充電されたバッテリーが装着されていることを、バッテリーの残量表示で確認します。

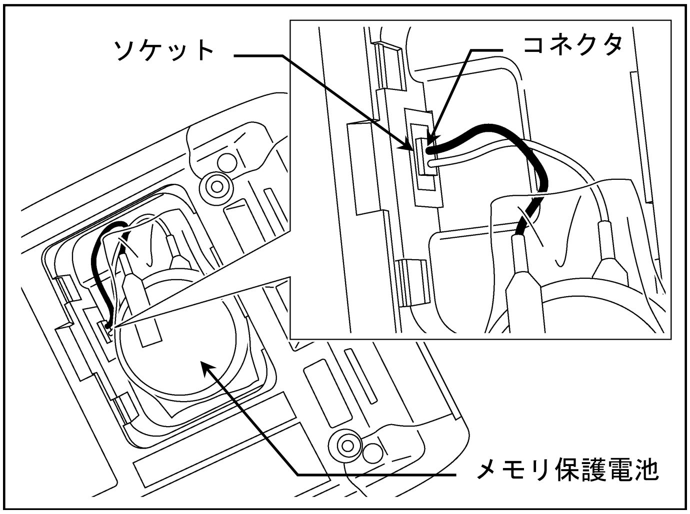
>参照>　バッテリーの残量表示については、「1-12ページ　アンテナ表示とバッテリー表示の見方」を参照してください。

(2)　本端末の電源を切ります。

(3)　メモリ保護電池収納部の溝に、マイナスドライバーなどを差し込んで、カバーを外します。

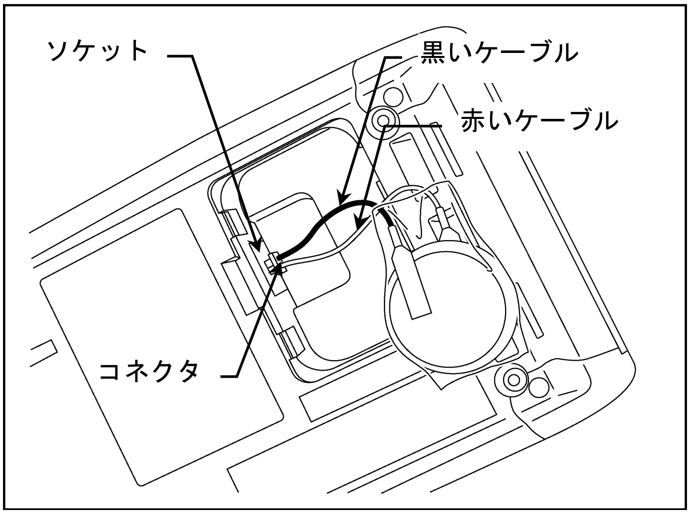


(4)　メモリ保護電池収納部からメモリ保護電池を取り出して、メモリ保護電池のコネクタをソケットから引き抜きます。



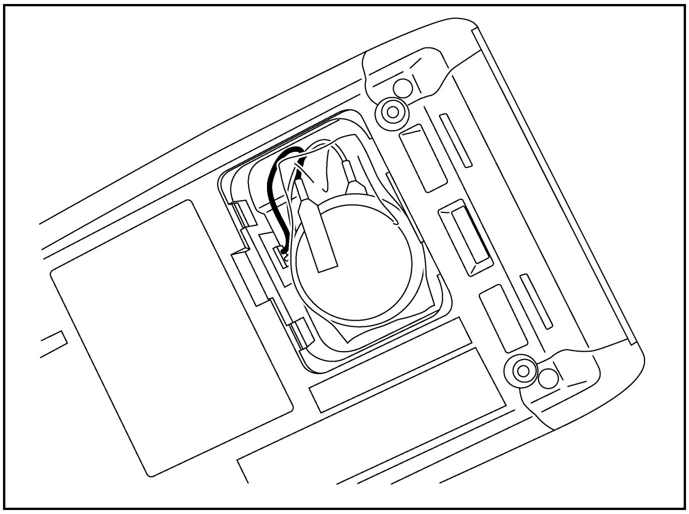
注意　コネクタを引き抜くときは、すべてのケーブルをつまんで引き抜いてください。

(5)　新しいメモリ保護電池の"＋"マークのある方を下側にして、メモリ保護電池のコネクタをソケットに接続します。

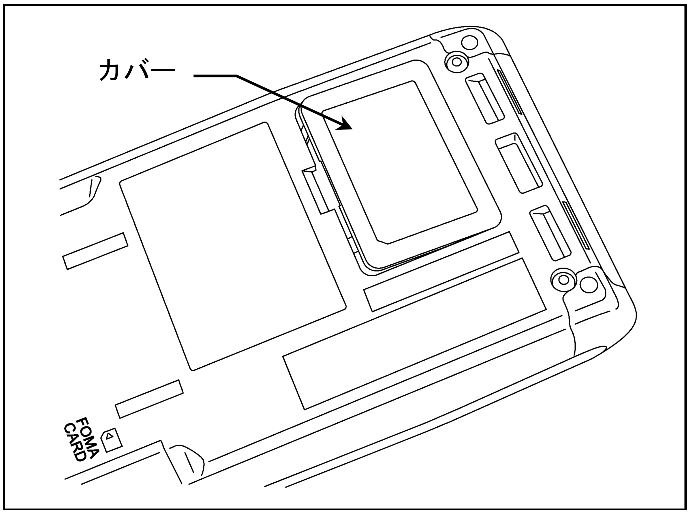


注意　メモリ保護電池は、専用品を使用してください。専用品以外を使用すると、本端末が故障する原因となります。

（6）　メモリ保護電池をメモリ保護電池収納部に収納します。



（7）　メモリ保護電池収納部のカバーを奥側から先に差し込んで閉めます。



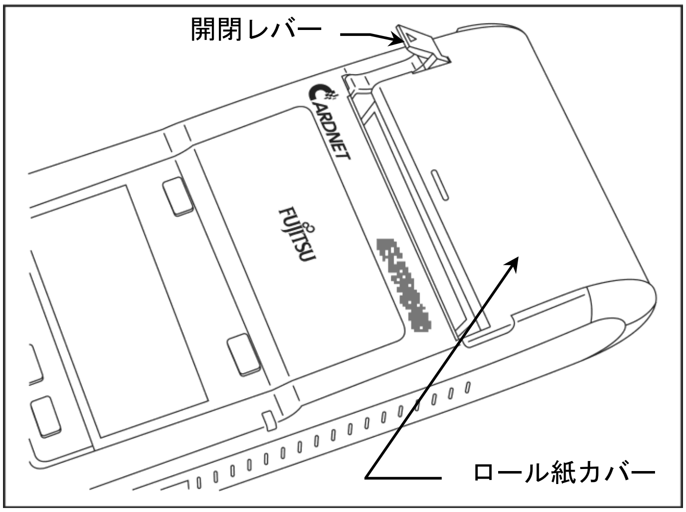
（8）　本端末の電源を入れます。

2.2.3　ロール紙のセット方法・交換方法

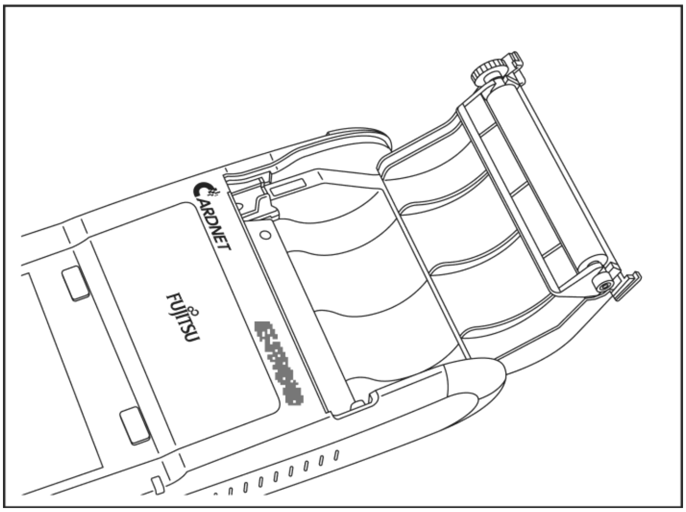
ここでは、ロール紙をセットする方法、およびロール紙を交換する方法を説明します。

■ ロール紙のセット方法

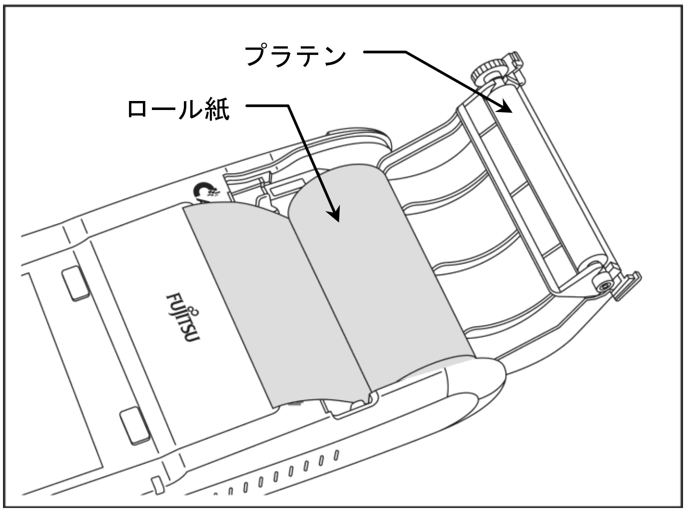
(1)　ロール紙カバーの開閉レバーを上にあげます。



(2)　ロール紙カバーの開閉レバーをさらに上にあげて、ロール紙カバーを開けます。



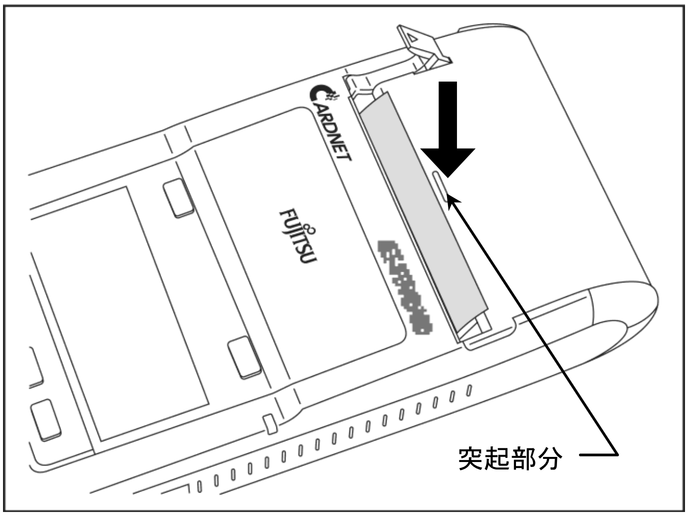
(3)　ロール紙をロール紙ホルダにセットして、ロール紙の先端を少し引き出しておきます。



注意　ロール紙をロール紙ホルダに置く際には、**ロール紙のたるみをなくしてください**。たるみがあると、ロール紙がからまる恐れがあります。

注意　**プラテンは、取り外さないでください。**プラテンを取り外すと、伝票の印字ができなくなります。

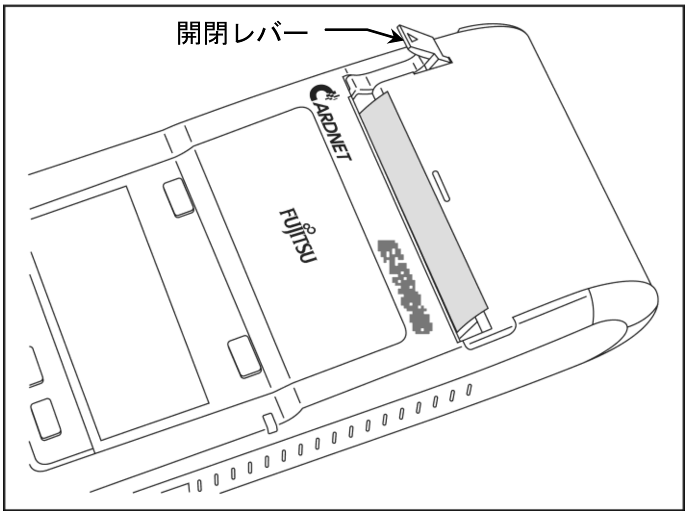
(4)　ロール紙カバーの中央にある突起部分を押して、ロール紙カバーを閉めます。



注意　ロール紙カバーの開閉レバーを押して、ロール紙カバーを閉めないでください。ロール紙カバーが損傷する恐れがあります。

注意　ロール紙カバーは、カチッと音がするまで、しっかりと押して閉めてください。

（5）　ロール紙カバーの開閉レバーを下にさげます。



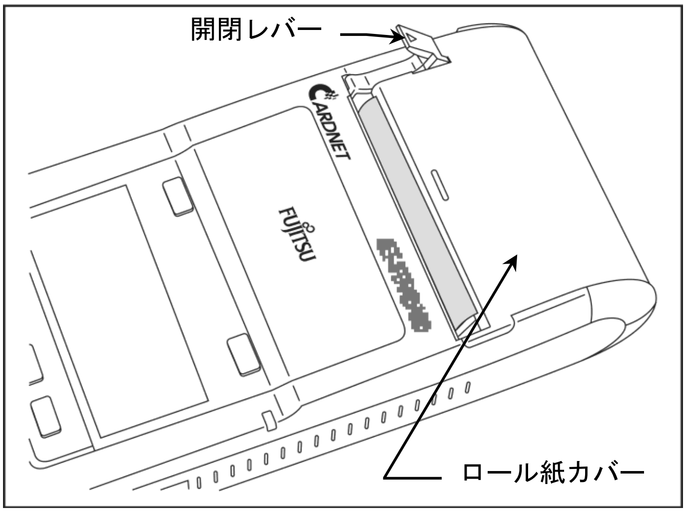
（6）　ロール紙カバーから出ているロール紙を切り取ります。

注意	印字中は、ロール紙の出口を、指などでふさがないでください。ロール紙の出口をふさいだまま印字すると、紙づまりの原因となります。

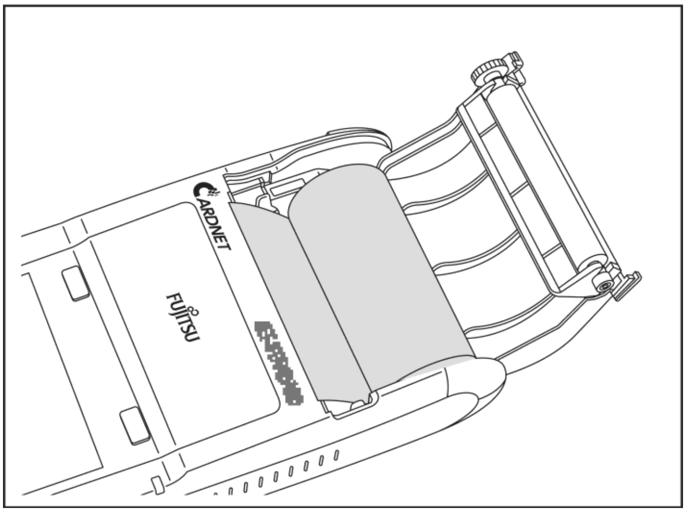
■ ロール紙の交換方法

> **注意**　ロール紙は、残りが約１メートルになると、両側に赤い帯が出てきます。赤い帯が出てきたら、ロール紙を交換してください。残り少ないロール紙を使用すると、プリンタ部の紙づまりの原因となります。

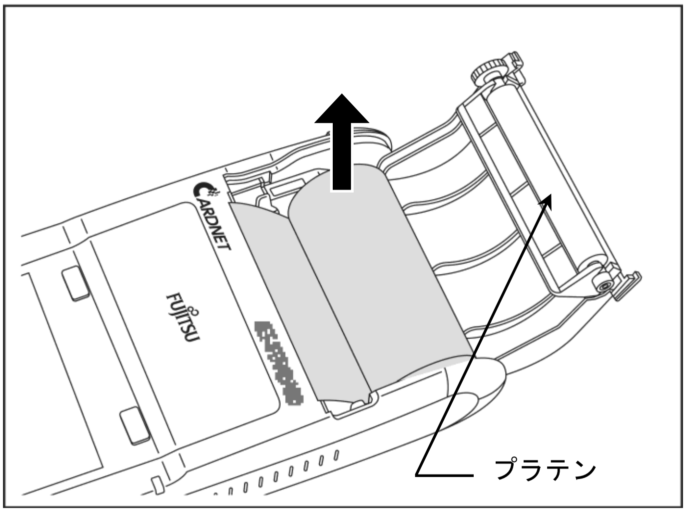
（1）　ロール紙カバーの開閉レバーを上にあげます。



（2）　ロール紙カバーの開閉レバーをさらに上にあげて、ロール紙カバーを開けます。



(3)　ロール紙を取り出します。



注意　**プラテンは、取り外さないでください。**プラテンを取り外すと、伝票の印字ができなくなります。

(4)　新しいロール紙をセットします。

>参照>　ロール紙をセットする方法については、「2-11ページ　ロール紙のセット方法」を参照してください。

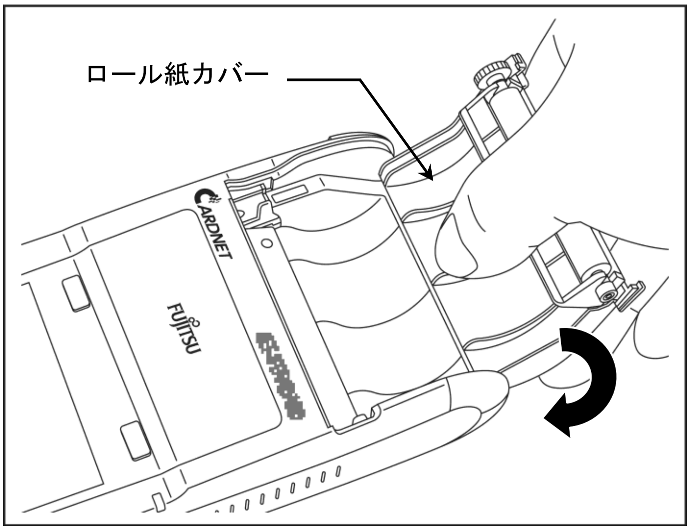
2.2.4　　ロール紙カバーの交換方法

ここでは、ロール紙カバー（上側半透明部）を交換する方法を説明します。

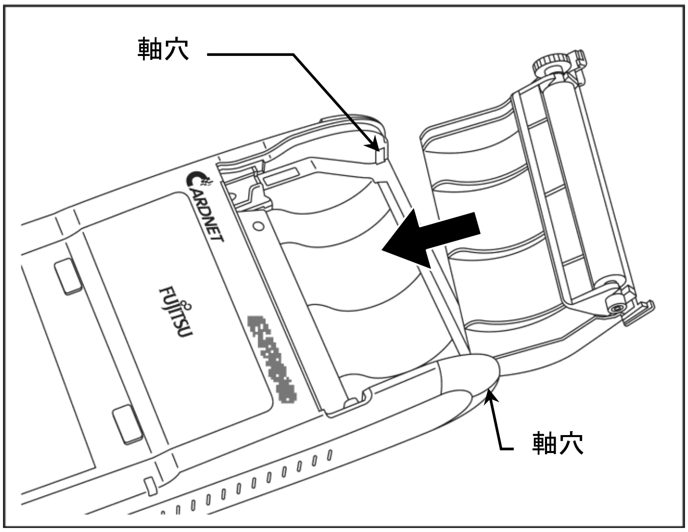
（1）　ロール紙カバーを開けて、ロール紙を取り出します。

>参照>　　ロール紙カバーを開けてロール紙を取り出す方法については、「2-14ページ ロール紙の交換方法」を参照してください。

（2）　ロール紙カバーの中央をしっかりと持ち、さらに矢印の方向に引き下げて、本端末から外します。



（3）　新しいロール紙カバーを手前側の軸から先に、本端末の軸穴に押し込んで、本端末に取り付けます。



注意 ロール紙カバーは、しっかりと取り付けてください。ロール紙カバーが浮いた状態になっていると、ロール紙がすき間に挟まり、紙づまりの原因となります。

（4）　ロール紙をセットします。

>参照> ロール紙をセットする方法については、「2-11ページ　ロール紙のセット方法」を参照してください。

2.2.5　　プラテンの交換方法

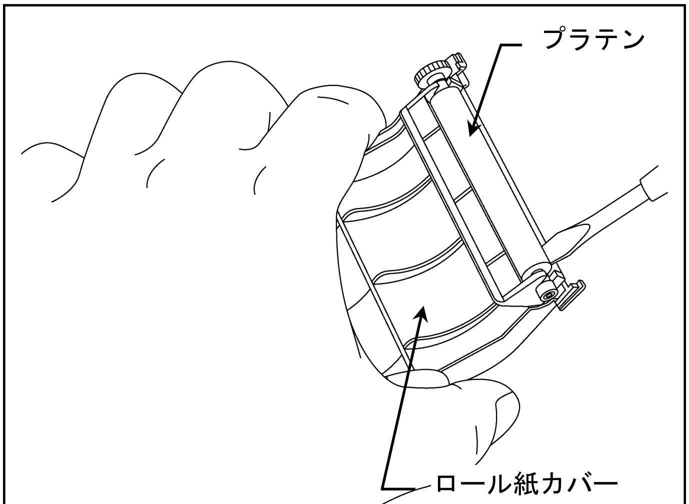
ここでは、プラテンを交換する方法を説明します。

注意　プラテンが曲がったり、ゴム部分が汚れたり、伝票にかすれや印字むらなどが発生したりした場合には、プラテンを交換してください。

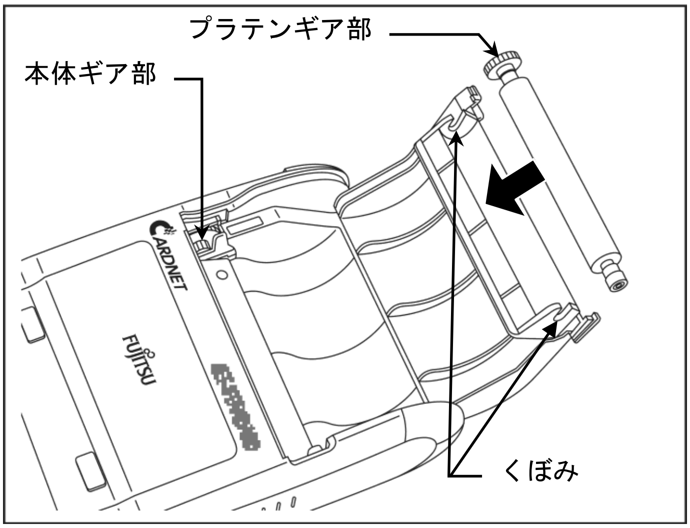
(1)　ロール紙カバーを開けて、ロール紙を取り出します。

>参照>　ロール紙カバーを開けてロール紙を取り出す方法については、「2-14ページ ロール紙の交換方法」を参照してください。

(2)　ロール紙カバーの両端をしっかりと持ち、プラテンの手前側からマイナスドライバーなどを差し込んで、プラテンをロール紙カバーから外します。



(3)　新しいプラテンの両端を、ロール紙カバーの両側にあるくぼみに合わせて、矢印の方向に押し込みます。



注意　プラテンの向きに注意して、セットしてください。ロール紙カバーを閉めたときに、プラテンギア部と本体ギア部が重なるようにセットします。

(4)　ロール紙をセットします。

>参照>　ロール紙をセットする方法については、「2-11ページ　ロール紙のセット方法」を参照してください。

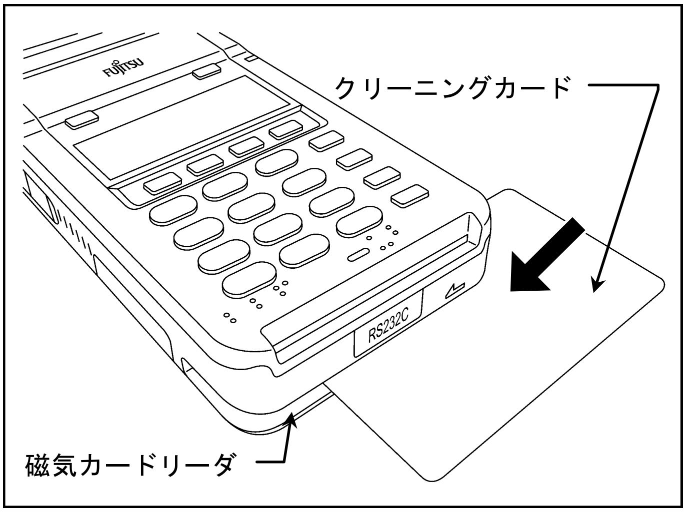
第3章　開店前の操作・閉店後の操作

3.1　開店前の操作

ここでは、開店前に行う操作を説明します。

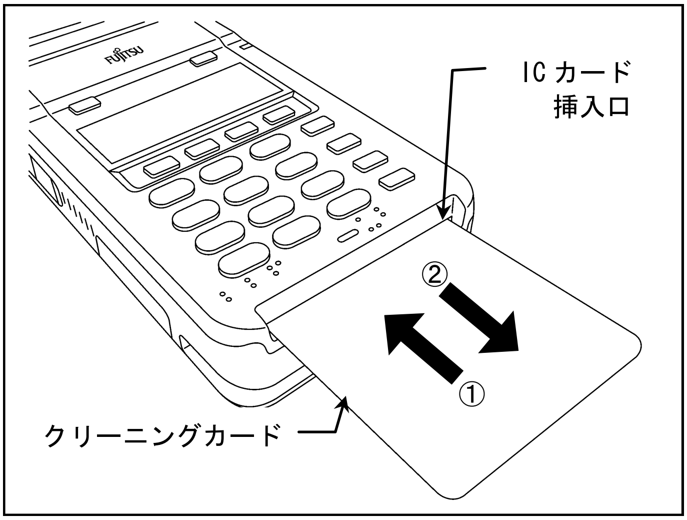
(1)　磁気カードリーダのクリーニングを、次の手順で行います。

①　クリーニングカードを、磁気カードリーダに通します。
②　クリーニングカードを裏返して､もう一度､磁気カードリーダに通します。
③　汚れがひどいときには、①と②の操作を、数回繰り返します。



(2)　IC カード挿入口のクリーニングを、次の手順で行います。

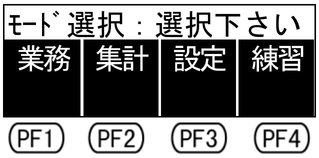
①　クリーニングカードを、IC カード挿入口に挿入します。
②　クリーニングカードを抜き取ります。
③　①と②の操作を、数回繰り返します。



注意　誤動作を防止するため、IC カード挿入口のクリーニングは、本端末の電源を切った状態で行ってください。

注意　クリーニングカードのクリーニング面（ざらざらしている面）が上向きとなるようにして､軽く奥に突きあたるまで挿入してから抜き取ってください。

（3）　本端末の電源を入れて、モード選択画面を表示させます。

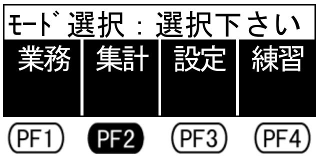


>参照>　電源を入れてからモード選択画面を表示させるまでの操作方法については、「1-10ページ　電源を入れた後の画面の流れ」を参照してください。

3.2　閉店後の操作

ここでは、閉店後に行う操作を説明します。

（1）　モード選択画面で、(PF2)（集計）キーを押して、日計表を印字します。



> **注意**　**<u>１日の業務終了後には、必ず日計表を印字してください。</u>**日計表を印字すると､本端末内の取引カウンタと CARDNET センターの取引カウンタとが一致しているかどうかを確認することができます。

<u>>参照></u>　日計表を印字する方法については、「6-4ページ　日計表の印字」を参照してください。

（2）　日計表にて、１日の取引の内容を確認します。

<u>>参照></u>　日計表の見方については、「9-10ページ　日計表」を参照してください。

（3）　本端末の電源を切ります。

第4章　クレジットカードでの販売業務

4.1　クレジットカードでの販売業務を行う前に

ここでは､クレジットカードでの販売業務を行う前に知っておいてほしいことを説明します。

4.1.1　クレジットカードでの取引の処理方法（ギャザリング・オーソリ）について

クレジットカードでの取引の処理方法には、次の２種類があります。

■ ギャザリング

加盟店様での取引のつど､本端末から CARDNET センターを経由して各カード会社へ､信用照会を行うとともに取引データも送信します。売上票を各カード会社へ送付することによって請求処理を行うのではなく､本端末からの取引データの送信によって精算を行います。なお、この端末を、“ギャザリング端末”といいます。

Point　ギャザリング端末の場合には、売上票の上側に、“（データギャザ専用）”と印字されます。

Point　紙づまりなどで本端末から売上票が印字されていなくても、取引データの送信は完了し、取引が成立している場合があります。
また、売上票は CARDNET 売上票保管センターまたはカード会社から特別な指定をされた場合は、指定先へ送付してください。

■ オーソリ

加盟店様での取引のつど､本端末から CARDNET センターを経由して各カード会社へ、信用照会のみを行います。（取引データは、各カード会社へは送信されません。）通常、売上票を各カード会社へ送付することによって、請求処理を行います。なお、この端末を、“オーソリ端末”といいます。

Point　オーソリ端末の場合には、売上票の上側に、“（オーソリ専用）”と印字されます。

注意　IC クレジットカードでの取引では、IC クレジットカードと本端末間で判定処理が行われて、取引データを送信せずに取引が完了する場合があります。なお、この場合には、取引完了後、売上票を印字してから、取引データが CARDNET センターを経由してカード会社へ送信されますので、本端末の電源を切らないようにしてください。

4.1.2　暗証番号の入力について

IC クレジットカードでの売上の際には、お客様に暗証番号を入力していただく必要があります。お客様に本端末を渡して、暗証番号を入力していただいてください。

4.1.3　サインについて

IC クレジットカードでの売上以外の取引の場合には、必ずお客様からサインをいただき、カード裏面のサインと照合してください。ただし、カード会社とのご契約によって、必ずしもサインをいただく必要のない場合もあります。この場合には、売上票のご署名欄に、“サインは省略させていただきます。”と印字されます。

4.1.4　端末故障・センターダウン・センター休止時の対応

本端末が故障した場合や、CARDNET センターがダウンまたは休止の場合には、次の手順で対応してください。

（1）　クレジットカードの有効期限を確認します。

（2）　カード会社に連絡して、承認番号を取得します。(オーソリゼーション)

（3）　カード会社指定の伝票によって、インプリンターまたは手書き処理を行います。

（4）　本端末で印字された売上票とは別に集計して、該当するカード会社の指示に従ってください。

4.1.5　売上票の送付について

■ ギャザリング端末の場合

１枚目の売上票“カード会社用（売上票保管センタ用)”を、CARDNET 売上票保管センターへ送付してください。

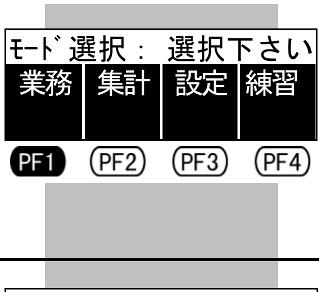
>参照>　　売上票の送付についての詳細は、『かんたんご利用ガイド』を参照してください。

■ オーソリ端末の場合

１枚目の売上票“カード会社用”を、カード会社が指定する場所へ送付してください。

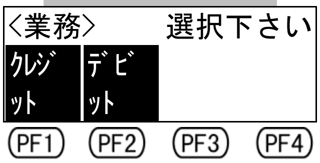
4.2 販売業務の開始操作

ここでは、販売業務を開始する場合の操作方法を説明します。



本端末の電源を入れ、モード選択画面を表示させて、(PF1)（業務）キーを押します。

>参照>　電源を入れてからモード選択画面を表示させるまでの操作方法については、「1-10 ページ　電源を入れた後の画面の流れ」を参照してください。



業務初期画面が表示されます。
クレジットカードでの販売業務は、この画面から始めてください。

Point　業務初期画面は、クレジット専用機の場合には、次の画面となります。なお、(PF3)（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。



4.3　クレジット売上

ここでは、お客様が磁気クレジットカードまたは IC クレジットカードで支払われる場合の操作方法を説明します。
クレジット売上では、次の５種類のうち、いずれかの方法で支払うことができます。

- 一括払い
- ボーナス払い
- 分割払い
- ボーナス併用払い
- リボルビング払い

Point　選択できる支払方法は、使用するクレジットカードによって異なります。

4.3.1　クレジット売上の開始操作（磁気クレジットカードの場合）

ここでは、お客様が磁気クレジットカードで支払われる場合の、クレジット売上の開始操作を説明します。

<業務>　選択下さい
クレジット　デビット
PF1　PF2　PF3　PF4

業務初期画面で、PF1（クレジット）キーを押します。

Point　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。

<クレジット>　選択下さい
売上　取消返品　承認売上　=>
PF1　PF2　PF3　PF4

クレジット業務初期画面で、PF1（売上）キーを押します。

Point　PF3（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。

売上：
クレジットカードをどうぞ
マニュアル
PF1　PF2　PF3　PF4

お客様の磁気クレジットカードを、磁気カードリーダに通します。

>参照>　磁気クレジットカードを磁気カードリーダに通す方法については、「1-8ページ　磁気カードの読取り方」を参照してください。

Point　IC クレジットカードを磁気カードリーダに通すと、次の画面が表示される場合があります。

I02：　サービスコードエラー
ICカードリーダに
カードを挿入して下さい

この場合には、IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入して、取引を行ってください。

Point　(PF4)（マニュアル）キーを押すと、カード情報を手動で入力することができます。

>参照>　ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入して取引を行う方法については、「4-8ページ　クレジット売上の開始操作（ICクレジットカードの場合）」を参照してください。

>参照>　カード情報を手動で入力する方法については、「4-53ページ　マニュアル入力（カード情報の手動入力）」を参照してください。



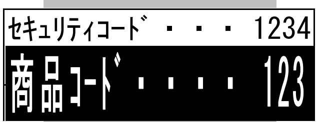
お客様の磁気クレジットカードのセキュリティコードを入力して、(確定)キーを押します。

Point　セキュリティコードの入力画面は、カード会社とのご契約によって、表示されない場合があります。

Point　セキュリティコードは、４桁まで入力できます。

Point　次の場合には、そのまま(確定)キーを押してください。セキュリティコードの入力をスキップできます。
- セキュリティコードが不明な場合
- セキュリティコードの入力を省略する場合

Point　セキュリティコードについてご不明な場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。

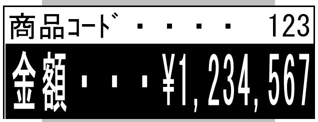


商品コードを３桁で入力して、(確定)キーを押します。

>参照>　商品コードについては、「付-1ページ　商品区分コード」を参照してください。

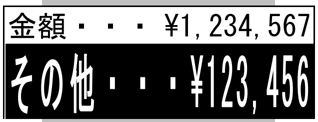
Point　商品コードの入力画面は、使用する磁気クレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point　商品コードの入力を省略する場合には、そのまま(確定)キーを押してください。商品コードの入力をスキップできます。



金額を入力して、(確定)キーを押します。

Point　金額は、７桁まで入力できます。

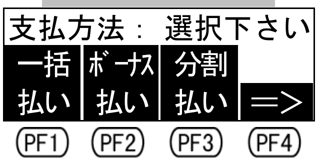


その他の金額を入力して、(確定)キーを押します。

Point　その他の金額の入力画面は、使用する磁気クレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point　その他の金額は、６桁まで入力できます。

Point　その他の金額の入力を省略する場合には、そのまま(確定)キーを押してください。その他の金額の入力をスキップできます。



支払方法選択画面で、お客様が希望された支払方法に該当する選択キーを押します。

Point　選択できる支払方法は、使用する磁気クレジットカードによって異なります。

>参照>　以降の操作方法については、それぞれの支払方法に該当する次の項目を参照してください。

>参照>　「4-28ページ　リボルビング払い」
「4-23ページ　ボーナス併用払い」

>参照>　「4-19ページ　分割払い」

>参照>　「4-15ページ　ボーナス払い」

>参照>　「4-11ページ　一括払い」

4.3.2　クレジット売上の開始操作（IC クレジットカードの場合）

ここでは、お客様が IC クレジットカードで支払われる場合の、クレジット売上の開始操作を説明します。

> **注意**　IC クレジットカードは、カード会社とのご契約によって、使用できない場合があります。

```
<業務>　　選択下さい
クレジ　デビ
ット　　ット
PF1 PF2 PF3 PF4
```

業務初期画面で、PF1（クレジット）キーを押します。

Point　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。

```
<クレジット>　選択下さい
売上　取消　承認
　　　返品　売上　=>
PF1 PF2 PF3 PF4
```

クレジット業務初期画面で、PF1（売上）キーを押します。

Point　PF3（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。

```
売上：
クレジットカード をどうぞ
　　　　　　　　マニュアル
PF1 PF2 PF3 PF4
```

お客様の IC クレジットカードを、IC カード挿入口に挿入します。

>参照>　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入する方法については、「1-9ページ　IC カードの読取り方」を参照してください。

Point　ICクレジットカードを ICカード挿入口に挿入すると、次の画面が表示される場合があります。

```
IXX：　XXXXXXX
リセットキーを押し磁気カード
で処理して下さい
```

```
IXX：XXXXXXX
IC カード を抜き磁気カード
で処理して下さい
```

この場合には、IC クレジットカードを磁気カードリーダに通して、取引を行ってください。

Point　PF4（マニュアル）キーを押すと、カード情報を手動で入力することができます。

>参照>　IC クレジットカードを磁気カードリーダに通して取引を行う方法については、「4-5ページ　クレジット売上の開始操作（磁気クレジットカードの場合）」を参照してください。

>参照>　カード情報を手動で入力する方法については、「4-53ページ　マニュアル入力（カード情報の手動入力）」を参照してください。

注意　ICカード挿入口に挿入したICクレジットカードは、“ICカードを抜いて下さい”とメッセージが表示されるまで、抜き取らないでください。

商品ｺｰﾄﾞ・・・・　123

商品コードを３桁で入力して、〔確定〕キーを押します。

>参照>　商品コードについては、「付-1ページ　商品区分コード」を参照してください。

Point　商品コードの入力画面は、本端末のIC設定によって、表示されない場合があります。

Point　商品コードの入力を省略する場合には、そのまま〔確定〕キーを押してください。商品コードの入力をスキップできます。

>参照>　本端末のIC設定については、「7-20ページ　IC設定（ICクレジットカードでの取引に関する情報の設定）」を参照してください。

商品ｺｰﾄﾞ・・・・　123
金額・・・¥1,234,567

金額を入力して、〔確定〕キーを押します。

Point　金額は、７桁まで入力できます。

金額・・・¥1,234,567
その他・・・¥123,456

その他の金額を入力して、〔確定〕キーを押します。

Point　その他の金額の入力画面は、本端末のIC設定によって、表示されない場合があります。

Point　その他の金額は、６桁まで入力できます。

Point　その他の金額の入力を省略する場合には、そのまま〔確定〕キーを押してください。その他の金額の入力をスキップできます。

>参照>　本端末のIC設定については、「7-20ページ　IC設定（ICクレジットカードでの取引に関する情報の設定）」を参照してください。



支払方法選択画面で、お客様が希望された支払方法に該当する選択キーを押します。

Point　選択できる支払方法は、使用する IC クレジットカードによって異なります。

>参照>　以降の操作方法については、それぞれの支払方法に該当する次の項目を参照してください。

>参照>　「4-28ページ　リボルビング払い」
「4-23ページ　ボーナス併用払い」（PF4）

>参照>　「4-19ページ　分割払い」（PF3）

>参照>　「4-15ページ　ボーナス払い」（PF2）

>参照>　「4-11ページ　一括払い」（PF1）

4.3.3　一括払い

ここでは、お客様が一括払いで支払われる場合の操作方法を説明します。

《磁気ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞの場合》　《ICｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞの場合》

支払方法：選択下さい			
一括払い	ﾎﾞｰﾅｽ払い	分割払い	=>
PF1	PF2	PF3	PF4

支払方法選択画面で、PF1（一括払い）キーを押します。

ABCｶｰﾄﾞ　　一括払い
売上　　¥12,345,678

表示された内容を確認して、確定キーを押します。

Point　画面の左上には、お客様のクレジットカードのカード会社名が表示されます。

お客様に、本端末をお渡しします。

ｸﾚｼﾞｯﾄ一括¥12,345,678
暗証番号************
入力後確定ｷｰをどうぞ

お客様に、金額を確認していただきます。さらに、暗証番号を入力して、確定キーを押していただきます。

暗証番号の確認完了
ｶｰﾄﾞを抜かずに端末を
係員にお戻し下さい

暗証番号確認完了のメッセージが表示されます。

お客様から、本端末を受け取ります。

注意　暗証番号は、必ずお客様に入力していただいてください。

注意　お客様が誤った暗証番号を一定回数入力した場合には、以降、この IC クレジットカードは使用できなくなりますので、注意してください。

Point　入力した暗証番号は、“＊”で表示されます。

Point　暗証番号入力待ちタイマは、本端末の機器設定で変更することができます。

>参照>　本端末の機器設定については、「7-8ページ　機器設定（機器に関する情報の設定）」を参照してください。

注意　暗証番号を入力したあとも、IC クレジットカードとの通信が行われますので、“IC カードを抜いて下さい”とメッセージが表示されるまで、IC クレジットカードを抜き取らないでください。

確定ｷｰをどうぞ

(確定)キーを押します。

売上：	一括払い
IC ｶｰﾄﾞ処理中	

IC カード処理が行われます。

Point　この画面は、使用する IC クレジットカードによって、表示されない場合があります。

売上：	一括払い
ｾﾝﾀ通信中→ → → →	

CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

Point　この画面は、IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合で、CARDNET センターとの通信が行われない場合には表示されません。

売上：	一括払い
ｾﾝﾀ通信 終了しました	
IC ｶｰﾄﾞを抜いて下さい	

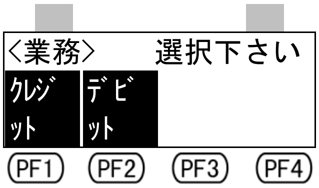
CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

Point　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合で、CARDNET センターとの通信が行われない場合には、次の画面が表示されます。

売上：	一括払い
取引は完了しました	
IC ｶｰﾄﾞを抜いて下さい	

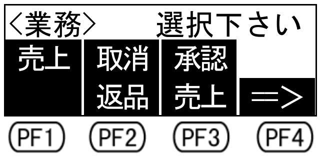
注意　“IC カードを抜いて下さい”のメッセージは、IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合に表示されます。この場合には、IC カード挿入口から、IC クレジットカードを抜き取ってください。

画面表示	説明
1/4枚目を印字中 ICｶｰﾄﾞを抜いて下さい	１枚目の売上票の印字が開始されます。 **注意**　“IC カードを抜いて下さい”のメッセージは、IC カード挿入口から IC クレジットカードが抜き取られていない場合に表示されます。この場合には、すぐに IC カード挿入口から、IC クレジットカードを抜き取ってください。
1/4枚目の印字完了 切取後確定ｷｰをどうぞ	１枚目の売上票を切り取って、(確定)キーを押します。
2/4枚目を印字中	２枚目の売上票の印字が開始されます。 **Point**　以降同様に、３枚目と４枚目の売上票を印字します。なお、印字枚数は、本端末の業務設定で変更することができます。 **>参照>**　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。 **注意**　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合には、売上票の印字が終了すると CARDNET センターとの通信が行われますので、本端末の電源は切らないでください。
結果通知：　1/ 1 ｾﾝﾀ通信中→ → → →	売上票の印字が終了すると、CARDNET センターとの通信が開始されます。 “→”が４つまで表示されます。
結果通知： ｾﾝﾀ通信　終了しました	CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。



業務初期画面に戻ります。

Point　業務初期画面は、クレジット専用機の場合には、次の画面となります。



4.3.4　ボーナス払い

ここでは、お客様がボーナス払いで支払われる場合の操作方法を説明します。

Point　ボーナス払いには、使用するクレジットカードによって、次の３つのパターンがあります。メッセージに従って、操作してください。
パターン１：“ボーナス払い”を選択するだけの方法
パターン２：ボーナス回数を入力する方法
パターン３：ボーナス回数とボーナス月を入力する方法

注意　ボーナス回数またはボーナス月がご不明な場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。

《磁気ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞの場合》　《IC ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞの場合》

支払方法：選択下さい
一括払い | ﾎﾞｰﾅｽ払い | 分割払い | =>
PF1　PF2　PF3　PF4

支払方法選択画面で、PF2（ボーナス払い）キーを押します。

売上：　　ﾎﾞｰﾅｽ払い
ﾎﾞｰﾅｽ回数・・・・6 回

ボーナス回数を入力して、確定キーを押します。

Point　ボーナス回数の入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point　ボーナス回数は、２桁まで入力できます。

売上：　　ﾎﾞｰﾅｽ払い
ﾎﾞｰﾅｽ月(1)・・・1月

ボーナス回数分の、ボーナス月を入力します。ボーナス月を入力するごとに、確定キーを押してください。

Point　ボーナス月の入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point　ボーナス回数分のボーナス月を入力する必要がない場合には、そのまま確定キーを押してください。ボーナス月の入力をスキップできます。

ABC ｶｰﾄﾞ　　ﾎﾞｰﾅｽ払い
売上　　¥12,345,678

表示された内容を確認して、確定キーを押します。

Point　画面の左上には、お客様のクレジットカードのカード会社名が表示されます。

お客様に、本端末をお渡しします。

ﾎﾞｰﾅｽ払い ¥12,345,678
暗証番号************
入力後確定ｷｰをどうぞ

お客様に、金額を確認していただきます。さらに、暗証番号を入力して、(確定)キーを押していただきます。

暗証番号の確認完了
ｶｰﾄﾞを抜かずに端末を
係員にお戻し下さい

暗証番号確認完了のメッセージが表示されます。

お客様から、本端末を受け取ります。

注意　暗証番号は、必ずお客様に入力していただいてください。

注意　お客様が誤った暗証番号を一定回数入力した場合には、以降、この IC クレジットカードは使用できなくなりますので、注意してください。

Point　入力した暗証番号は、“＊”で表示されます。

Point　暗証番号入力待ちタイマは、本端末の機器設定で変更することができます。

>参照>　本端末の機器設定については、「7-8ページ　機器設定（機器に関する情報の設定）」を参照してください。

注意　暗証番号を入力したあとも、IC クレジットカードとの通信が行われますので、“IC カードを抜いて下さい”とメッセージが表示されるまで、IC クレジットカードを抜き取らないでください。

確定ｷｰをどうぞ

(確定)キーを押します。

売上：　　　ﾎﾞｰﾅｽ払い
ICｶｰﾄﾞ処理中

IC カード処理が行われます。

Point　この画面は、使用する IC クレジットカードによって、表示されない場合があります。

```
売上：　　　ﾎﾞｰﾅｽ払い
ｾﾝﾀ通信中→ → → →
```

CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

Point　この画面は、IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合で、CARDNET センターとの通信が行われない場合には表示されません。

```
売上：　　　ﾎﾞｰﾅｽ払い
ｾﾝﾀ通信 終了しました
ICｶｰﾄﾞを抜いて下さい
```

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

Point　ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合で、CARDNET センターとの通信が行われない場合には、次の画面が表示されます。

```
売上：　　　ﾎﾞｰﾅｽ払い
取引は完了しました
ICｶｰﾄﾞを抜いて下さい
```

注意　“IC カードを抜いて下さい”のメッセージは、IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合に表示されます。この場合には、IC カード挿入口から、IC クレジットカードを抜き取ってください。

```
1/4枚目を印字中
ICｶｰﾄﾞを抜いて下さい
```

１枚目の売上票の印字が開始されます。

注意　“IC カードを抜いて下さい”のメッセージは、IC カード挿入口から IC クレジットカードが抜き取られていない場合に表示されます。この場合には、すぐに IC カード挿入口から、IC クレジットカードを抜き取ってください。

```
1/4枚目の印字完了
切取後確定ｷｰをどうぞ
```

１枚目の売上票を切り取って、確定キーを押します。

2/4枚目を印字中

２枚目の売上票の印字が開始されます。

Point 以降同様に、３枚目と４枚目の売上票を印字します。なお、印字枚数は、本端末の業務設定で変更することができます。

>参照> 本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

注意 ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合には、売上票の印字が終了するとCARDNETセンターとの通信が行われますので、本端末の電源は切らないでください。

結果通知：　1/ 1
ｾﾝﾀ通信中→ → → →

売上票の印字が終了すると、CARDNETセンターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

結果通知：
ｾﾝﾀ通信　終了しました

CARDNETセンターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

〈業務〉　選択下さい
ｸﾚｼﾞｯﾄ | ﾃﾞﾋﾞｯﾄ
(PF1) (PF2) (PF3) (PF4)

業務初期画面に戻ります。

Point 業務初期画面は、クレジット専用機の場合には、次の画面となります。

〈業務〉　選択下さい
売上 | 取消返品 | 承認売上 | =>
(PF1) (PF2) (PF3) (PF4)

4.3.5　分割払い

ここでは、お客様が分割払いで支払われる場合の操作方法を説明します。

Point　分割払いには、使用するクレジットカードによって、次の２つのパターンがあります。メッセージに従って、操作してください。
パターン１：支払開始月と分割回数を入力する方法
パターン２：支払開始月、分割回数、初回金額を入力する方法

注意　支払開始月、分割回数、または初回金額がご不明な場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。

《磁気ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞの場合》　《IC ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞの場合》

```
支払方法： 選択下さい
一括  ﾎﾞｰﾅｽ 分割
払い  払い  払い  =>
(PF1) (PF2) (PF3) (PF4)
```

支払方法選択画面で、(PF3)（分割払い）キーを押します。

```
売上：          分割払い
支払開始月・・・12 月
分割回数・・・・    回
```

支払開始月を入力して、(確定)キーを押します。

Point　支払開始月の入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

```
売上：          分割払い
支払開始月・・・12 月
分割回数・・・・12 回
```

分割回数を入力して、(確定)キーを押します。

Point　分割回数は、２桁まで入力できます。

```
売上：          分割払い
分割回数・・・・12 回
初回金額・ ¥1,234,567
```

初回金額を入力して、(確定)キーを押します。

Point　初回金額の入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point　初回金額は、７桁まで入力できます。

```
ABC ｶｰﾄﾞ        分割払い
売上
            ¥12,345,678
```

表示された内容を確認して、(確定)キーを押します。

Point　画面の左上には、お客様のクレジットカードのカード会社名が表示されます。

お客様に、本端末をお渡しします。

分割払い　¥12,345,678
暗証番号************
入力後確定ｷｰをどうぞ

お客様に、金額を確認していただきます。さらに、暗証番号を入力して、(確定)キーを押していただきます。

暗証番号の確認完了
ｶｰﾄﾞを抜かずに端末を
係員にお戻し下さい

暗証番号確認完了のメッセージが表示されます。

お客様から、本端末を受け取ります。

注意　暗証番号は、必ずお客様に入力していただいてください。

注意　お客様が誤った暗証番号を一定回数入力した場合には、以降、この IC クレジットカードは使用できなくなりますので、注意してください。

Point　入力した暗証番号は、“＊”で表示されます。

Point　暗証番号入力待ちタイマは、本端末の機器設定で変更することができます。

>参照>　本端末の機器設定については、「7-8ページ　機器設定(機器に関する情報の設定)」を参照してください。

注意　暗証番号を入力したあとも、IC クレジットカードとの通信が行われますので、“IC カードを抜いて下さい”とメッセージが表示されるまで、IC クレジットカードを抜き取らないでください。

確定ｷｰをどうぞ

(確定)キーを押します。

売上：　　　　分割払い
ICｶｰﾄﾞ処理中

IC カード処理が行われます。

Point　この画面は、使用する IC クレジットカードによって、表示されない場合があります。

売上：　　　　分割払い
ｾﾝﾀ通信中→　→　→　→

CARDNET センターとの通信が開始されます。
“→”が４つまで表示されます。

Point　この画面は、IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合で、CARDNET センターとの通信が行われない場合には表示されません。

売上：　　　　分割払い
ｾﾝﾀ通信 終了しました
ICｶｰﾄﾞを抜いて下さい

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

Point　ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合で、CARDNET センターとの通信が行われない場合には、次の画面が表示されます。

売上：　　　　分割払い
取引は完了しました
ICｶｰﾄﾞを抜いて下さい

注意　“IC カードを抜いて下さい”のメッセージは、IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合に表示されます。この場合には、IC カード挿入口から、IC クレジットカードを抜き取ってください。

1/4枚目を印字中
ICｶｰﾄﾞを抜いて下さい

１枚目の売上票の印字が開始されます。

注意　“IC カードを抜いて下さい”のメッセージは、IC カード挿入口から IC クレジットカードが抜き取られていない場合に表示されます。この場合には、すぐに IC カード挿入口から、IC クレジットカードを抜き取ってください。

1/4枚目の印字完了
切取後確定ｷｰをどうぞ

１枚目の売上票を切り取って、(確定)キーを押します。

2/4枚目を印字中

２枚目の売上票の印字が開始されます。

Point　以降同様に、３枚目と４枚目の売上票を印字します。なお、印字枚数は、本端末の業務設定で変更することができます。

>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

注意　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合には、売上票の印字が終了すると CARDNET センターとの通信が行われますので、本端末の電源は切らないでください。

結果通知：　1/ 1
ｾﾝﾀ通信中→ → → →

売上票の印字が終了すると、CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

結果通知：
ｾﾝﾀ通信　終了しました

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

〈業務〉　選択下さい
ｸﾚｼﾞｯﾄ　ﾃﾞﾋﾞｯﾄ
PF1　PF2　PF3　PF4

業務初期画面に戻ります。

Point　業務初期画面は、クレジット専用機の場合には、次の画面となります。

〈業務〉　選択下さい
売上　取消返品　承認売上　=>
PF1　PF2　PF3　PF4

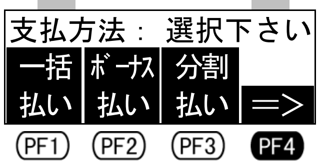
4.3.6　ボーナス併用払い

ここでは、お客様がボーナス併用払いで支払われる場合の操作方法を説明します。

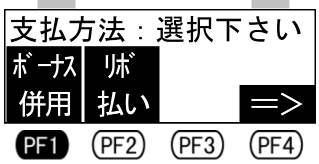
> **Point**　ボーナス併用払いには、使用するクレジットカードによって、次の２つのパターンがあります。メッセージに従って、操作してください。
> パターン１：支払開始月と分割回数を入力する方法
> パターン２：支払開始月、分割回数、ボーナス回数、ボーナス月、ボーナス金額を入力する方法

> **注意**　支払開始月、分割回数、ボーナス回数、ボーナス月、またはボーナス金額がご不明な場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。

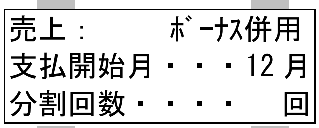
《磁気ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞの場合》　《ICｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞの場合》



支払方法選択画面で、PF4（==>）キーを押します。

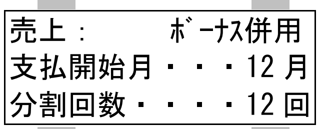


PF1（ボーナス併用）キーを押します。



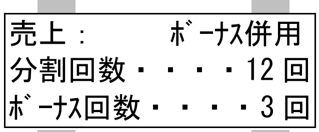
支払開始月を入力して、確定キーを押します。

> **Point**　支払開始月の入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。



分割回数を入力して、確定キーを押します。

> **Point**　分割回数は、２桁まで入力できます。



ボーナス回数を入力して、確定キーを押します。

> **Point**　ボーナス回数の入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。
>
> **Point**　ボーナス回数は、２桁まで入力できます。

売上：　　　ﾎﾞｰﾅｽ併用
ﾎﾞｰﾅｽ月(1)・・・1月

ボーナス回数分の、ボーナス月を入力します。ボーナス月を入力するごとに、(確定)キーを押してください。

Point　ボーナス月の入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

ﾎﾞｰﾅｽ月(1)　・・・１月
ﾎﾞｰﾅｽ金額　¥100,000

ボーナス回数分の、ボーナス金額を入力します。ボーナス金額を入力するごとに、(確定)キーを押してください。

Point　ボーナス金額の入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point　ボーナス金額は、７桁まで入力できます。

Point　ボーナス回数分のボーナス月とボーナス金額を入力する必要がない場合には、そのまま(確定)キーを押してください。
ボーナス月とボーナス金額の入力をスキップできます。

ABC ｶｰﾄﾞ　　ﾎﾞｰﾅｽ併用
売上　　¥12,345,678

表示された内容を確認して、(確定)キーを押します。

Point　画面の左上には、お客様のクレジットカードのカード会社名が表示されます。

お客様に、本端末をお渡しします。

ﾎﾞｰﾅｽ併用 ¥12,345,678
暗証番号************
入力後確定ｷｰをどうぞ

お客様に、金額を確認していただきます。さらに、暗証番号を入力して、(確定)キーを押していただきます。

暗証番号の確認完了
ｶｰﾄﾞを抜かずに端末を
係員にお戻し下さい

暗証番号確認完了のメッセージが表示されます。

お客様から、本端末を受け取ります。

注意　暗証番号は、必ずお客様に入力していただいてください。

注意　お客様が誤った暗証番号を一定回数入力した場合には、以降、この IC クレジットカードは使用できなくなりますので、注意してください。

Point　入力した暗証番号は、“＊”で表示されます。

Point　暗証番号入力待ちタイマは、本端末の機器設定で変更することができます。

>参照>　本端末の機器設定については、「7-8ページ　機器設定（機器に関する情報の設定）」を参照してください。

注意　暗証番号を入力したあとも、ICクレジットカードとの通信が行われますので、“ICカードを抜いて下さい”とメッセージが表示されるまで、ICクレジットカードを抜き取らないでください。

```
確定ｷｰをどうぞ
```

（確定）キーを押します。

```
売上：        ﾎﾞｰﾅｽ併用

ICｶｰﾄﾞ処理中
```

ICカード処理が行われます。

Point　この画面は、使用するICクレジットカードによって、表示されない場合があります。

```
売上：        ﾎﾞｰﾅｽ併用
ｾﾝﾀ通信中→ → → →
```

CARDNETセンターとの通信が開始されます。“→”が4つまで表示されます。

Point　この画面は、ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合で、CARDNETセンターとの通信が行われない場合には表示されません。

```
売上：        ﾎﾞｰﾅｽ併用
ｾﾝﾀ通信 終了しました
ICｶｰﾄﾞを抜いて下さい
```

CARDNETセンターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

Point　ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合で、CARDNETセンターとの通信が行われない場合には、次の画面が表示されます。

```
売上：        ﾎﾞｰﾅｽ併用
取引は完了しました
ICｶｰﾄﾞを抜いて下さい
```

注意　“IC カードを抜いて下さい”のメッセージは、IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合に表示されます。この場合には、IC カード挿入口から、IC クレジットカードを抜き取ってください。

1/4枚目を印字中
ICｶｰﾄﾞ を抜いて下さい

１枚目の売上票の印字が開始されます。

注意　“IC カードを抜いて下さい”のメッセージは、IC カード挿入口から IC クレジットカードが抜き取られていない場合に表示されます。この場合には、すぐに IC カード挿入口から、IC クレジットカードを抜き取ってください。

1/4枚目の印字完了
切取後確定ｷｰをどうぞ

１枚目の売上票を切り取って、(確定)キーを押します。

2/4枚目を印字中

２枚目の売上票の印字が開始されます。

Point　以降同様に、３枚目と４枚目の売上票を印字します。なお、印字枚数は、本端末の業務設定で変更することができます。

>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

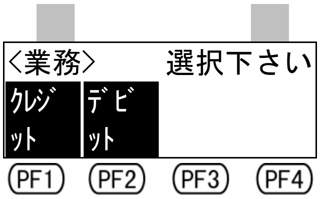
注意　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合には、売上票の印字が終了すると CARDNET センターとの通信が行われますので、本端末の電源は切らないでください。

結果通知：　　　1/ 1
ｾﾝﾀ通信中→ → → →

売上票の印字が終了すると、CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

結果通知：
ｾﾝﾀ通信　終了しました

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。



業務初期画面に戻ります。

Point　業務初期画面は、クレジット専用機の場合には、次の画面となります。



4.3.7　　リボルビング払い

ここでは、お客様がリボルビング払いで支払われる場合の操作方法を説明します。

《磁気ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞの場合》　《ICｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞの場合》

支払方法：選択下さい
一括払い　ﾎﾞｰﾅｽ払い　分割払い　=>
PF1　PF2　PF3　PF4

支払方法選択画面で、PF4（==>）キーを押します。

支払方法：選択下さい
ﾎﾞｰﾅｽ併用　ﾘﾎﾞ払い　=>
PF1　PF2　PF3　PF4

PF2（リボ払い）キーを押します。

ABCｶｰﾄﾞ　ﾘﾎﾞ払い
売上　¥12,345,678

表示された内容を確認して、確定キーを押します。

Point　画面の左上には、お客様のクレジットカードのカード会社名が表示されます。

お客様に、本端末をお渡しします。

ﾘﾎﾞ払い　¥12,345,678
暗証番号************
入力後確定ｷｰをどうぞ

お客様に、金額を確認していただきます。さらに、暗証番号を入力して、確定キーを押していただきます。

暗証番号の確認完了
ｶｰﾄﾞを抜かずに端末を
係員にお戻し下さい

暗証番号確認完了のメッセージが表示されます。

お客様から、本端末を受け取ります。

注意　暗証番号は、必ずお客様に入力していただいてください。

注意　お客様が誤った暗証番号を一定回数入力した場合には、以降、この IC クレジットカードは使用できなくなりますので、注意してください。

Point　入力した暗証番号は、“＊”で表示されます。

Point　暗証番号入力待ちタイマは、本端末の機器設定で変更することができます。

>参照>　本端末の機器設定については、「7-8ページ　機器設定（機器に関する情報の設定）」を参照してください。

注意　暗証番号を入力したあとも、IC クレジットカードとの通信が行われますので、“IC カードを抜いて下さい”とメッセージが表示されるまで、IC クレジットカードを抜き取らないでください。

```
確定ｷｰをどうぞ
```

（確定）キーを押します。

```
売上：　　　　ﾘﾎﾞ払い

ICｶｰﾄﾞ処理中
```

IC カード処理が行われます。

Point　この画面は、使用する IC クレジットカードによって、表示されない場合があります。

```
売上：　　　　ﾘﾎﾞ払い
ｾﾝﾀ通信中→ → → →
```

CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

Point　この画面は、IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合で、CARDNET センターとの通信が行われない場合には表示されません。

```
売上：　　　　ﾘﾎﾞ払い
ｾﾝﾀ通信 終了しました
ICｶｰﾄﾞを抜いて下さい
```

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

Point　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合で、CARDNET センターとの通信が行われない場合には、次の画面が表示されます。

```
売上：　　　　ﾘﾎﾞ払い
取引は完了しました
ICｶｰﾄﾞを抜いて下さい
```

注意　“IC カードを抜いて下さい”のメッセージは、IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合に表示されます。この場合には、IC カード挿入口から、IC クレジットカードを抜き取ってください。

1/4枚目を印字中
ICｶｰﾄﾞを抜いて下さい

１枚目の売上票の印字が開始されます。

注意　“IC カードを抜いて下さい”のメッセージは、IC カード挿入口から IC クレジットカードが抜き取られていない場合に表示されます。この場合には、すぐに IC カード挿入口から、IC クレジットカードを抜き取ってください。

1/4枚目の印字完了
切取後確定ｷｰをどうぞ

１枚目の売上票を切り取って、(確定)キーを押します。

2/4枚目を印字中

２枚目の売上票の印字が開始されます。

Point　以降同様に、３枚目と４枚目の売上票を印字します。なお、印字枚数は、本端末の業務設定で変更することができます。

>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

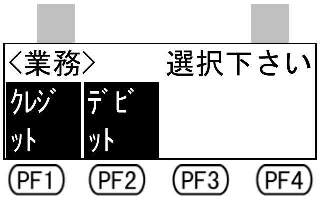
注意　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合には、売上票の印字が終了すると CARDNET センターとの通信が行われますので、本端末の電源は切らないでください。

結果通知：　　　1/ 1
ｾﾝﾀ通信中→ → → →

売上票の印字が終了すると、CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

結果通知：
ｾﾝﾀ通信　終了しました

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。



業務初期画面に戻ります。

Point　業務初期画面は、クレジット専用機の場合には、次の画面となります。



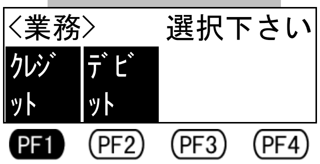
4.4　承認後売上

ここでは、承認後売上を行う場合の操作方法を説明します。
承認後売上では､あらかじめカード会社から取得しておいた承認番号を使用して、クレジット売上を行うことができます。

注意　承認後売上は、クレジット売上を行ったが、取引が保留扱いとなってしまった場合に行ってください。

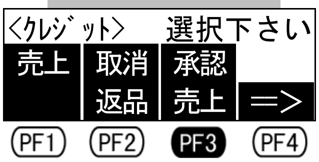
注意　承認後売上を行う前には、あらかじめ電話などでカード会社に連絡して、承認番号（６桁以内）を取得しておいてください。なお、カード会社から７桁以上の承認番号を指示された場合には、再度カード会社にお問い合わせください。

注意　承認後売上は、オーソリ端末の場合には使用できません。（PF3（承認売上）キーが表示されません。）

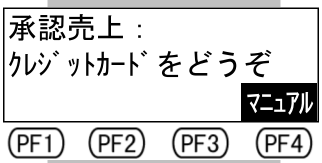


業務初期画面で、PF1（クレジット）キーを押します。

Point　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。



クレジット業務初期画面で、PF3（承認売上）キーを押します。



お客様のクレジットカードを、磁気カードリーダに通します。

>参照>　クレジットカードを磁気カードリーダに通す方法については､｢1-8ページ　磁気カードの読取り方｣を参照してください。

Point　IC クレジットカードの場合には、IC カード挿入口に挿入することもできます。
ただし、使用する IC クレジットカードによって、処理できない場合があります。

Point　PF4（マニュアル）キーを押すと、カード情報を手動で入力することができます。

>参照>　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入する方法については､｢1-9ページ　IC カードの読取り方｣を参照してください。

>参照>　カード情報を手動で入力する方法については、「4-53ページ　マニュアル入力（カード情報の手動入力）」を参照してください。

注意　ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合には、“ICカードを抜いて下さい”とメッセージが表示されるまで、ICクレジットカードを抜き取らないでください。



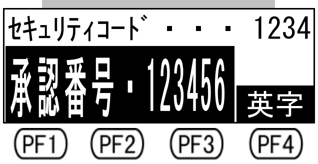
お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力して、(確定)キーを押します。

Point　セキュリティコードの入力画面は、カード会社とのご契約によって、表示されない場合があります。なお、この画面は、ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合には表示されません。

Point　セキュリティコードは、４桁まで入力できます。

Point　次の場合には、そのまま(確定)キーを押してください。セキュリティコードの入力をスキップできます。
・セキュリティコードが不明な場合
・セキュリティコードの入力を省略する場合

Point　セキュリティコードについてご不明な場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。

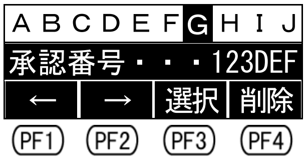


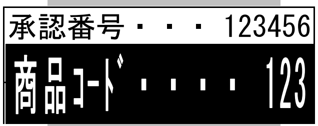
承認番号を入力して、(確定)キーを押します。

Point　承認番号は、６桁まで入力できます。

Point　承認番号に英文字が入っている場合には、(PF4)（英字）キーを押して、英文字を入力してください。

Point (PF4)（英字）キーを押すと、右のような画面が表示されます。
(PF1)（←）キーまたは(PF2)（→）キーで、英文字を選びます。
(PF3)（選択）キーで、決定します。
間違って入力してしまった場合には、(PF4)（削除）キーで削除します。
英文字が入力できたら、(確定)キーを押してください。



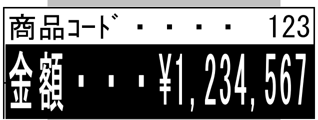


商品コードを３桁で入力して、(確定)キーを押します。

>参照> 商品コードについては、「付-1ページ　商品区分コード」を参照してください。

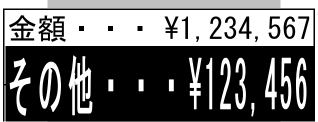
Point 商品コードの入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point 商品コードの入力を省略する場合には、そのまま(確定)キーを押してください。商品コードの入力をスキップできます。



金額を入力して、(確定)キーを押します。

Point 金額は、７桁まで入力できます。

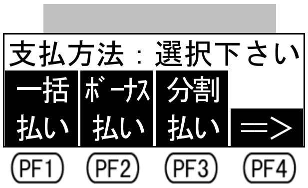


その他の金額を入力して、(確定)キーを押します。

Point その他の金額の入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point その他の金額は、６桁まで入力できます。

Point その他の金額の入力を省略する場合には、そのまま(確定)キーを押してください。その他の金額の入力をスキップできます。



支払方法選択画面で、お客様が希望された支払方法に該当する選択キーを押します。

Point　選択できる支払方法は、使用するクレジットカードによって異なります。

Point　以降の操作方法は、お客様が磁気クレジットカードで支払われる場合の、クレジット売上の操作と同じです。ただし、IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合には、通信終了後、売上票の印字が開始されると“IC カードを抜いて下さい”とメッセージが表示されますので、IC カード挿入口から IC クレジットカードを抜き取ってください。

>参照>　以降の操作方法については、それぞれの支払方法に該当する次の項目を参照してください。

>参照>　「4-28ページ　リボルビング払い」
「4-23ページ　ボーナス併用払い」

>参照>　「4-19ページ　分割払い」

>参照>　「4-15ページ　ボーナス払い」

>参照>　「4-11ページ　一括払い」

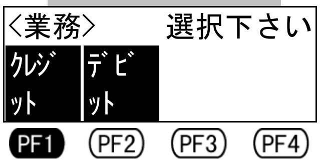
4.5　事前承認

ここでは、オーソリ予約やカードチェックを行う場合の操作方法を説明します。

4.5.1　オーソリ予約

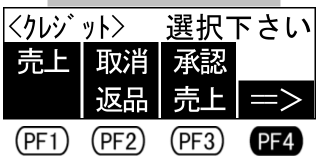
ここでは、オーソリ予約を行う場合の操作方法を説明します。
オーソリ予約では、お客様のクレジットカードで、入力した金額分の取引ができるかを確認して、その金額を予約することができます。

> **注意**　オーソリ予約は、カード会社とのご契約によって、使用できない場合があります。（ご契約がない場合には、PF1（オーソリ予約）キーが表示されません。）



業務初期画面で、PF1（クレジット）キーを押します。

> **Point**　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。

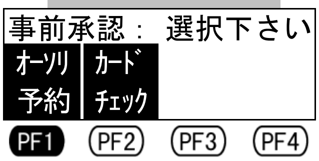


クレジット業務初期画面で、PF4（==>）キーを押します。

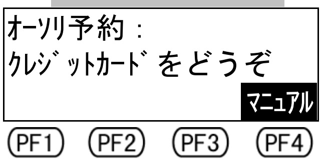
> **Point**　PF3（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。



PF1（事前承認）キーを押します。



PF1（オーソリ予約）キーを押します。



お客様のクレジットカードを、磁気カードリーダに通します。

>参照>　クレジットカードを磁気カードリーダに通す方法については、「1-8ページ　磁気カードの読取り方」を参照してください。

> **Point**　IC クレジットカードの場合には、IC カード挿入口に挿入することもできます。ただし、使用する IC クレジットカードによって、処理できない場合があります。

> **Point**　(PF4)（マニュアル）キーを押すと、カード情報を手動で入力することができます。

>参照>　ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入する方法については、「1-9ページ　ICカードの読取り方」を参照してください。

>参照>　カード情報を手動で入力する方法については、「4-53ページ　マニュアル入力（カード情報の手動入力）」を参照してください。

> **注意**　ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合には、“ICカードを抜いて下さい”とメッセージが表示されるまで、ICクレジットカードを抜き取らないでください。



お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力して、(確定)キーを押します。

> **Point**　セキュリティコードの入力画面は、カード会社とのご契約によって、表示されない場合があります。なお、この画面は、ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合には表示されません。
>
> **Point**　セキュリティコードは、４桁まで入力できます。
>
> **Point**　次の場合には、そのまま(確定)キーを押してください。セキュリティコードの入力をスキップできます。
> ・セキュリティコードが不明な場合
> ・セキュリティコードの入力を省略する場合
>
> **Point**　セキュリティコードについてご不明な場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。



商品コードを３桁で入力して、(確定)キーを押します。

>参照>　商品コードについては、「付-1ページ　商品区分コード」を参照してください。

> **Point**　商品コードの入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point　商品コードの入力を省略する場合には、そのまま(確定)キーを押してください。商品コードの入力をスキップできます。

商品ｺｰﾄﾞ・・・・　123
金額・・・¥1,234,567

金額を入力して、(確定)キーを押します。

Point　金額は、７桁まで入力できます。

金額・・・¥1,234,567
その他・・・¥123,456

その他の金額を入力して、(確定)キーを押します。

Point　その他の金額の入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point　その他の金額は、６桁まで入力できます。

Point　その他の金額の入力を省略する場合には、そのまま(確定)キーを押してください。その他の金額の入力をスキップできます。

ABC ｶｰﾄﾞ
ｵｰｿﾘ
予約　¥12,345,678

表示された内容を確認して、(確定)キーを押します。

Point　画面の左上には、お客様のクレジットカードのカード会社名が表示されます。

ｵｰｿﾘ予約：
ｾﾝﾀ通信中→ → → →

CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

ｵｰｿﾘ予約：
ｾﾝﾀ通信　終了しました

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。



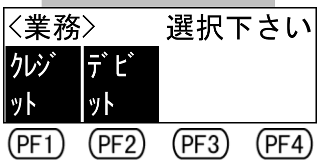
売上票の印字が開始されます。

> **注意**　ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合には、“ICカードを抜いて下さい”とメッセージが表示されます。この場合には、すぐにICカード挿入口から、ICクレジットカードを抜き取ってください。



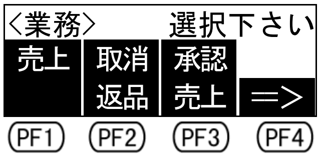
売上票を切り取ります。

> **Point**　印字される売上票は、“加盟店控”のみとなります。



業務初期画面に戻ります。

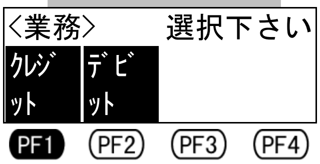
> **Point**　業務初期画面は、クレジット専用機の場合には、次の画面となります。



4.5.2　カードチェック（カードの有効／無効のチェック）

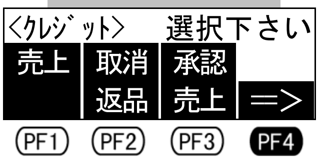
ここでは、カードチェックを行う場合の操作方法を説明します。
カードチェックでは、お客様のクレジットカードがご使用いただけるかどうかをチェックすることができます。

> **注意**　カードチェックは、カード会社とのご契約によって、使用できない場合があります。
> （ご契約がない場合には、PF2（カードチェック）キーが表示されません。）



業務初期画面で、PF1（クレジット）キーを押します。

Point　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。

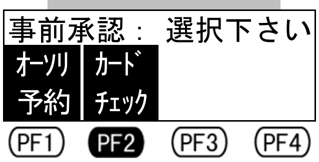


クレジット業務初期画面で、PF4（==>）キーを押します。

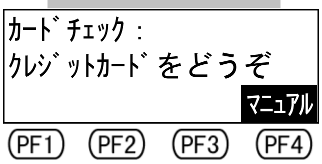
Point　PF3（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。



PF1（事前承認）キーを押します。



PF2（カードチェック）キーを押します。



お客様のクレジットカードを、磁気カードリーダに通します。

>参照>　クレジットカードを磁気カードリーダに通す方法については、「1-8ページ　磁気カードの読取り方」を参照してください。

Point　IC クレジットカードの場合には、IC カード挿入口に挿入することもできます。
ただし、使用する IC クレジットカードによって、処理できない場合があります。

Point　PF4（マニュアル）キーを押すと、カード情報を手動で入力することができます。

>参照>　ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入する方法については､｢1-9ページ　ICカードの読取り方｣を参照してください。

>参照>　カード情報を手動で入力する方法については、「4-53ページ　マニュアル入力（カード情報の手動入力）」を参照してください。

注意　ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合には、“ICカードを抜いて下さい”とメッセージが表示されるまで､ICクレジットカードを抜き取らないでください。

セｷｭﾘﾃｨｺｰﾄﾞ・・・1234

お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力して、(確定)キーを押します。

Point　セキュリティコードの入力画面は、カード会社とのご契約によって、表示されない場合があります。なお、この画面は、ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合には表示されません。

Point　セキュリティコードは、４桁まで入力できます。

Point　次の場合には、そのまま(確定)キーを押してください。セキュリティコードの入力をスキップできます。
・セキュリティコードが不明な場合
・セキュリティコードの入力を省略する場合

Point　セキュリティコードについてご不明な場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。

ｶｰﾄﾞﾁｪｯｸ：
確定ｷｰをどうぞ

表示された内容を確認して､(確定)キーを押します。

Point　画面の左上には、お客様のクレジットカードのカード会社名が表示されます。

ｶｰﾄﾞﾁｪｯｸ：
ｾﾝﾀ通信中→ → → →

CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

ｶｰﾄﾞﾁｪｯｸ：
ｾﾝﾀ通信　終了しました

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

1/1枚目を印字中

売上票の印字が開始されます。

> **注意**　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合には、“IC カードを抜いて下さい”とメッセージが表示されます。この場合には、すぐに IC カード挿入口から、IC クレジットカードを抜き取ってください。

1/1枚目の印字完了

売上票を切り取ります。

> **Point**　印字される売上票は、“加盟店控”のみとなります。

〈業務〉　選択下さい
ｸﾚｼﾞｯﾄ　ﾃﾞﾋﾞｯﾄ
(PF1)　(PF2)　(PF3)　(PF4)

業務初期画面に戻ります。

> **Point**　業務初期画面は、クレジット専用機の場合には、次の画面となります。
>
> 〈業務〉　選択下さい
> 売上　取消返品　承認売上　=>
> (PF1)　(PF2)　(PF3)　(PF4)

4.6　クレジット取消返品

ここでは、クレジット売上や承認後売上の取消返品や、オーソリ予約取消を行う場合の操作方法を説明します。

4.6.1　クレジット売上・承認後売上の取消返品

ここでは、クレジット売上や承認後売上で完了した取引を、取消または返品する場合の操作方法を説明します。

注意　クレジットカードでの取引では、取消と返品を次のように使い分けてください。
・取消：当日分の売上を取り消す場合に使用します。
・返品：当日より前の売上を取り消す場合に使用します。

注意　返品を行う場合には、先に該当するカード会社にご確認ください。

注意　取消または返品を行う売上票を見ながら操作してください。

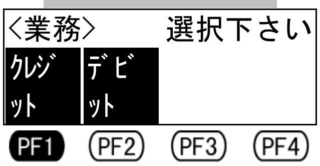
注意　取消または返品を行う売上票において、会員番号が非表示（カード番号の一部、および有効期限が“X”）となっている場合で、お客様のクレジットカードがない場合には、マニュアル入力を行うことができません。この場合には、検索入力を行うか、または該当するカード会社にお問い合わせください。

注意　承認後売上の取消返品は、オーソリ端末の場合には使用できません。（PF2（承認取消）キーが表示されません。）

>参照>　会員番号の非表示については、「1-15ページ　会員番号の非表示機能について」を参照してください。

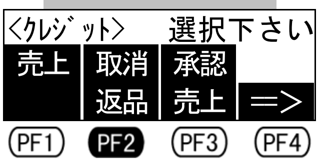
>参照>　マニュアル入力については、「4-53ページ　マニュアル入力(カード情報の手動入力)」を参照してください。

>参照>　検索入力については、「4-57ページ　検索入力（カード情報の検索入力）」を参照してください。



業務初期画面で、PF1（クレジット）キーを押します。

Point　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。



クレジット業務初期画面で、PF2（取消返品）キーを押します。

Point　PF3（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。

取消返品： 選択下さい
売上取消 | 承認取消 | ｵｰｿﾘ取消 | =>
(PF1) (PF2) (PF3) (PF4)

取消返品を行いたい取引に該当する選択キーを押します。

(PF1)（売上取消）：クレジット売上で完了した取引を、取消または返品します。

(PF2)（承認取消）：承認後売上で完了した取引を、取消または返品します。

(PF3)（ｵｰｿﾘ取消）：オーソリ予約で完了した取引を取消します。

>参照>　オーソリ取消の操作方法については、「4-49ページ　オーソリ予約取消」を参照してください。

売上取消：
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞをどうぞ
検索 | ﾏﾆｭｱﾙ
(PF1) (PF2) (PF3) (PF4)

お客様のクレジットカードを、磁気カードリーダに通します。

>参照>　クレジットカードを磁気カードリーダに通す方法については、「1-8ページ　磁気カードの読取り方」を参照してください。

Point　画面の左上には、前の画面で選択した取引が表示されます。

Point　(PF3)（検索）は、会員番号の非表示機能が設定されていない場合には表示されません。

Point　IC クレジットカードの場合には、IC カード挿入口に挿入することもできます。ただし、使用する IC クレジットカードによって、処理できない場合があります。

Point　(PF4)（マニュアル）キーを押すと、カード情報を手動で入力することができます。

Point　(PF3)（検索）キーを押すと、カード情報を検索して入力することができます。

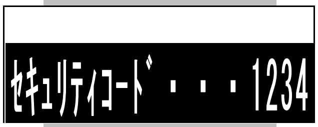
>参照>　会員番号の非表示機能については、「1-15ページ　会員番号の非表示機能について」を参照してください。

>参照>　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入する方法については、「1-9ページ　IC カードの読取り方」を参照してください。

>参照>　カード情報を手動で入力する方法については、「4-53ページ　マニュアル入力（カード情報の手動入力）」を参照してください。

>参照>　カード情報を検索して入力する方法については、「4-57ページ　検索入力（カード情報の検索入力）」を参照してください。

注意　ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合には、“ICカードを抜いて下さい”とメッセージが表示されるまで、ICクレジットカードを抜き取らないでください。



お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力して、(確定)キーを押します。

Point　セキュリティコードの入力画面は、カード会社とのご契約によって、表示されない場合があります。なお、この画面は、ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入した場合には表示されません。

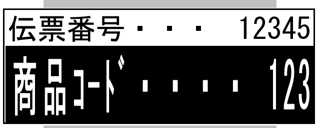
Point　セキュリティコードは、４桁まで入力できます。

Point　次の場合には、そのまま(確定)キーを押してください。セキュリティコードの入力をスキップできます。
- セキュリティコードが不明な場合
- セキュリティコードの入力を省略する場合

Point　セキュリティコードについてご不明な場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。



売上票に印字されている伝票番号を５桁で入力して、(確定)キーを押します。

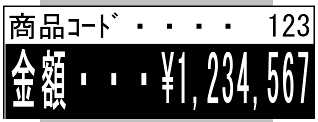


売上票に印字されている商品区分を３桁で入力して、(確定)キーを押します。

>参照>　商品コードについては、「付-1ページ　商品区分コード」を参照してください。

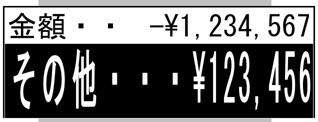
Point　商品コードの入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point　商品コードの入力を省略する場合には、そのまま(確定)キーを押してください。商品コードの入力をスキップできます。



売上票に印字されている金額を入力して、(確定)キーを押します。

Point　金額は、７桁まで入力できます。



売上票に印字されている、その他の金額を入力して、(確定)キーを押します。

Point　その他の金額の入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point　その他の金額は、６桁まで入力できます。

Point　その他の金額の入力を省略する場合には、そのまま(確定)キーを押してください。その他の金額の入力をスキップできます。



取消区分に該当する選択キーを押します。

(PF2)（取消）：当日分の売上を取り消します。

(PF3)（返品）：当日より前の売上を取り消します。

注意　返品を行う場合には、先に該当するカード会社にご確認ください。



支払方法選択画面で、売上票に印字されている支払方法に該当する選択キーを押します。

Point　ボーナス併用払いやリボルビング払いの場合には、(PF4)（==>）キーを押して表示された画面から、支払方法に該当する選択キーを押してください。

ABC ｶｰﾄﾞ　　一括払い ｸﾚｼﾞｯﾄ 取消　　-¥12,345,678

表示された内容を確認して、(確定)キーを押します。

Point 画面の左上には、お客様のクレジットカードのカード会社名が表示されます。

Point 画面の左下には、前の画面で選択した取消区分が表示されます。

Point 画面の右上には、前の画面で選択した支払方法が表示されます。

取消：　　一括払い ｾﾝﾀ通信中→ → → →

CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

取消：　　一括払い ｾﾝﾀ通信 終了しました

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

1/4枚目を印字中

１枚目の売上票の印字が開始されます。

注意 IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合には、“IC カードを抜いて下さい”とメッセージが表示されます。この場合には、すぐに IC カード挿入口から、IC クレジットカードを抜き取ってください。

1/4枚目の印字完了 切取後確定ｷｰをどうぞ

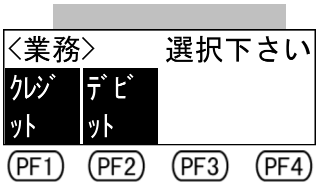
１枚目の売上票を切り取って、(確定)キーを押します。

2/4枚目を印字中

２枚目の売上票の印字が開始されます。

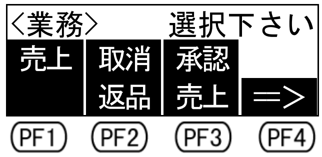
Point 以降同様に、３枚目と４枚目の売上票を印字します。なお、印字枚数は、本端末の業務設定で変更することができます。

>参照> 本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。



業務初期画面に戻ります。

Point　業務初期画面は、クレジット専用機の場合には、次の画面となります。



4.6.2　オーソリ予約取消

ここでは、オーソリ予約で完了した取引を取り消す場合の操作方法を説明します。

注意　オーソリ予約取消を行う売上票を見ながら操作してください。

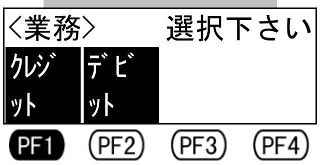
注意　オーソリ予約取消を行う売上票において、会員番号が非表示（カード番号の一部、および有効期限が“X”）となっている場合で、お客様のクレジットカードがない場合には、マニュアル入力を行うことができません。この場合には、検索入力を行うか、または該当するカード会社にお問い合わせください。

注意　オーソリ予約取消は、カード会社とのご契約によって、使用できない場合があります。（ご契約がない場合には、(PF3)（オーソリ取消）キーが表示されません。）

>参照>　会員番号の非表示については、「1-15ページ　会員番号の非表示機能について」を参照してください。

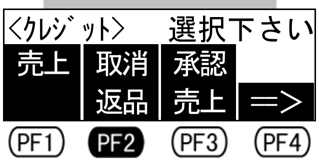
>参照>　マニュアル入力については、「4-53ページ　マニュアル入力(カード情報の手動入力)」を参照してください。

>参照>　検索入力については、「4-57ページ　検索入力（カード情報の検索入力）」を参照してください。



業務初期画面で、(PF1)（クレジット）キーを押します。

Point　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。



クレジット業務初期画面で、(PF2)（取消返品）キーを押します。

Point　(PF3)（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。



(PF3)（オーソリ取消）キーを押します。

オーソリ取消 :
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞ をどうぞ
検索　ﾏﾆｭｱﾙ
PF1　PF2　PF3　PF4

お客様のクレジットカードを、磁気カードリーダに通します。

>参照>　クレジットカードを磁気カードリーダに通す方法については、「1-8ページ　磁気カードの読取り方」を参照してください。

Point　PF3（検索）は、会員番号の非表示機能が設定されていない場合には表示されません。

Point　IC クレジットカードの場合には、IC カード挿入口に挿入することもできます。ただし、使用する IC クレジットカードによって、処理できない場合があります。

Point　PF4（マニュアル）キーを押すと、カード情報を手動で入力することができます。

Point　PF3（検索）キーを押すと、カード情報を検索して入力することができます。

>参照>　会員番号の非表示機能については、「1-15ページ　会員番号の非表示機能について」を参照してください。

>参照>　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入する方法については、「1-9ページ　IC カードの読取り方」を参照してください。

>参照>　カード情報を手動で入力する方法については、「4-53ページ　マニュアル入力（カード情報の手動入力）」を参照してください。

>参照>　カード情報を検索して入力する方法については、「4-57ページ　検索入力（カード情報の検索入力）」を参照してください。

注意　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合には、“IC カードを抜いて下さい”とメッセージが表示されるまで、IC クレジットカードを抜き取らないでください。

ｾｷｭﾘﾃｨｺｰﾄﾞ・・・1234

お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力して、確定キーを押します。

Point　セキュリティコードの入力画面は、カード会社とのご契約によって、表示されない場合があります。なお、この画面は、ICクレジットカードを ICカード挿入口に挿入した場合には表示されません。

Point　セキュリティコードは、４桁まで入力できます。

Point　次の場合には、そのまま(確定)キーを押してください。セキュリティコードの入力をスキップできます。
・セキュリティコードが不明な場合
・セキュリティコードの入力を省略する場合

Point　セキュリティコードについてご不明な場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。

セｷｭﾘﾃｨｺｰﾄﾞ・・・　1234
伝票番号・・・　12345

売上票に印字されている伝票番号を５桁で入力して、(確定)キーを押します。

伝票番号・・・　12345
商品ｺｰﾄﾞ・・・・　123

売上票に印字されている商品区分を３桁で入力して、(確定)キーを押します。

>参照>　商品コードについては、「付-1ページ　商品区分コード」を参照してください。

Point　商品コードの入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point　商品コードの入力を省略する場合には、そのまま(確定)キーを押してください。商品コードの入力をスキップできます。

商品ｺｰﾄﾞ・・・・　123
金額・・・¥1,234,567

売上票に印字されている金額を入力して、(確定)キーを押します。

Point　金額は、７桁まで入力できます。

金額・・　–¥1,234,567
その他・・・¥123,456

売上票に印字されている、その他の金額を入力して、(確定)キーを押します。

Point　その他の金額の入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point　その他の金額は、６桁まで入力できます。

Point　その他の金額の入力を省略する場合には、そのまま(確定)キーを押してください。その他の金額の入力をスキップできます。

ABC ｶｰﾄﾞ
ｵｰｿﾘ
取消　-¥12,345,678

表示された内容を確認して、(確定)キーを押します。

Point　画面の左上には、お客様のクレジットカードのカード会社名が表示されます。

取消返品：
ｾﾝﾀ通信中→ → → →

CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

取消返品：
ｾﾝﾀ通信　終了しました

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

1/1枚目を印字中

売上票の印字が開始されます。

注意　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入した場合には、“IC カードを抜いて下さい”とメッセージが表示されます。この場合には、すぐに IC カード挿入口から、IC クレジットカードを抜き取ってください。

1/1枚目の印字完了
切取後確定ｷｰをどうぞ

売上票を切り取ります。

〈業務〉　選択下さい
ｸﾚｼﾞｯﾄ	ﾃﾞﾋﾞｯﾄ		
(PF1)	(PF2)	(PF3)	(PF4)

業務初期画面に戻ります。

Point　業務初期画面は、クレジット専用機の場合には、次の画面となります。

〈業務〉　選択下さい
売上	取消返品	承認売上	=>
(PF1)	(PF2)	(PF3)	(PF4)

4.7　カード情報・カード会社番号の手動入力

ここでは､カード情報やカード会社番号を手動で入力する場合の操作方法を説明します。

4.7.1　マニュアル入力（カード情報の手動入力）

ここでは､お客様のクレジットカードのカード情報を手動で入力する場合の操作方法を説明します。

注意　マニュアル入力は、クレジットカードでの取引の際に、お客様のクレジットカードの情報が読み取れなかった場合や、お客様のクレジットカードがない場合に行ってください。

注意　マニュアル入力は、使用するクレジットカードによって、使用できない場合があります。マニュアル入力ができない場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。

注意　クレジット取消返品を行う際に、取消、返品、またはオーソリ予約取消を行う売上票において、会員番号が非表示（カード番号の一部、および有効期限が“X”）となっている場合で、お客様のクレジットカードがない場合には、マニュアル入力を行うことができません。この場合には、検索入力を行うか、または該当するカード会社にお問い合わせください。

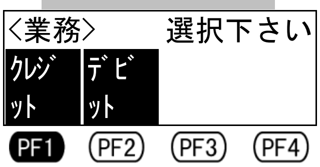
>参照>　会員番号の非表示については、「1-15ページ　会員番号の非表示機能について」を参照してください。

>参照>　クレジット取消返品については、「4-43ページ　クレジット取消返品」を参照してください。

>参照>　検索入力については、「4-57ページ　検索入力（カード情報の検索入力）」を参照してください。

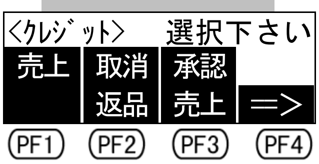
Point　マニュアル入力では、カード会社番号（KID）を入力します。カード会社番号（KID）が分からない場合には、あらかじめKID一覧を印字して、確認しておいてください。

>参照>　KID一覧を印字する方法については、「6-7ページ　KID一覧の印字」を参照してください。



業務初期画面で、PF1（クレジット）キーを押します。

Point　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。

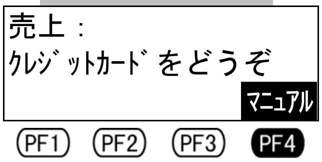


クレジット業務初期画面で、業務区分に該当する選択キーを押します。

Point　事前承認（オーソリ予約・カードチェック）の場合には、PF4（==>）キーを押して表示された画面からPF1（事前承認）キーを押し、さらに表示された画面から業務区分に該当する選択キーを押してください。

Point　(PF3)（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。

Point　(PF2)（取消返品）キーを押すと、さらに対象業務を選択する画面が表示されます。対象業務を選択すると、次の画面に移ります。



(PF4)（マニュアル）キーを押します。

Point　画面の左上には、前の画面で選択した業務区分が表示されます。



カード会社番号（KID）を３桁で入力して、(確定)キーを押します。



カード番号を入力して、(確定)キーを押します。

Point　カード番号は、19 桁まで入力できます。



有効期限を入力して、(確定)キーを押します。

Point　有効期限は、年と月を４桁で入力します。



お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力して、(確定)キーを押します。

Point　セキュリティコードの入力画面は、カード会社とのご契約によって、表示されない場合があります。

Point　セキュリティコードは、４桁まで入力できます。

Point　次の場合には、そのまま(確定)キーを押してください。セキュリティコードの入力をスキップできます。
- セキュリティコードが不明な場合
- セキュリティコードの入力を省略する場合

Point　セキュリティコードについてご不明な場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。

Point　以降の操作は、承認後売上と承認後売上の取消返品の場合を除き、クレジットカードの情報が読み取れた場合の操作と同じです。

Point　承認後売上と承認後売上の取消返品の場合には、続けて、利用日の入力画面が表示されます。

>参照>　承認後売上と承認後売上の取消返品以外の、以降の操作方法については、それぞれの業務に該当する次の項目を参照してください。

・クレジット売上
　「4-5ページ　クレジット売上」
・オーソリ予約
　「4-36ページ　オーソリ予約」
・カードチェック
　「4-40ページ　カードチェック（カードの有効／無効のチェック）」
・クレジット売上の取消返品
　「4-43ページ　クレジット売上・承認後売上の取消返品」
・オーソリ予約取消
　「4-49ページ　オーソリ予約取消」

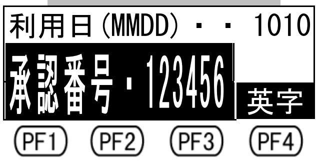
>参照>　承認後売上と承認後売上の取消返品の、以降の操作方法については、次の「■承認後売上の場合」および「■承認後売上の取消返品の場合」を参照してください。

■ 承認後売上の場合



利用日を入力して、(確定)キーを押します。

Point　利用日は、月と日を４桁で入力します。

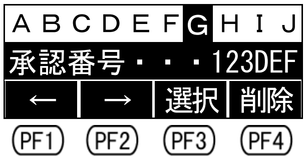


承認番号を入力して、(確定)キーを押します。

Point　承認番号は、６桁まで入力できます。

Point　承認番号に英文字が入っている場合には、(PF4)キーを押して、英文字を入力してください。

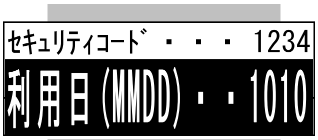
Point　(PF4)（英字）キーを押すと、右のような画面が表示されます。
(PF1)（←）キーまたは(PF2)（→）キーで、英文字を選びます。
(PF3)（選択）キーで、決定します。
間違って入力してしまった場合には、(PF4)（削除）キーで削除します。
英文字が入力できたら、(確定)キーを押してください。



Point　以降の操作は、クレジットカードの情報が読み取れた場合の操作と同じです。

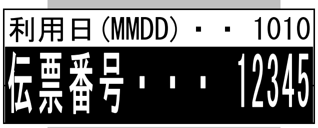
>参照>　以降の操作方法については、「4-32ページ　承認後売上」を参照してください。

■ 承認後売上の取消返品の場合



売上票に印字されている利用日を入力して、(確定)キーを押します。

Point　利用日は、月と日を４桁で入力します。



売上票に印字されている伝票番号を５桁で入力して、(確定)キーを押します。

Point　以降の操作は、クレジットカードの情報が読み取れた場合の操作と同じです。

>参照>　以降の操作方法については、「4-43ページ　クレジット売上・承認後売上の取消返品」を参照してください。

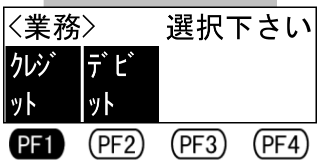
4.7.2　検索入力（カード情報の検索入力）

ここでは、お客様のクレジットカードのカード情報を検索して入力する場合の操作方法を説明します。

> **注意**　検索入力は、クレジット取消返品を行う際に、取消、返品、またはオーソリ予約取消を行う売上票において、会員番号が非表示（カード番号の一部、および有効期限が“X”）となっている場合で、お客様のクレジットカードがない場合に行ってください。
>
> **注意**　検索入力は、実際にクレジット売上またはオーソリ予約を実施した端末にて行ってください。他の端末で検索入力を行っても、該当の取引は検索できません。

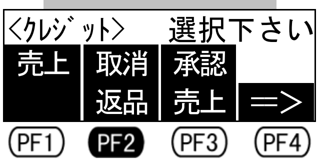
>参照>　会員番号の非表示については、「1-15ページ　会員番号の非表示機能について」を参照してください。

>参照>　クレジット取消返品については、「4-43ページ　クレジット取消返品」を参照してください。



業務初期画面で、PF1（クレジット）キーを押します。

> **Point**　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。



クレジット業務初期画面で、PF2（取消返品）キーを押します。

> **Point**　PF3（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。



取消返品を行いたい取引に該当する選択キーを押します。

- PF1（売上取消）：クレジット売上で完了した取引を、取消または返品します。
- PF2（承認取消）：承認後売上で完了した取引を、取消または返品します。
- PF3（ｵｰｿﾘ取消）：オーソリ予約で完了した取引を取消します。

```
売上取消：
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞをどうぞ
        検索 ﾏﾆｭｱﾙ
```

(PF1) (PF2) (PF3) (PF4)

(PF3)（検索）キーを押します。

Point 画面の左上には、前の画面で選択した業務区分が表示されます。

```
伝票番号・・・ 12345
```

売上票に印字されている伝票番号を５桁で入力して、(確定)キーを押します。

```
取消返品対象と思われ
る取引があります
確定ｷｰをどうぞ
```

対象の取引検索終了のメッセージが表示されたら、(確定)キーを押します。

Point 対象の取引が見つからなかった場合には、次の画面が表示されます。

```
取消対象取引が存在し
ません。ｶｰﾄﾞ会社へ
お問合せ下さい
```

この場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。

```
端末番号を確認下さい
     12345-678-90123
     一致      不一致
```

(PF1) (PF2) (PF3) (PF4)

売上票に印字されている端末番号と一致していることを確認し、(PF2)（一致）キーを押します。

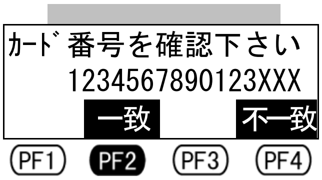
Point 売上票に印字されている端末番号と一致しなかった場合には、(PF4)（不一致）キーを押してから、該当するカード会社にお問い合わせください。

```
ご利用日を確認下さい
 2008/06/30 12:34:56
     一致      不一致
```

(PF1) (PF2) (PF3) (PF4)

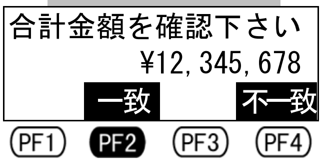
売上票に印字されているご利用日と一致していることを確認し、(PF2)（一致）キーを押します。

Point 売上票に印字されているご利用日と一致しなかった場合には、(PF4)（不一致）キーを押してから、該当するカード会社にお問い合わせください。



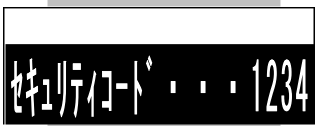
売上票に印字されているカード番号と一致していることを確認し、(PF2)（一致）キーを押します。

Point　売上票に印字されているカード番号と一致しなかった場合には、(PF4)（不一致）キーを押してから、該当するカード会社にお問い合わせください。



売上票に印字されている合計金額と一致していることを確認し、(PF2)（一致）キーを押します。

Point　売上票に印字されている合計金額と一致しなかった場合には、(PF4)（不一致）キーを押してから、該当するカード会社にお問い合わせください。



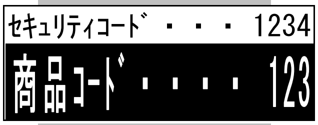
お客様のクレジットカードのセキュリティコードを入力して、(確定)キーを押します。

Point　セキュリティコードの入力画面は、カード会社とのご契約によって、表示されない場合があります。

Point　セキュリティコードは、４桁まで入力できます。

Point　次の場合には、そのまま(確定)キーを押してください。セキュリティコードの入力をスキップできます。
- セキュリティコードが不明な場合
- セキュリティコードの入力を省略する場合

Point　セキュリティコードについてご不明な場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。



売上票に印字されている商品区分を３桁で入力して、(確定)キーを押します。

>参照>　商品コードについては、「付-1ページ　商品区分コード」を参照してください。

Point　商品コードの入力画面は、使用するクレジットカードによって、表示されない場合があります。

Point　商品コードの入力を省略する場合には、そのまま(確定)キーを押してください。商品コードの入力をスキップできます。



取消区分に該当する選択キーを押します。

(PF2)（取消）：当日分の売上を取り消します。

(PF3)（返品）：当日より前の売上を取り消します。

Point　これらの画面は、クレジット売上・承認後売上の取消返品の場合に表示されます。なお、オーソリ予約取消の場合には、これらの画面は表示されません。

注意　返品を行う場合には、先に該当するカード会社にご確認ください。



支払方法選択画面で、売上票に印字されている支払方法に該当する選択キーを押します。

Point　ボーナス併用払いやリボルビング払いの場合には、(PF4)（==>）キーを押して表示された画面から、支払方法に該当する選択キーを押してください。

ABC ｶｰﾄﾞ　　一括払い ｸﾚｼﾞｯﾄ 取消　　-¥12,345,678	表示された内容を確認して、(確定)キーを押します。 **Point**　画面の左上には、お客様のクレジットカードのカード会社名が表示されます。 **Point**　画面の左下には、前の画面で選択した取消区分が表示されます。 **Point**　画面の右上には、前の画面で選択した支払方法が表示されます。
取消：　　一括払い ｾﾝﾀ通信中→ → → →	CARDNET センターとの通信が開始されます。 “→”が４つまで表示されます。

Point　以降の操作は、クレジットカードの情報が読み取れた場合の操作と同じです。

>参照>　以降の操作方法については､それぞれの業務に該当する次の項目を参照してください。
・クレジット売上・承認後売上の取消返品
「4-43ページ　クレジット売上・承認後売上の取消返品」
・オーソリ予約取消
「4-49ページ　オーソリ予約取消」

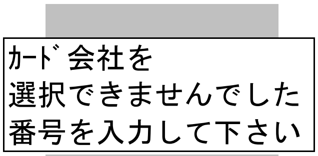
4.7.3　　KID入力（カード会社番号の手動入力）

ここでは、カード会社番号（KID）を手動で入力する場合の操作方法を説明します。

注意　KID入力は、磁気クレジットカードを磁気カードリーダに通したり、ICクレジットカードをICカード挿入口に挿入したりしても、本端末内に登録されていないカード会社のカードで、本端末で自動的にカード会社を選択できずに、次の画面が表示された場合に行ってください。

Point　KID入力では、カード会社番号（KID）を入力します。カード会社番号（KID）が分からない場合には、あらかじめKID一覧を印字して、確認しておいてください。

>参照>　KID一覧を印字する方法については、「6-7ページ　KID一覧の印字」を参照してください。



お客様のクレジットカードの、カード会社の選択が本端末で自動的にできない場合には、この画面が表示されます。



カード会社番号（KID）を３桁でを入力して、(確定)キーを押します。

Point　以降の操作は、クレジットカードの情報が読み取れた場合の操作と同じです。

>参照>　以降の操作方法については､それぞれの業務に該当する次の項目を参照してください。
・クレジット売上
　「4-5ページ　クレジット売上」
・承認後売上
　「4-32ページ　承認後売上」
・オーソリ予約
　「4-36ページ　オーソリ予約」
・カードチェック
　「4-40ページ　カードチェック（カードの有効／無効のチェック）」
・クレジット売上・承認後売上の取消返品
　「4-43ページ　クレジット売上・承認後売上の取消返品」
・オーソリ予約取消
　「4-49ページ　オーソリ予約取消」

第5章　デビットカードでの販売業務

5.1　デビットカードでの販売業務を行う前に

ここでは、デビットカードでの販売業務を行う前に知っておいてほしいことを説明します。

注意　デビットカードは、カード会社とのご契約によって、使用できない場合があります。
（ご契約がない場合には、業務初期画面として次の画面が表示されます。）

ﾓｰﾄﾞ選択：　選択下さい			
業務	集計	設定	練習
PF1	PF2	PF3	PF4

5.1.1　デビットカードでの取引の処理方法について

デビットカードでの取引では、加盟店様での取引のつど、本端末から CARDNET センターを経由して各金融機関へ、信用照会を行うとともに取引データも送信します。

5.1.2　デビット上限金額について

デビットカードでの取引の際に、デビット上限金額を超える金額を入力すると、次の画面が表示されます。

利用金額上限超過です			
金額を確認して下さい			
	訂正		中止
PF1	PF2	PF3	PF4

対応方法に該当する選択キーを押します。

PF2（訂正）：金額を訂正します。

PF4（中止）：取引を中止します。

Point　この画面は、カード会社とのご契約によって、表示されない場合があります。

5.1.3　暗証番号の入力について

デビットカードでの取引の際には、お客様に暗証番号を入力していただく必要があります。お客様に本端末をお渡しして、暗証番号を入力していただいてください。

5.1.4　サインについて

デビットカードでの取引の際には、売上票に、お客様からサインをいただく必要はありません。

5.1.5　端末故障・センターダウン・センター休止時の対応

本端末が故障した場合や、CARDNET センターがダウンまたは休止の場合には、デビットカードでの取引は行えません。

5.1.6　売上票の送付について

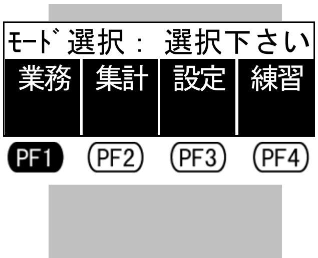
２枚目の売上票“保管センタ用”を、CARDNET 売上票保管センターへ送付してください。

Point　デビットでは、売上票のことを“口座引落確認書”といいます。

>参照>　売上票の送付についての詳細は、『かんたんご利用ガイド』を参照してください。

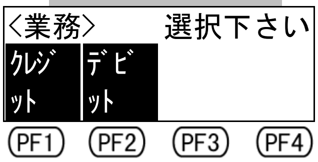
5.2　販売業務の開始操作

ここでは、販売業務を開始する場合の操作方法を説明します。



本端末の電源を入れ、モード選択画面を表示させて、PF1（業務）キーを押します。

>参照>　電源を入れてからモード選択画面を表示させるまでの操作方法については、「1-10ページ　電源を入れた後の画面の流れ」を参照してください。



業務初期画面が表示されます。
デビットカードでの販売業務は、この画面から始めてください。

5.3　デビット売上

ここでは、お客様がデビットカードで支払われる場合の操作方法を説明します。

<業務>	選択下さい		
クレジット	デビット		
PF1	PF2	PF3	PF4

業務初期画面で、PF2（デビット）キーを押します。

<デビット>	選択下さい		
売上	取消返品	残高確認	=>
PF1	PF2	PF3	PF4

デビット業務初期画面で、PF1（売上）キーを押します。

Point　PF3（残高確認）は、本端末の業務設定によって、表示されない場合があります。

>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

デビット売上：
カード をどうぞ

お客様のデビットカードを、磁気カードリーダに通します。

>参照>　デビットカードを磁気カードリーダに通す方法については、「1-8ページ　磁気カードの読取り方」を参照してください。

商品コード・・・・123

商品コードを３桁で入力して、確定キーを押します。

>参照>　商品コードについては、「付-1ページ　商品区分コード」を参照してください。

Point　商品コードの入力画面は、使用するデビットカードによって、表示されない場合があります。

Point　商品コードの入力を省略する場合には、そのまま確定キーを押してください。商品コードの入力をスキップできます。

商品コード・・・・123
金額・・・¥1,234,567

金額を入力して、確定キーを押します。

Point　金額は、７桁まで入力できます。

金額・・・¥1,234,567
その他・・・¥123,456

その他の金額を入力して、確定キーを押します。

Point その他の金額の入力画面は、使用するデビットカードによって、表示されない場合があります。

Point その他の金額は、６桁まで入力できます。

Point その他の金額の入力を省略する場合には、そのまま確定キーを押してください。その他の金額の入力をスキップできます。

Aﾃﾞﾋﾞｯﾄ
ﾃﾞﾋﾞｯﾄ
売上　¥12,345,678

表示された内容を確認して、確定キーを押します。

Point 画面の左上には、お客様のデビットカードのデビット名称が表示されます。

お客様に、本端末をお渡しします。

ﾃﾞﾋﾞｯﾄ売上¥12,345,678
暗証番号************
入力後確定ｷｰをどうぞ

お客様に、金額を確認していただきます。さらに、暗証番号を入力して、確定キーを押していただきます。

暗証番号の確認完了
端末を係員に
お戻し下さい

暗証番号確認完了のメッセージが表示されます。

お客様から、本端末を受け取ります。

注意 暗証番号は、必ずお客様に入力していただいてください。

Point 入力した暗証番号は、“＊”で表示されます。

Point 暗証番号入力待ちタイマは、本端末の機器設定で変更することができます。

>参照> 本端末の機器設定については、「7-8ページ　機器設定（機器に関する情報の設定）」を参照してください。

確定ｷｰをどうぞ

確定キーを押します。

ﾃﾞﾋﾞｯﾄ売上:
ｾﾝﾀ通信中→ → → →

CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

ﾃﾞﾋﾞｯﾄ売上:
ｾﾝﾀ通信 終了しました

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

1/4枚目を印字中

１枚目の売上票（口座引落確認書）の印字が開始されます。

1/4枚目の印字完了
切取後確定ｷｰをどうぞ

１枚目の売上票（口座引落確認書）を切り取って、確定キーを押します。

2/4枚目を印字中

２枚目の売上票（口座引落確認書）の印字が開始されます。

Point　以降同様に、３枚目と４枚目の売上票（口座引落確認書）を印字します。なお、印字枚数は、本端末の業務設定で変更することができます。

>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

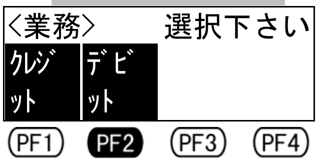
<業務>　選択下さい
ｸﾚｼﾞｯﾄ　ﾃﾞﾋﾞｯﾄ
PF1　PF2　PF3　PF4

業務初期画面に戻ります。

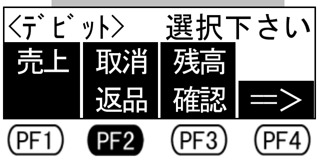
5.4　デビット取消

ここでは、デビット売上で完了した取引を、取り消す場合の操作方法を説明します。

> **注意**　デビットカードでの取引では、当日分の売上のみ取り消すことができます。当日より前の売上を取り消す場合には、該当する金融機関または決済代行業者にご連絡ください。
> ・取消：当日分の売上を取り消す場合に使用します。
> ・返品：運用上、使用できません。
>
> **注意**　取消を行う売上票（口座引落確認書）を見ながら操作してください。



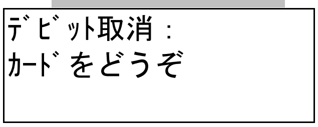
業務初期画面で、PF2（デビット）キーを押します。



デビット業務初期画面で、PF2（取消返品）キーを押します。

Point　PF3（残高確認）は、本端末の業務設定によって、表示されない場合があります。

>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。



お客様のデビットカードを、磁気カードリーダに通します。

>参照>　デビットカードを磁気カードリーダに通す方法については、「1-8ページ　磁気カードの読取り方」を参照してください。



売上票（口座引落確認書）に印字されている伝票番号を５桁で入力して、確定キーを押します。

伝票番号　・・・12345
商品ｺｰﾄﾞ　・・・・123

売上票（口座引落確認書）に印字されている商品区分を３桁で入力して、(確定)キーを押します。

>参照>　商品コードについては、「付-1ページ　商品区分コード」を参照してください。

> **Point**　商品コードの入力画面は、使用するデビットカードによって、表示されない場合があります。
>
> **Point**　商品コードの入力を省略する場合には、そのまま(確定)キーを押してください。商品コードの入力をスキップできます。

商品ｺｰﾄﾞ　・・・・123
金額・・・¥1,234,567

売上票（口座引落確認書）に印字されている金額を入力して、(確定)キーを押します。

> **Point**　金額は、７桁まで入力できます。

金額・・　−¥1,234,567
その他・・・¥123,456

売上票（口座引落確認書）に印字されている、その他の金額を入力して、(確定)キーを押します。

> **Point**　その他の金額の入力画面は、使用するデビットカードによって、表示されない場合があります。
>
> **Point**　その他の金額は、６桁まで入力できます。
>
> **Point**　その他の金額の入力を省略する場合には、そのまま(確定)キーを押してください。その他の金額の入力をスキップできます。

Aﾃﾞﾋﾞｯﾄ
ﾃﾞﾋﾞｯﾄ
取消返品　-¥12,345,678

表示された内容を確認して、(確定)キーを押します。

> **Point**　画面の左上には、お客様のデビットカードのデビット名称が表示されます。

ﾃﾞﾋﾞｯﾄ取消-12,345,678
暗証番号************
入力後確定ｷｰをどうぞ

暗証番号の確認完了
端末を係員に
お戻し下さい

お客様に、本端末をお渡しします。

お客様に、金額を確認していただきます。さらに、暗証番号を入力して、（確定）キーを押していただきます。

暗証番号確認完了のメッセージが表示されます。

お客様から、本端末を受け取ります。

注意　暗証番号は、必ずお客様に入力していただいてください。

Point　この画面は、カード会社とのご契約によって、表示されない場合があります。

Point　入力した暗証番号は、“＊”で表示されます。

Point　暗証番号入力待ちタイマは、本端末の機器設定で変更することができます。

>参照>　本端末の機器設定については、「7-8ページ　機器設定（機器に関する情報の設定）」を参照してください。

取消区分 ：選択下さい
取消　返品

（PF1）（PF2）（PF3）（PF4）

（PF2）（取消）キーを押します。

注意　デビットカードでの取引では、運用上、“返品”は使用できません。
必ず、（PF2）（取消）キーを押してください。

確定ｷｰをどうぞ

（確定）キーを押します。

ﾃﾞﾋﾞｯﾄ取消：
ｾﾝﾀ通信中→ → → →

CARDNET センターとの通信が開始されます。
“→”が４つまで表示されます。

ﾃﾞﾋﾞｯﾄ取消：
ｾﾝﾀ通信　終了しました

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

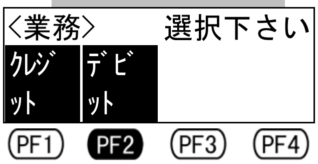
1/4枚目を印字中	１枚目の売上票（口座引落確認書）の印字が開始されます。
1/4枚目の印字完了 切取後確定ｷｰをどうぞ	**１枚目の売上票（口座引落確認書）を切り取って、確定キーを押します。**
2/4枚目を印字中	２枚目の売上票（口座引落確認書）の印字が開始されます。 **Point**　以降同様に、３枚目と４枚目の売上票（口座引落確認書）を印字します。なお、印字枚数は、本端末の業務設定で変更することができます。 **>参照>**　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。
〈業務〉　　選択下さい ｸﾚｼﾞｯﾄ　ﾃﾞﾋﾞｯﾄ PF1　PF2　PF3　PF4	業務初期画面に戻ります。

5.5　残高確認

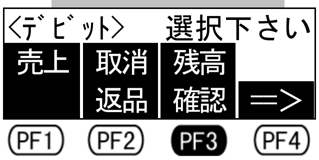
ここでは、デビットカードの残高を確認する場合の操作方法を説明します。
残高確認では、お客様のデビットカードで、入力した金額分の取引ができるかどうかを確認することができます。

> **注意**　残高確認は、本端末の業務設定で“残高確認表示”を“なし”に設定した場合には使用できません。（PF3（残高確認）が表示されません。）

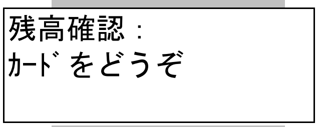
>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。



業務初期画面で、PF2（デビット）キーを押します。



デビット業務初期画面で、PF3（残高確認）キーを押します。



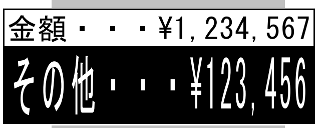
お客様のデビットカードを、磁気カードリーダに通します。

>参照>　デビットカードを磁気カードリーダに通す方法については､｢1-8ページ　磁気カードの読取り方｣を参照してください。



金額を入力して、確定キーを押します。

> **Point**　金額は、７桁まで入力できます。



その他の金額を入力して､確定キーを押します。

> **Point**　その他の金額の入力画面は、使用するデビットカードによって、表示されない場合があります。
>
> **Point**　その他の金額は、６桁まで入力できます。
>
> **Point**　その他の金額の入力を省略する場合には、そのまま確定キーを押してください。その他の金額の入力をスキップできます。

Aﾃﾞﾋﾞｯﾄ 残高確認　¥12,345,678	表示された内容を確認して、(確定)キーを押します。 **Point**　画面の左上には、お客様のデビットカードのデビット名称が表示されます。

お客様に、本端末をお渡しします。

残高確認　¥12,345,678 暗証番号************ 入力後確定ｷｰをどうぞ	お客様に、金額を確認していただきます。さらに、暗証番号を入力して、(確定)キーを押していただきます。
暗証番号の確認完了 端末を係員に お戻し下さい	暗証番号確認完了のメッセージが表示されます。

お客様から、本端末を受け取ります。

注意　暗証番号は、必ずお客様に入力していただいてください。

Point　入力した暗証番号は、“＊”で表示されます。

Point　暗証番号入力待ちタイマは、本端末の機器設定で変更することができます。

>参照>　本端末の機器設定については、「7-8ページ　機器設定(機器に関する情報の設定)」を参照してください。

確定ｷｰをどうぞ	(確定)キーを押します。
残高確認： ｾﾝﾀ通信中→ → → →	CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

残高確認：
ｾﾝﾀ通信 終了しました

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

Point　残高確認の売上票（口座引落確認書）は、本端末の業務設定によって、印字されない場合があります。

>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

1/4枚目を印字中

１枚目の売上票（口座引落確認書）の印字が開始されます。

1/4枚目の印字完了
切取後確定ｷｰをどうぞ

１枚目の売上票（口座引落確認書）を切り取って、(確定)キーを押します。

2/4枚目を印字中

２枚目の売上票（口座引落確認書）の印字が開始されます。

Point　以降同様に、３枚目と４枚目の売上票（口座引落確認書）を印字します。なお、印字枚数は、本端末の業務設定で変更することができます。

>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

<業務>　選択下さい
ｸﾚｼﾞｯﾄ　ﾃﾞﾋﾞｯﾄ
(PF1)　(PF2)　(PF3)　(PF4)

業務初期画面に戻ります。

第6章　店舗業務

6.1　集計業務

ここでは、中間計を印字する方法、日計表を印字する方法、KID 一覧を印字する方法、および未送信の取引データを送信する方法を説明します。

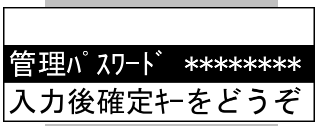
6.1.1　集計業務の開始操作

ここでは、集計業務を開始する場合の操作方法を説明します。



本端末の電源を入れ、モード選択画面を表示させて、PF2（集計）キーを押します。

>参照>　電源を入れてからモード選択画面を表示させるまでの操作方法については、「1-10ページ　電源を入れた後の画面の流れ」を参照してください。



管理パスワード入力画面で、管理パスワードを入力して、確定キーを押します。

Point　この画面は、本端末の設定によって、表示されない場合があります。

Point　管理パスワードは、８桁まで入力できます。

Point　入力した管理パスワードは、“*”で表示されます。

>参照>　本端末の設定については、「7-17ページ　パスワードの設定・消去」を参照してください。



集計初期画面が表示されます。
集計業務は、この画面から始めてください。

Point　PF4（結果通知）は、IC クレジットカードでの売上の際に取引データの送信に失敗して、本端末内に送信されていない取引データが残っている場合に表示されます。

6.1.2　中間計の印字

ここでは、中間計を印字する場合の操作方法を説明します。
中間計の印字では、1日の途中で、現在までの取引の内容を印字することができます。

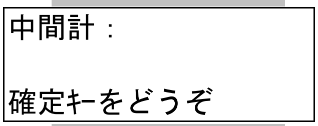
Point　日計表を印字したあと、取引が1件も成立していない場合に、中間計を印字しようとすると、“集計データはありません”とメッセージが表示されます。

>参照>　日計表の印字については、「6-4ページ　日計表の印字」を参照してください。



集計初期画面で、PF1（中間計）キーを押します。

Point　PF4（結果通知）は、ICクレジットカードでの売上の際に取引データの送信に失敗して、本端末内に送信されていない取引データが残っている場合に表示されます。



確定キーを押します。



中間計の印字が開始されます。

Point　印字枚数は、本端末の業務設定で変更することができます。

>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。



中間計を切り取ります。



集計初期画面に戻ります。

6.1.3　　日計表の印字

ここでは、日計表を印字する場合の操作方法を説明します。
日計表の印字では、1 日のクレジットカードでの取引およびデビットカードでの取引の内容、および集計結果を印字することができます。また、本端末内の取引カウンタと CARDNET センターの取引カウンタとが一致しているかどうかを確認することもできます。

注意　本端末には、当日の取引データがすべて蓄積されています。1日の業務終了後には、必ず日計表を印字して、日計表に印字された取引の内容を確認してください。
なお、日計表を印字すると、本端末内に蓄積されていた取引データは消去されます。

注意　“モードキーを押して日計をして下さい”とメッセージが表示された場合には、（モード）キーを押してモード選択画面に戻って、できるだけ早く日計表を印字してください。
なお、このメッセージは、次のいずれかの場合に表示されます。
・本端末内に蓄積されている取引データが 390 件を超えた場合
（本端末には、400 件分の取引データを蓄積することができます。）
・３日間、日計表が印字されていない場合
ただし、このメッセージが表示された場合でも、（リセット）キーを押すとそのまま取引を続けることができますが、取引が終わるたびにこのメッセージが表示されます。さらに、そのまま日計表を印字せずに、本端末内に 400 件分の取引データが蓄積されてしまうと、このメッセージが表示されたまま取引ができなくなってしまいます。

注意　日計表の印字に失敗した場合には、すぐに再印字を行ってください。

注意　日計表印字中にロール紙がなくなってしまった場合には、新しいロール紙と交換してください。日計表を最初から印字し直すことができます。

注意　日計表に“NG”と印字された場合には、必ず、CARDNET サービスデスクにご連絡ください。このとき、各取引の内容の先頭に“＊”が印字されている場合がありますので、あわせてご連絡ください。

Point　日計表を印字したあと、取引が１件も成立していない場合に、日計表を印字しようとすると、“集計データはありません”とメッセージが表示されます。

>参照>　再印字する方法については、「8-10ページ　伝票の印字に失敗した場合には(再印字)」を参照してください。

>参照>　ロール紙を交換する方法については、「2-11ページ　ロール紙のセット方法・交換方法」を参照してください。

>参照>　日計表の見方については、「9-10ページ　日計表」を参照してください。



集計初期画面で、（PF2）（日計）キーを押します。

Point　（PF4）（結果通知）は、IC クレジットカードでの売上の際に取引データの送信に失敗して、本端末内に送信されていない取引データが残っている場合に表示されます。

日計：

確定ｷｰをどうぞ

（確定）キーを押します。

結果通知：　　　　1/1
ｾﾝﾀ通信中→ → → →

CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

Point　これらの画面は、ICクレジットカードでの売上の際に取引データの送信に失敗して、本端末内に送信されていない取引データが残っている場合に表示されます。なお、本端末内に送信されていない取引データがない場合には、これらの画面は表示されずに、日計表の印字が開始されます。

結果通知：
ｾﾝﾀ通信　終了しました

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

1/2枚目を印字中

取引データの送信結果の印字が開始されます。

1/2枚目の印字完了
切取後確定ｷｰをどうぞ

送信結果を切り取って、（確定）キーを押します。

Point　未送信の取引データが正常に送信されると、次のような伝票が印字されます。

CARDNET

［結果通知］

加盟店名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
端末番号	99999-999-99999 R
ご利用日	YYYY/MM/DD HH:MM:SS

結果通知ＯＫです。

2/2枚目を印字中

日計表の印字が開始されます。

Point 印字枚数は、本端末の業務設定で変更することができます。

>参照> 本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

2/2枚目の印字完了

日計表を切り取ります。

Point “2/2 枚目を印字中”および“2/2 枚目の印字完了”のメッセージは、本端末内に送信されていない取引データがない場合には、“1/1 枚目を印字中”および“1/1 枚目の印字完了”と表示されます。

Point 印字完了後に、次の画面が表示された場合には、7 日以内にリモートメンテを行ってください。

最新情報を取得します
処理に数分かかる場合
があります　実行

また、上記の画面が表示されて、さらに 7 日間、リモートメンテを行わないと、次の画面が表示され、自動的にリモートメンテが行われます。

最新情報を取得します
処理に数分かかる場合
があります

>参照> リモートメンテについては、「7-5ページ　リモートメンテ（保守センターからの最新情報の受取り）」を参照してください。

<集計>		選択下さい	
中間計	日計	KID一覧	
PF1	PF2	PF3	PF4

集計初期画面に戻ります。

注意 日計表にて、1 日の取引の内容を確認してください。

>参照> 日計表の見方については、「9-10ページ　日計表」を参照してください。

Point PF4（結果通知）は、未送信の取引データが正常に送信されると消去されます。

6.1.4　KID 一覧の印字

ここでは、KID（カード会社番号およびデビット名称番号）の一覧を印字する場合の操作方法を説明します。
KID 一覧の印字では、本端末で使用できるカードの、カード会社名およびデビット名称の一覧を KID 順に印字することができます。

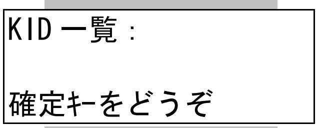
> **注意**　KID 一覧に、使用するカードのカード会社名またはデビット名称がない場合には、該当するカード会社または金融機関にご連絡ください。

>参照>　KID 一覧の見方については、「9-14ページ　KID 一覧」を参照してください。

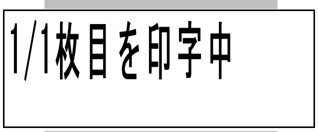


集計初期画面で、(PF3)（KID 一覧）キーを押します。

> **Point**　(PF4)（結果通知）は、IC クレジットカードでの売上の際に取引データの送信に失敗して、本端末内に送信されていない取引データが残っている場合に表示されます。



(確定)キーを押します。



KID 一覧の印字が開始されます。



KID 一覧を切り取ります。



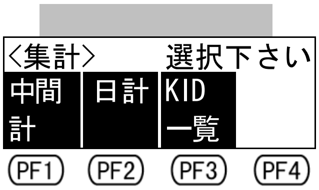
集計初期画面に戻ります。

6.1.5　結果通知（未送信の取引データの送信）

ここでは、未送信の取引データを送信する場合の操作方法を説明します。
結果通知では、本端末内に残っている送信されていない取引データを、CARDNET センターへ送信することができます。

> **注意**　結果通知は、IC クレジットカードでの売上の際に取引データの送信に失敗して、本端末内に送信されていない取引データが残っている場合に行ってください。（本端末内に送信されていない取引データが残っていない場合には、PF4（結果通知）が表示されません。）
>
> **注意**　結果通知は、電波状態の良い場所で行ってください。CARDNET センターとの通信が行われます。

画面	操作
〈集計〉　選択下さい 中間計 ｜ 日計 ｜ KID一覧 ｜ 結果通知 PF1　PF2　PF3　PF4	集計初期画面で、PF4（結果通知）キーを押します。
結果通知： 確定ｷｰをどうぞ	確定キーを押します。
結果通知：　1/1 ｾﾝﾀ通信中→ → → →	CARDNET センターとの通信が開始されます。 “→”が４つまで表示されます。
結果通知： ｾﾝﾀ通信　終了しました	CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。
1/1枚目を印字中	取引データの送信結果の印字が開始されます。
1/1枚目の印字完了	送信結果を切り取ります。



集計初期画面に戻ります。

Point　未送信の取引データが正常に送信されると、次のような伝票が印字されます。

CARDNET

［結果通知］

加盟店名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
端末番号	99999-999-99999 R
ご利用日	YYYY/MM/DD HH:MM:SS

結果通知ＯＫです。

Point　(PF4)（結果通知）は、未送信の取引データが正常に送信されると消去されます。

6.2　DLL（カード会社からの最新情報の受取り）

ここでは、カード会社からの最新情報を受け取る場合の操作方法を説明します。DLL では、本端末で使用できるカードのカード会社の情報に変更が生じた場合や、売上票に印字される加盟店名などに変更が生じた場合の、カード会社からの最新情報を、本端末内に受け取ることができます。

注意　DLL は、カード会社、CARDNET サービスデスク、または富士通決済端末サポートデスクからの要請があったときに行ってください。

```
<業務>      選択下さい
ｸﾚｼﾞｯﾄ  ﾃﾞﾋﾞｯﾄ
PF1  PF2  PF3  PF4
```

業務初期画面で、PF1（クレジット）キーを押します。

Point　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。

Point　業務初期画面でPF2（デビット）キーを押し、デビット業務初期画面でPF4（==>）キーを押しても、DLL を行うことができます。

```
<ｸﾚｼﾞｯﾄ>    選択下さい
売上  取消  承認
      返品  売上  ==>
PF1  PF2  PF3  PF4
```

クレジット業務初期画面で、PF4（==>）キーを押します。

Point　PF3（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。

```
<ｸﾚｼﾞｯﾄ>    選択下さい
事前  DLL  ｵﾝﾗｲ
承認       ﾝﾃｽﾄ  ==>
PF1  PF2  PF3  PF4
```

PF2（DLL）キーを押します。

Point　PF1（事前承認）は、カード会社とのご契約によって、表示されない場合があります。

```
DLL：

確定ｷｰをどうぞ
```

確定キーを押します。

```
DLL：
ｾﾝﾀ通信中→ → → →
```

CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。

DLL：
ｾﾝﾀ通信　終了しました

CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。

1/1枚目を印字中

DLL の結果の印字が開始されます。

1/1枚目の印字完了

DLL の結果を切り取ります。

Point　カード会社からの最新情報を正常に受け取ると、次のような伝票が印字されます。

CARDNET

［ＤＬＬ］

加盟店名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
端末番号	99999-999-99999 R
ご利用日	YYYY/MM/DD HH:MM:SS

ＤＬＬ登録ＯＫです。

<ｸﾚｼﾞｯﾄ>　選択下さい

PF1	PF2	PF3	PF4
事前承認	DLL	ｵﾝﾗｲﾝﾃｽﾄ	==>

この画面に戻ります。

6.3　オンラインテスト（センターとの通信の状態の確認）

ここでは、CARDNET センターとの通信の状態を確認する場合の操作方法を説明します。
オンラインテストでは、本端末と CARDNET センターとのオンライン通信に問題がないかを確認することができます。

> **注意**　オンラインテストは、CARDNET サービスデスクからの要請があったときに行ってください。

〈業務〉　選択下さい
クレジット | デビット
PF1 PF2 PF3 PF4

業務初期画面で、PF1（クレジット）キーを押します。

> **Point**　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません
>
> **Point**　業務初期画面でPF2（デビット）キーを押し、デビット業務初期画面でPF4（==>）キーを押しても、オンラインテストを行うことができます。

〈クレジット〉　選択下さい
売上 | 取消返品 | 承認売上 | ==>
PF1 PF2 PF3 PF4

クレジット業務初期画面で、PF4（==>）キーを押します。

> **Point**　PF3（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。

〈クレジット〉　選択下さい
事前承認 | DLL | オンライテスト | ==>
PF1 PF2 PF3 PF4

PF3（オンラインテスト）キーを押します。

> **Point**　PF1（事前承認）は、カード会社とのご契約によって、表示されない場合があります。

オンラインテスト：
確定キーをどうぞ

確定キーを押します。

オンラインテスト：
センタ通信中→ → → →

CARDNET センターとの通信が開始されます。
“→”が４つまで表示されます。

画面	説明
ｵﾝﾗｲﾝﾃｽﾄ： ｾﾝﾀ通信 終了しました	CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。
1/1枚目を印字中	オンラインテストの結果の印字が開始されます。
1/1枚目の印字完了	オンラインテストの結果を切り取ります。

Point　オンラインテストが正常に終了すると、次のような伝票が印字されます。

> CARDNET
>
> ［オンラインテスト］
>
> 加盟店名　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
> XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
>
> 端末番号　99999-999-99999 R
> ご利用日　YYYY/MM/DD HH:MM:SS
>
> オンラインテストＯＫです。

画面	説明
<ｸﾚｼﾞｯﾄ>　選択下さい 事前承認 (PF1)　DLL (PF2)　ｵﾝﾗｲﾝﾃｽﾄ (PF3)　==> (PF4)	この画面に戻ります。

6.4　練習モード（操作の練習）

ここでは、本端末の操作を練習する場合の操作方法を説明します。
練習モードでは、本端末の操作に慣れていない方のために、本端末の操作を練習していただくことができます。

注意　練習モードは、本来の業務ではありません。売上票には、ダミーのデータが印字されます。ダミーの売上票は、実際に取引を行った売上票に混じらないように、破棄してください。

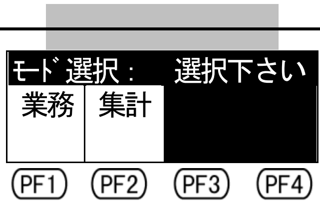
Point　練習モードで使用できるカードは、本端末に登録されているカードのみです。ただし、IC クレジットカードでの取引の操作を練習する場合には、本端末に登録されていないカードや、IC チップのないカードも使用することができます。

6.4.1　練習モードの開始操作

ここでは、練習モードを開始する場合の操作方法を説明します。



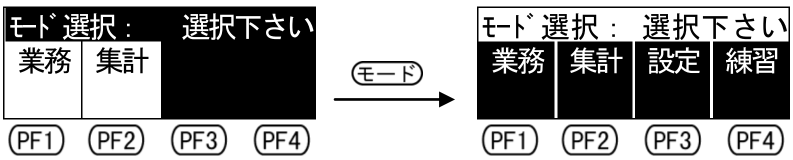
モード選択画面で、PF4（練習）キーを押します。



練習初期画面が表示されます。
操作の練習は、この画面から始めてください。

Point　練習モードでは、本来の業務と区別できるように、画面が反転して表示されます。

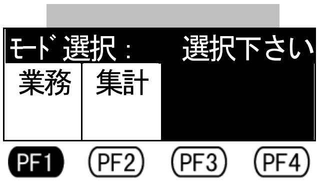
Point　練習モードを終了する場合には、次のいずれかの方法で操作します。
・練習初期画面で、モードキーを押します。モード選択画面に戻ります。



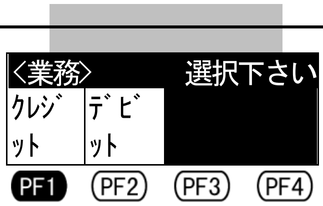
・練習モードの次のいずれかの画面で、本端末の電源を切ります。
　－ 練習初期画面
　－ 業務初期画面（クレジット業務初期画面、デビット業務初期画面を含む）
　－ 管理パスワード入力画面
　－ 集計初期画面

6.4.2　クレジットカードでの販売業務の練習

ここでは、クレジットカードでの販売業務を練習する場合の操作方法を説明します。

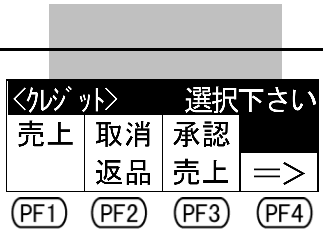


練習初期画面で、(PF1)（業務）キーを押します。



業務初期画面で、(PF1)（クレジット）キーを押します。

> **Point**　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。



クレジット業務初期画面で、練習したい業務区分に該当する選択キーを押します。

> **Point**　(PF3)（承認売上）は、オーソリ端末の場合には表示されません。
>
> **Point**　以降の操作は、本来の業務と同じです。

>参照>　以降の操作方法については、それぞれの業務に該当する次の項目を参照してください。

>参照>（PF4）
「6-10ページ　DLL（カード会社からの最新情報の受取り）」
「6-12ページ　オンラインテスト（センターとの通信の状態の確認）」
「4-36ページ　オーソリ予約」
「4-40ページ　カードチェック（カードの有効／無効のチェック）」

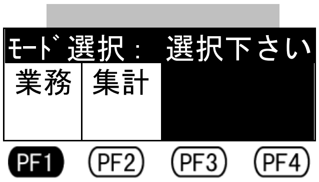
>参照>（PF3）「4-32ページ　承認後売上」

>参照>（PF2）
「4-43ページ　クレジット売上・承認後売上の取消返品」
「4-49ページ　オーソリ予約取消」

>参照>（PF1）「4-5ページ　クレジット売上」

6.4.3　デビットカードでの販売業務の練習

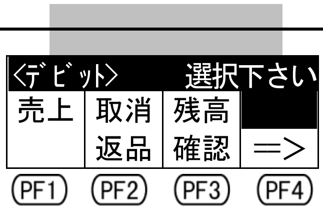
ここでは、デビットカードでの販売業務を練習する場合の操作方法を説明します。



練習初期画面で、PF1（業務）キーを押します。



業務初期画面で、PF2（デビット）キーを押します。



デビット業務初期画面で、練習したい業務区分に該当する選択キーを押します。

Point　PF3（残高確認）は、本端末の業務設定によって、表示されない場合があります。

Point　以降の操作は、本来の業務と同じです。

>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

>参照>　以降の操作方法については、それぞれの業務に該当する次の項目を参照してください。

>参照>　「6-10ページ　DLL（カード会社からの最新情報の受取り）」
「6-12ページ　オンラインテスト（センターとの通信の状態の確認）」

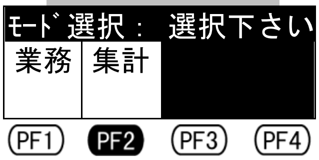
>参照>　「5-12ページ　残高確認」

>参照>　「5-8ページ　デビット取消」

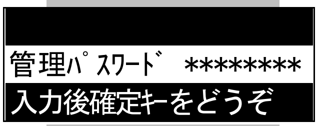
>参照>　「5-5ページ　デビット売上」

6.4.4　　集計業務の練習

ここでは、集計業務を練習する場合の操作方法を説明します。



練習初期画面で、PF2（集計）キーを押します。



管理パスワード入力画面で、管理パスワードを入力して、確定キーを押します。

Point　この画面は、本端末の設定によって、表示されない場合があります。

Point　管理パスワードは、８桁まで入力できます。

Point　入力した管理パスワードは、“*”で表示されます。

>参照>　本端末の設定については、「7-17ページ　パスワードの設定・消去」を参照してください。



集計初期画面で、練習したい業務区分に該当する選択キーを押します。

Point　PF4（結果通知）は、練習モードの場合には表示されません。

Point　以降の操作は、本来の業務と同じです。

>参照>　以降の操作方法については、それぞれの業務に該当する次の項目を参照してください。

>参照>　「6-7ページ　KID 一覧の印字」

>参照>　「6-4ページ　日計表の印字」

>参照>　「6-3ページ　中間計の印字」

第7章　設定業務

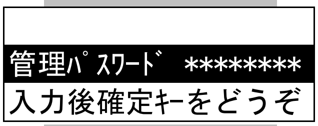
7.1　設定業務の開始操作

ここでは、設定業務を開始する場合の操作方法を説明します。



本端末の電源を入れ、モード選択画面を表示させて、PF3（設定）キーを押します。

>参照>　電源を入れてからモード選択画面を表示させるまでの操作方法については、「1-10ページ　電源を入れた後の画面の流れ」を参照してください。



管理パスワード入力画面で、管理パスワードを入力して、確定キーを押します。

Point　この画面は、本端末の設定によって、表示されない場合があります。

Point　管理パスワードは、８桁まで入力できます。

Point　入力した管理パスワードは、“*”で表示されます。

>参照>　本端末の設定については、「7-17ページ　パスワードの設定・消去」を参照してください。



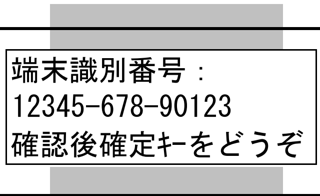
設定初期画面が表示されます。
設定業務は、この画面から始めてください。

7.2　TID 確認（端末識別番号の確認）

ここでは、本端末の端末識別番号（TID）を確認する場合の操作方法を説明します。



設定初期画面で、PF1（TID 確認）キーを押します。



端末識別番号（TID）確認して、確定キーを押します。



設定初期画面に戻ります。

7.3　　保守 TEL（保守連絡先電話番号の確認）

ここでは､保守会社の連絡先電話番号を確認する場合の操作方法を説明します。

注意　本端末に異常が発生した場合には、保守会社にご連絡ください。



設定初期画面で、PF2（保守 TEL）キーを押します。



保守会社の連絡先電話番号を確認して、確定キーを押します。

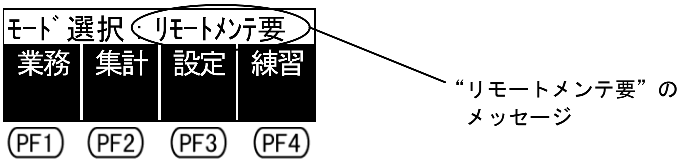


設定初期画面に戻ります。

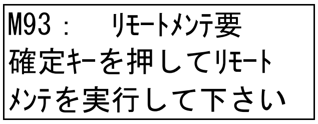
7.4　リモートメンテ（保守センターからの最新情報の受取り）

ここでは、保守センターから最新情報を受け取る場合の操作方法を説明します。

注意　リモートメンテは、モード選択画面の右上に、“リモートメンテ要”のメッセージが表示された場合に行ってください。



注意　“リモートメンテ要”のメッセージが表示されて、４日間、リモートメンテを行わないと、本端末の電源を入れた直後に次の画面が表示されます。できるだけ早く、リモートメンテを行ってください。



ただし、この画面が表示された場合でも、（確定）キーを押すと、そのまま業務を続けることができます。

注意　リモートメンテ中には、本端末の電源を切らないでください。本端末が故障する原因となります。



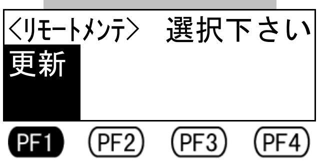
設定初期画面で、（PF3）（リモートメンテ）キーを押します。

Point　（PF3）（リモートメンテ）キーを押すと、次の画面が表示される場合があります。



この場合には、（リセット）キーを押して、日計処理を実施してから、リモートメンテを行ってください。

>参照>　日計処理については、「6-4ページ　日計表の印字」を参照してください。



（PF1）（更新）キーを押します。

電波状態のよい場所で 充電器と接続されてい る事を確認下さい 確認 (PF1) (PF2) (PF3) (PF4)	電波状態の良い場所に移動し、充電器を接続して、(PF4)（確認）キーを押します。 **Point**　リモートメンテを中止する場合には、(リセット)キーを押してください。
ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃ： ｾﾝﾀ通信中→ しばらくお待ち下さい	保守センターとの接続が開始されます。
ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃ： ｾﾝﾀ通信中→ → しばらくお待ち下さい	保守センターとの通信が開始されます。
ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃ： ｾﾝﾀ通信中→ → → しばらくお待ち下さい	保守センターと通信中です。
ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃ：　XX/XX ｾﾝﾀ通信中→ → → しばらくお待ち下さい	ファイルの更新が開始されます。
ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃ： ｾﾝﾀ通信中→ → → しばらくお待ち下さい	ファイルの更新中です。
ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃ： ｾﾝﾀ通信中→ → → →	
ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃ： ｾﾝﾀ通信 終了しました	リモートメンテが終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。
(株)日本ｶｰﾄﾞﾈｯﾄﾜｰｸ APLNO ： VXXLXX FTMP-XXXX	リモートメンテが終了すると、自動的に本端末が再起動されます。

画面	説明
DLL： ｾﾝﾀ通信中→ → → →	カード会社からの最新情報を受け取るため、CARDNET センターとの通信が開始されます。“→”が４つまで表示されます。
DLL： ｾﾝﾀ通信　終了しました	CARDNET センターとの通信が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。
ｵﾝﾗｲﾝﾃｽﾄ： ｾﾝﾀ通信中→ → → →	CARDNET センターとの通信状態の確認が開始されます。“→”が４つまで表示されます。
ｵﾝﾗｲﾝﾃｽﾄ： ｾﾝﾀ通信　終了しました	CARDNET センターとの通信状態の確認が終了すると、通信終了のメッセージが表示されます。
ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃ：　結果通知 ｾﾝﾀ通信中→ → → → しばらくお待ち下さい	リモートメンテ結果の通知が開始されます。“→”が４つまで表示されます。
ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃ：　結果通知 通知完了しました しばらくお待ち下さい	リモートメンテ結果の通知が終了すると、通知完了のメッセージが表示されます。
1/1枚目を印字中	リモートメンテ結果の印字が開始されます。
1/1枚目の印字完了	リモートメンテ結果を切り取ります。
ﾓｰﾄﾞ選択：　選択下さい 業務 | 集計 | 設定 | 練習 (PF1) (PF2) (PF3) (PF4)	モード選択画面が表示されます。

7.5　機器設定（機器に関する情報の設定）

ここでは、機器に関する情報を設定する場合の操作方法を説明します。
機器設定では、次の項目を設定することができます。

機器設定項目	内容
キー押下音	キーを押したときに、押下音を鳴らすかどうかを設定します。
キー音量	キーを押したときの押下音を、大きい音で鳴らすか、小さい音で鳴らすかを設定します。
オペレータ喚起	CARDNET センターでエラーカードと判断されたときに、それを知らせる方法を設定します。
通信終了オペレータ喚起	通信が終了したときに、ブザーを鳴らすかどうかを設定します。
ローカルメッセージ	売上票のご案内欄に印字するメッセージを設定します。
自動電源 OFF	操作の途中で一定時間何も操作しなかった場合に、本端末の電源を自動的に切るかどうかを設定します。
自動電源 OFF タイマ	操作の途中で一定時間何も操作しなかった場合の、本端末の電源を自動的に切るタイマを設定します。
電源 ON バックライト	本端末の電源を入れたときに、画面とキーのバックライトをつけるかどうかを設定します。
バックライト消灯タイマ	操作の途中で一定時間何も操作しなかった場合の、画面とキーのバックライトを自動的に消すタイマを設定します。
画面コントラスト	画面のコントラスト（明るさ）を設定します。
キー入力待ちタイマ	操作の途中で一定時間何も入力しなかった場合のタイマを設定します。
暗証番号入力待ちタイマ	暗証番号入力の途中で一定時間何も入力しなかった場合のタイマを設定します。

>参照>　自動電源 OFF タイマ、バックライト消灯タイマ、キー入力待ちタイマ、暗証番号入力待ちタイマについての詳細は、「1-13ページ　タイマ機能について」を参照してください。

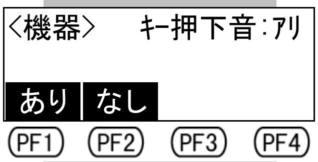
Point　設定を変更しない項目については、そのまま確定キーを押してください。画面をスキップできます。この場合、設定値は元のままとなります。



設定初期画面で、PF4（==>）キーを押します。

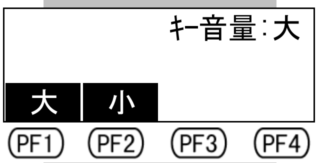


PF1（機器設定）キーを押します。



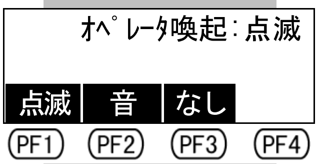
キーを押したときに、押下音を鳴らすかどうかを設定します。該当する選択キーを押してください。

PF1（あり）：押下音を鳴らします。
PF2（なし）：押下音を鳴らしません。



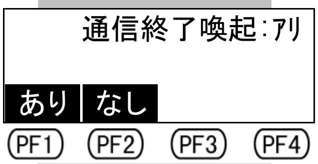
キーを押したときの押下音を、大きい音で鳴らすか、小さい音で鳴らすかを設定します。該当する選択キーを押してください。

PF1（大）：大きい音で鳴らします。
PF2（小）：小さい音で鳴らします。



CARDNET センターでエラーカードと判断されたときに、それを知らせる方法を設定します。該当する選択キーを押してください。

PF1（点滅）：表示の点滅で知らせます。
PF2（音）：ブザー音と表示の点滅で知らせます。
PF3（なし）：知らせません。



通信が終了したときに、ブザーを鳴らすかどうかを設定します。該当する選択キーを押してください。

PF1（あり）：ブザーを鳴らします。
PF2（なし）：ブザーを鳴らしません。

ﾛｰｶﾙﾒｯｾｰｼﾞ：他

店舗	医療	他	なし
PF1	PF2	PF3	PF4

売上票のご案内欄に印字するメッセージを設定します。該当する選択キーを押してください。

- PF1（店舗）　：店舗のメッセージを印字します。
- PF2（医療）　：医療のメッセージを印字します。
- PF3（他）　：他のメッセージを印字します。
- PF4（なし）　：メッセージを印字しません。

Point　店舗、医療、他のメッセージは、次のとおりです。

【店舗のﾒｯｾｰｼﾞ】	【医療のﾒｯｾｰｼﾞ】	【他のﾒｯｾｰｼﾞ】
ご利用ありがとうございました。 またのご来店を お待ちしております。	お大事に。 お気を付けてお帰りください。	ご利用ありがとうございました。

自動電源 OFF：ｱﾘ

あり	なし		
PF1	PF2	PF3	PF4

操作の途中で一定時間何も操作しなかった場合に、本端末の電源を自動的に切るかどうかを設定します。該当する選択キーを押してください。

- PF1（あり）：電源を自動的に切ります。
- PF2（なし）：電源を自動的に切りません。

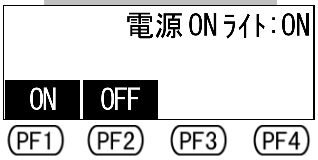
自動電源 OFF ﾀｲﾏ

05 分

操作の途中で一定時間何も操作しなかった場合の、本端末の電源を自動的に切るタイマを設定します。タイマの値を分単位で入力して、確定キーを押してください。

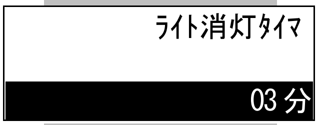
Point　この画面は、“自動電源 OFF”で“なし”を選択した場合には表示されません。

Point　タイマには、バッテリーの消耗を防ぐため、あまり大きな値は設定しないでください。



本端末の電源を入れたときに、画面とキーのバックライトをつけるかどうかを設定します。該当する選択キーを押してください。

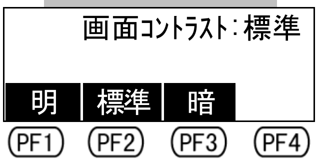
PF1 （ON）　：バックライトをつけます。
PF2 （OFF）：バックライトをつけません。



操作の途中で一定時間何も操作しなかった場合の、画面とキーのバックライトを自動的に消すタイマを設定します。タイマの値を分単位で入力して、確定キーを押してください。

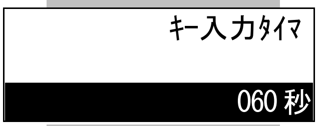
Point　タイマには、バッテリーの消耗を防ぐため、あまり大きな値は設定しないでください。

Point　タイマに“00分”を設定すると、バックライトは常についたままとなります。



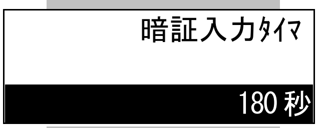
画面のコントラスト（明るさ）を設定します。該当する選択キーを押してください。

PF1 （明）　：コントラストを明るくします。
PF2 （標準）：コントラストを標準にします。
PF3 （暗）　：コントラストを暗くします。



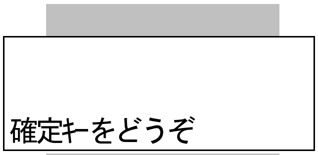
操作の途中で一定時間何も入力しなかった場合のタイマを設定します。タイマの値を10秒単位で入力して、確定キーを押してください。

Point　たとえば、“60秒”と設定したい場合には、“6”と入力します。

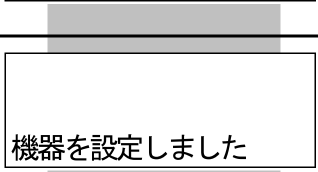


暗証番号入力の途中で一定時間何も入力しなかった場合のタイマを設定します。タイマの値を10秒単位で入力して、確定キーを押してください。

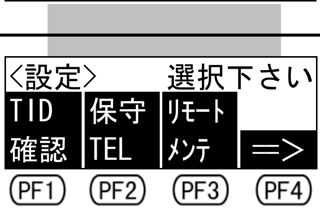
Point　たとえば、“180秒”と設定したい場合には、“18”と入力します。



選択した内容を確認して、(確定)キーを押します。



設定終了のメッセージが、２秒間表示されます。



設定初期画面に戻ります。

7.6　業務設定（業務に関する情報の設定）

ここでは、業務に関する情報を設定する場合の操作方法を説明します。
業務設定では、次の項目を設定することができます。

業務設定項目	内容
クレジットレシート枚数	クレジットカードでの取引の、売上票の印字枚数を、3枚にするか4枚にするかを設定します。
デビットレシート枚数	デビットカードでの取引の、売上票（口座引落確認書）の印字枚数を、３枚にするか４枚にするかを設定します。
集計レシート枚数	中間計および日計表の印字枚数を、１枚にするか２枚にするかを設定します。
エラー時レシート枚数	エラーが発生したときの伝票の印字枚数を、１枚にするか、または“クレジットレシート枚数”および“デビットレシート枚数”での設定と同じ枚数にするかを設定します。
残高確認表示	デビットカードでの販売業務において、残高確認を行うか行わないかを設定します。
残高確認印字	デビットカードでの販売業務の、残高確認の際に、売上票（口座引落確認書）を印字するかしないかを設定します。
ロゴ印字	売上票に、CARDNET のロゴを印字するかしないかを設定します。
支払詳細データ印字	クレジットカードでの取引の売上票に、支払詳細データ（開始月やボーナス月などの支払方法の詳細）を印字するかしないかを設定します。
日計タイムスタンプ	データ集計サービスをご利用の場合、CARDNET センターへ送信する集計データの中に日計タイムスタンプ（端末が日計を実施した日時）を反映するかどうかを設定します。

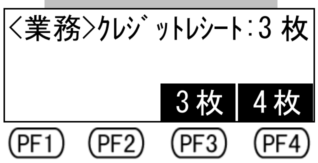
Point　設定を変更しない項目については、そのまま確定キーを押してください。画面をスキップできます。この場合、設定値は元のままとなります。



設定初期画面で、PF4（==>）キーを押します。

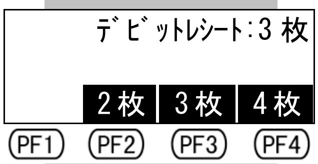


PF2（業務設定）キーを押します。



クレジットカードでの取引の、売上票の印字枚数を、３枚にするか４枚にするかを設定します。該当する選択キーを押してください。

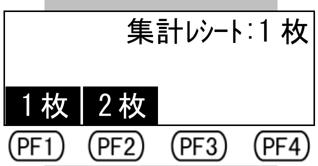
PF3（３枚）：印字枚数を３枚にします。
PF4（４枚）：印字枚数を４枚にします。



デビットカードでの取引の、売上票（口座引落確認書）の印字枚数を、３枚にするか４枚にするかを設定します。該当する選択キーを押してください。

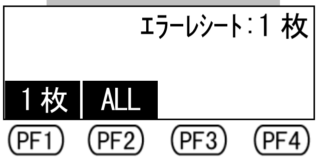
PF3（３枚）：印字枚数を３枚にします。
PF4（４枚）：印字枚数を４枚にします。

> **Point**　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。
>
> **Point**　運用上、“デビットレシート枚数”には、“２枚”を設定しないでください。



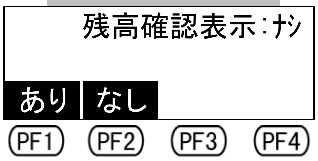
中間計および日計表の印字枚数を、１枚にするか２枚にするかを設定します。該当する選択キーを押してください。

PF1（１枚）：印字枚数を１枚にします。
PF2（２枚）：印字枚数を２枚にします。



エラーが発生したときの伝票の印字枚数を、１枚にするか、または“クレジットレシート枚数”および“デビットレシート枚数”での設定と同じ枚数にするかを設定します。該当する選択キーを押してください。

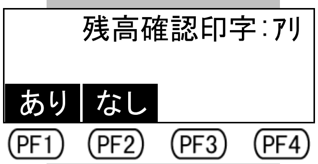
PF1（１枚）：印字枚数を１枚にします。
PF2（ALL）：印字枚数を、“クレジットレシート枚数”および“デビットレシート枚数”での設定と同じ枚数にします。



デビットカードでの販売業務において、残高確認を行うか行わないかを設定します。該当する選択キーを押してください。

PF1（あり）：残高確認を行います。
PF2（なし）：残高確認を行いません。

Point　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。

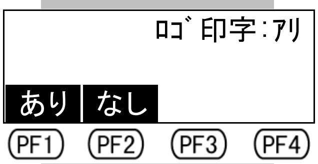


デビットカードでの販売業務の、残高確認の際に、売上票（口座引落確認書）を印字するかしないかを設定します。該当する選択キーを押してください。

PF1（あり）：売上票（口座引落確認書）を印字します。
PF2（なし）：売上票（口座引落確認書）を印字しません。

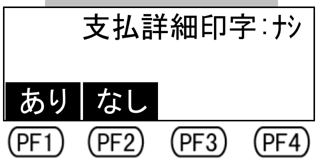
Point　この画面は、クレジット専用機の場合には表示されません。

Point　この画面は、“残高確認表示”で“なし”を選択した場合には表示されません。



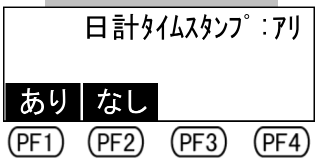
売上票に、CARDNET のロゴを印字するかしないかを設定します。該当する選択キーを押してください。

PF1（あり）：CARDNET のロゴを印字します。
PF2（なし）：CARDNET のロゴを印字しません。



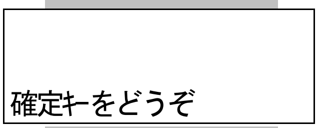
クレジットカードでの取引の売上票に、支払詳細データ（開始月やボーナス月などの支払方法の詳細）を印字するかしないかを設定します。該当する選択キーを押してください。

PF1（あり）：支払詳細データを印字します。
PF2（なし）：支払詳細データを印字しません。

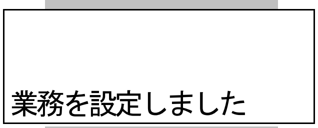


データ集計サービスをご利用の場合、CARDNET センターへ送信する集計データの中に日計タイムスタンプ（端末が日計を実施した日時）を反映するかどうかを設定します。該当する選択キーを押してください。

PF1（あり）：日計タイムスタンプを反映します。
PF2（なし）：日計タイムスタンプを反映しません。



選択した内容を確認して、確定キーを押します。



設定終了のメッセージが、２秒間表示されます。



設定初期画面に戻ります。

7.7　パスワードの設定・消去

ここでは、パスワードを設定または消去する場合の操作方法を説明します。

7.7.1　パスワードの設定

ここでは、パスワードを設定する場合の操作方法を説明します。
パスワードの設定では、次の２種類のパスワードによって、本端末の操作を制限することができます。

- **業務パスワード**
  本端末の使用を制限するためのパスワードです。
- **管理パスワード**
  集計業務および設定業務の使用を制限するためのパスワードです。

> **注意**　パスワードを忘れてしまった場合には、本端末を管理されている方にお問い合わせください。



設定初期画面で、PF4（==>）キーを押します。



PF3（パスワード）キーを押します。



設定するパスワードに該当する選択キーを押します。
PF2（業務）：業務パスワードを設定します。
PF3（管理）：管理パスワードを設定します。



PF2（設定）キーを押します。

新しい業務ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを
入力して下さい
****

パスワードを入力して、(確定)キーを押します。

Point　管理パスワードを設定する場合には、“新しい管理パスワードを入力して下さい”と表示されます。

Point　パスワードは、８桁まで入力できます。

Point　入力したパスワードは、“＊”で表示されます。

新しい業務ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを
再度入力して下さい
****

確認のため、もう一度パスワードを入力して、(確定)キーを押します。

Point　管理パスワードを設定する場合には、“新しい管理パスワードを再度入力して下さい”と表示されます。

業務ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ

設定しました

設定終了のメッセージが、２秒間表示されます。

<設定>　　選択下さい

TID 確認	保守 TEL	ﾘﾓｰﾄ ﾒﾝﾃ	=>
(PF1)	(PF2)	(PF3)	(PF4)

設定初期画面に戻ります。

7.7.2　パスワードの消去

ここでは、パスワードを消去する場合の操作方法を説明します。



設定初期画面で、PF4（==>）キーを押します。



PF3（パスワード）キーを押します。



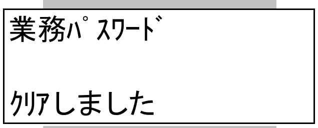
消去するパスワードに該当する選択キーを押します。

PF2（業務）：業務パスワードを消去します。

PF3（管理）：管理パスワードを消去します。



PF3（クリア）キーを押します。



消去終了のメッセージが、２秒間表示されます。



設定初期画面に戻ります。

7.8　　　IC 設定（IC クレジットカードでの取引に関する情報の設定）

ここでは、IC クレジットカードでの取引に関する情報を設定する場合の操作方法を説明します。
IC 設定では、次の項目を設定することができます。

IC 設定項目	内容
商品コード入力	IC クレジットカードでの取引の際に、商品コードを入力するかどうかを設定します。
その他入力	IC クレジットカードでの取引の際に、その他の金額を入力するかどうかを設定します。

注意　IC 設定は、カード会社とのご契約によって、使用できない場合があります。
（ご契約がない場合には、PF2（IC 設定）キーが表示されません。）

Point　設定を変更しない項目については、そのまま確定キーを押してください。画面をスキップできます。この場合、設定値は元のままとなります。



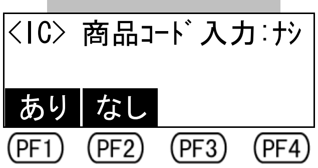
設定初期画面で、PF4（==>）キーを押します。



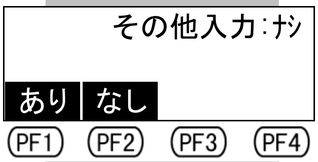
PF4（==>）キーを押します。



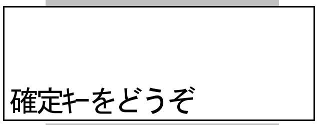
PF2（IC 設定）キーを押します。



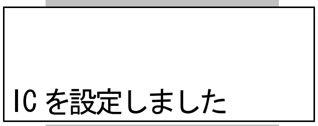
IC クレジットカードでの取引の際に、商品コードを入力するかどうかを設定します。
該当する選択キーを押してください。
PF1(あり)：商品コードを入力します。
PF2(なし)：商品コードを入力しません。



IC クレジットカードでの取引の際に、その他の金額を入力するかどうかを設定します。該当する選択キーを押してください。
(PF1)(あり) ：その他の金額を入力します。
(PF2)(なし)：その他の金額を入力しません。



選択した内容を確認して、(確定)キーを押します。



設定終了のメッセージが、２秒間表示されます。



設定初期画面に戻ります。

第8章　こんな場合には

8.1　カードが読み取れない場合には

ここでは、カードが読み取れない場合の対処方法を説明します。

■ カードが読み取れない場合には

- **磁気カードが読み取れない場合**
  磁気クレジットカードおよびデビットカードの磁気ストライプが読み取れない場合には、磁気カードリーダのクリーニングを行ってから、再度カードを読み取ってください。

  >参照>　磁気カードリーダをクリーニングする方法については、「3-2ページ　開店前の操作」を参照してください。

- **IC カードが読み取れない場合**
  IC クレジットカードの IC チップが読み取れない場合には、IC カード挿入口のクリーニングを行ってから、再度カードを読み取ってください。

  >参照>　IC カード挿入口をクリーニングする方法については、「3-2ページ　開店前の操作」を参照してください。

注意	カードにキズや汚れがあり読み取れない場合や、カードに磁気ストライプや IC チップがない場合には、次のように対処してください。 ・クレジットカードの場合 　該当するカード会社に連絡して、指示に従ってください。 ・デビットカードの場合 　本端末での取引はできません。

■ クレジットカードのカード会社を選択できなかった場合には

磁気クレジットカードを磁気カードリーダに通したり、IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入したりしても、本端末内に登録されていないカード会社のカードで、本端末で自動的にカード会社を選択できなかった場合には、次の画面が表示されます。

```
ｶｰﾄﾞ会社を
選択できませんでした
番号を入力して下さい
```

この場合には、カード会社番号（KID）を入力することによって、取引が可能となる場合があります。

>参照>　カード会社番号（KID）を入力して取引を行う方法については、「4-62ページ　KID 入力（カード会社番号の手動入力）」を参照してください。

■ IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入すると

IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入すると、次の画面が表示される場合があります。

IXX：　ＸＸＸＸＸＸＸＸ ﾘｾｯﾄｷｰを押し磁気ｶｰﾄﾞ で処理して下さい	IXX：ＸＸＸＸＸＸＸＸ IC ｶｰﾄﾞを抜き磁気ｶｰﾄﾞ で処理して下さい

この場合には、IC クレジットカードを磁気カードリーダに通して、取引を行ってください。

>参照>　IC クレジットカードを磁気カードリーダに通して取引を行う方法については、「4-5 ページ　クレジット売上の開始操作（磁気クレジットカードの場合）」を参照してください。

■ IC クレジットカードを磁気カードリーダに通すと

IC クレジットカードを磁気カードリーダに通すと、次の画面が表示される場合があります。

I02：　ｻｰﾋﾞｽｺｰﾄﾞｴﾗｰ IC ｶｰﾄﾞﾘｰﾀﾞに ｶｰﾄﾞを挿入して下さい

この場合には、IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入して、取引を行ってください。

>参照>　IC クレジットカードを IC カード挿入口に挿入して取引を行う方法については、「4-8 ページ　クレジット売上の開始操作（IC クレジットカードの場合）」を参照してください。

8.2　IC クレジットカードでの売上の際に、お客様が暗証番号をご存知でない場合には

ここでは、IC クレジットカードでの売上の際に、お客様が暗証番号をご存知でない場合の、暗証番号の入力をスキップする方法を説明します。

注意　暗証番号入力のスキップは、IC クレジットカードでの売上の際に、お客様が暗証番号をご存知でない場合のみ行ってください。なお、原則として、IC クレジットカードでの売上の際には、お客様に暗証番号を入力していただいてください。

注意　暗証番号の入力をスキップした場合には、売上票に、お客様からサインをいただき、カード裏面のサインと照合してください。

注意　暗証番号入力のスキップは、カード会社とのご契約や使用するカードによって、使用できない場合があります。なお、暗証番号の入力をスキップできない場合には、該当するカード会社にお問い合わせください。

```
ｸﾚｼﾞｯﾄ一括￥12,345,678
暗証番号　　　　※※
入力後確定ｷｰをどうぞ
```

暗証番号の入力画面の右側に、“※※”と表示されていることを確認します。

Point　暗証番号の入力画面の右側に“※※”と表示されている場合には、暗証番号の入力をスキップできることを示しています。

お客様に、本端末をお渡しします。

```
ｸﾚｼﾞｯﾄ一括￥12,345,678
暗証番号　　　　※※
入力後確定ｷｰをどうぞ
```

お客様に、金額を確認していただきます。さらに、暗証番号を入力せずに、そのまま（確定）キーを押していただきます。

```
暗証番号入力を
ｽｷｯﾌﾟしますか
　　　ｽｷｯﾌﾟ　　戻る
(PF1) (PF2) (PF3) (PF4)
```

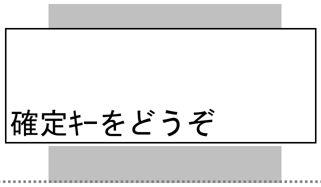
お客様に、（PF2）（スキップ）キーを押していただきます。

Point　暗証番号を入力する場合には、（PF4）（戻る）キーを押してください。

```
暗証番号入力を
ｽｷｯﾌﾟしました
```

暗証番号入力スキップのメッセージが表示されます。

お客様から、本端末を受け取ります。

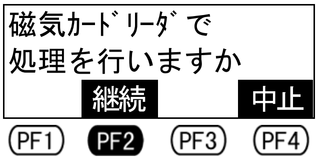


(確定)キーを押します。

Point　以降の操作は、お客様に暗証番号を入力していただいた場合の操作と同じです。

>参照>　以降の操作方法については、「4-5ページ　クレジット売上」を参照してください。

Point　暗証番号の入力をスキップすると、右のような画面が表示される場合があります。この場合には、(PF2)（継続）キーを押して、IC クレジットカードを磁気カードリーダに通して、取引を行ってください。暗証番号の入力をスキップした IC クレジットカードのみ、磁気ストライプで処理できるようになります。



なお、本端末での取引を中止する場合には、(PF4)（中止）キーを押してください。

8.3　通信エラーが発生した場合には

ここでは、通信エラーが発生した場合の対処方法を説明します。
本端末は、無線（FOMA）を利用しています。
トンネルや地下などの電波の届かない場所や、FOMA サービスエリア圏外では、本端末は使用できません。
通信エラーが発生した場合には、画面右上にあるアンテナ表示を確認しながら、電波状態の良い場所に移動してください。

>参照>　アンテナ表示については、「1-12ページ　アンテナ表示とバッテリー表示の見方」を参照してください。

注意　右のような通信エラーの画面が表示された場合には、障害取消に失敗したことを示しています。この場合には、上記の対処方法ではなく、障害取消に失敗した場合のリカバリ操作を行ってください。

M71:　通信ｴﾗｰ XXXX
ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ

>参照>　障害取消のリカバリ操作については、「8-7ページ　障害取消に失敗した場合には（障害取消のリカバリ操作）」を参照してください。

8.4　障害取消に失敗した場合には（障害取消のリカバリ操作）

ここでは、障害取消に失敗した場合の対処方法を説明します。

注意　障害取消は、売上などの取引データを CARDNET センターへ送信中に、通信エラーが発生し取引データの送受信に失敗した場合、二重売上などを防止するために行われます。
なお、障害取消に失敗した場合には、次の画面が表示されますので、障害取消のリカバリ操作を行ってください。

Point　障害取消とは、送受信に失敗した取引データを自動的に取り消す機能のことです。（二重売上などを防止するために行われます。）

＜障害取消に成功した場合＞
送受信に失敗した取引データを自動的に取り消し、障害取消に成功した場合には、再度、取引をやり直す必要があるため、次の画面が表示されます。

```
M13:　通信ｴﾗｰ XXXX
ﾘｾｯﾄｷｰを押して
やり直して下さい
```

＜障害取消に失敗した場合＞
障害取消中に、再度、通信エラーなどが発生して、障害取消に失敗した場合には、次の画面が表示されます。

```
M71:　通信ｴﾗｰ XXXX

ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ
```

この場合には、(リセット)キーを押して、再度、障害取消のリカバリ操作を行ってください。

```
M71:　通信ｴﾗｰ XXXX

ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ
```

(リセット)キーを押します。

Point　(リセット)キーを押すと、伝票に“通信エラー　COM XXXX 障害取消を実行してください。”と印字されます。

```
M72:　障害取消ｴﾗｰ
電波状態のよい場所で
確定ｷｰをどうぞ
```

電波状態の良い場所に移動して、(確定)キーを押します。

障害取消中：
ｾﾝﾀ通信中→ → → →

CARDNET センターとの通信が開始されます。
“→”が４つまで表示されます。

障害取消中：
障害取消 OK です

CARDNET センターとの通信が終了すると、障害取消結果のメッセージが表示されます。また、障害取消結果が印字されます。

Point 障害取消が正常に終了すると、次のような伝票が印字されます。

CARDNET

［障害取消］

加盟店名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
端末番号	99999-999-99999 R
ご利用日	YYYY/MM/DD HH:MM:SS

障害取消ＯＫです。

注意 障害取消に失敗すると、再度“M71：通信エラー”の画面が表示されます。電波状態の良い場所に移動して、再度、リカバリ操作を行ってください。

注意 このリカバリ操作によって、障害取消が正常に終了しないと、次の取引を行うことはできません。

〈業務〉　選択下さい
ｸﾚｼﾞｯﾄ | ﾃﾞﾋﾞｯﾄ
(PF1) (PF2) (PF3) (PF4)

業務初期画面に戻ります。

Point 業務初期画面は、クレジット専用機の場合には、次の画面となります。

〈業務〉　選択下さい
売上 | 取消 返品 | 承認 売上 | ＝＞
(PF1) (PF2) (PF3) (PF4)

8.5　結果通知に失敗した場合には（結果通知のリカバリ操作）

ここでは、結果通知に失敗した場合の対処方法を説明します。

> **注意**　結果通知は、通常、IC クレジットカードでの取引の処理終了後（売上票印字終了後）、本端末内の取引データを CARDNET センターに送信するために行われます。
> なお、結果通知に失敗した場合には、次の画面が表示されますので、結果通知のリカバリ操作を行ってください。

```
I 12:  送信ｴﾗｰ XXXX
やり直して下さい
ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ
```

（リセット）キーを押します。

```
I 15:  業務規制中
結果通知をして下さい
ﾓｰﾄﾞｷｰをどうぞ
```

（モード）キーを押します。

```
ﾓｰﾄﾞ選択： 選択下さい
業務 | 集計 | 設定 | 練習
(PF1) (PF2) (PF3) (PF4)
```

モード選択画面で、（PF2）（集計）キーを押します。

```

管理ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ  ********
入力後確定ｷｰをどうぞ
```

管理パスワード入力画面で、管理パスワードを入力して、（確定）キーを押します。

Point　この画面は、本端末の設定によって、表示されない場合があります。

Point　管理パスワードは、８桁まで入力できます。

Point　入力した管理パスワードは、“*”で表示されます。

>参照>　本端末の設定については、「7-17ページ　パスワードの設定・消去」を参照してください。

```
<集計>      選択下さい
中間計 | 日計 | KID一覧 | 結果通知
(PF1) (PF2) (PF3) (PF4)
```

集計初期画面で、（PF4）（結果通知）キーを押します。

>参照>　以降の操作方法については、「6-8ページ　結果通知（未送信の取引データの送信）」を参照してください。

8.6　伝票の印字に失敗した場合には（再印字）

ここでは、売上票や日計表などの伝票の印字に失敗した場合の対処方法を説明します。
再印字では、印字に失敗した伝票と同じ伝票を、印字し直すことができます。

> **注意**　再印字は、次のような場合に行ってください。
> ・伝票印字中に、ロール紙がからまってしまった。（紙づまり）
> ・伝票印字中に、印字がずれてしまった。（印字ずれ）
>
> **注意**　再印字では、直前の取引の伝票のみを、再度印字することができます。売上票や日計表の印字に失敗した場合には、次の取引を行わずに、すぐに再印字してください。

> **Point**　再印字された伝票には、再印字マーク“Ｒ”が印字されます。

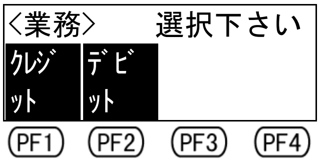
（1）　ロール紙をセットし直します。

>参照>　ロール紙をセットする方法については、「2-11ページ　ロール紙のセット方法・交換方法」を参照してください。

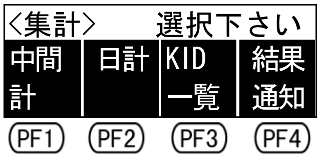
（2）　画面を確認します。

再印字は、次のような業務初期画面または集計初期画面でのみ行えます。

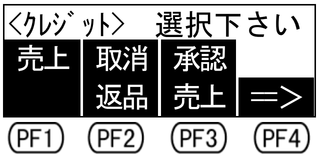
【業務初期画面】



【集計初期画面】



【クレジット業務初期画面】



【デビット業務初期画面】



（3）　再印字キーを押します。

直前の取引の伝票が、再印字されます。

8.7　“システムファイル整理中”の画面について

ここでは、“システムファイル整理中”の画面について説明します。
本端末のシステムファイルの容量が少なくなってくると、次の画面が表示される場合があります。10 秒程度お待ちください。

ｼｽﾃﾑﾌｧｲﾙ整理中 しばらくお待ち下さい

8.8　　　メッセージが表示された場合には

ここでは、メッセージが表示された場合の対処方法を説明します。

8.8.1　　本端末からのエラーメッセージ（エラーコード“M”）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
M01	M01:　ｶｰﾄﾞ読取ｴﾗｰ やり直して下さい	カード読取りエラーです。	再度カードをすばやく通してください。
M02	M02:　ﾏﾆｭｱﾙ入力不可 やり直して下さい	当該カード会社のマニュアル入力が禁止されています。	該当カード会社に連絡してください。
M03	M03:　KID ｴﾗｰ やり直して下さい	入力されたカード会社番号（KID）に対応する情報が登録されていません。	カードを使って操作し直すか、または該当カード会社に連絡してください。
M04	M04:　入力ﾀｲﾑｱｳﾄ ﾘｾｯﾄｷｰを押して、 やり直して下さい	操作中にキー入力待ちタイムオーバーとなりました。	リセットキーを押して初期画面に戻り、操作し直してください。
M08	M08: 集計ﾃﾞｰﾀはありません	日計または中間計出力分の取引データがありません。	２秒後に元の画面に戻ります。 直前に日計処理を実行している場合は、再印字を実行してください。 それ以外は販売業務を続けてください。
M09	M09:　日計 ﾓｰﾄﾞｷｰを押して 日計を実行して下さい	3 日間、日計取得が行われていません。 取引データが一杯です。 記録できる取引データが残り 10 件以下です。	モードキーを押し、日計を行ってください。
M10	M10:　ﾃｰﾌﾞﾙｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ DLL を実行して下さい ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ	DLL の際に、情報登録が端末の許容値を超えたため、正常に完了しませんでした。	リセットキーを押して初期画面に戻り、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
M11	M11:　ﾃｰﾌﾞﾙ未登録 DLL を実行して下さい ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ	端末内のカード会社登録情報に異常が発生しました。	リセットキーを押して初期画面に戻り、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
M13	M13:　通信ｴﾗｰ XXXX ﾘｾｯﾄｷｰを押して やり直して下さい	通信エラーが発生しました。 XXXX には、エラー詳細コードが表示されます。	リセットキーを押して初期画面に戻り、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
M14	M14:　ﾌﾟﾘﾝﾀｴﾗｰ 電源を OFF し 用紙を確認して下さい	プリンタ部に異常が発生しました。	電源を切り、ロール紙がからまっていないか確認してください。 ロール紙を正しくセットし、電源を入れ、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
M15	M15:　ﾌﾟﾘﾝﾀｴﾗｰ 用紙/ｶﾊﾞｰを確認し 電源 OFF/ON して下さい	用紙切れが発生しました。 または、ロール紙カバーがきちんと閉められていません。	ロール紙をセットし、ロール紙カバーをきちんと閉めてから、電源を切り、再度電源を入れてください。
M16	M16:　KID ﾃｰﾌﾞﾙなし 端末ﾒｰｶｰへお問合せ 下さい→0120-XXX-XXX	KID 一覧出力時に、登録カード会社が 1 件もありません。	富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
M18	M18:　ﾌﾟﾘﾝﾀｴﾗｰ 用紙/ｶﾊﾞｰを確認し 確定ｷｰをどうぞ	用紙切れが発生しました。 または、ロール紙カバーがきちんと閉められていません。	ロール紙をセットし、ロール紙カバーをきちんと閉めてから、確定キーを押してください。 その後、再印字を行ってください。
M19	M19:　ｼｽﾃﾑｴﾗｰ(E06) ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ 下さい→0120-800-661	システムエラーが発生しました。	CARDNET サービスデスクに連絡してください。
M20	M20:　ｼｽﾃﾑｴﾗｰ(E46) ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ 下さい→0120-800-661	システムエラーが発生しました。	CARDNET サービスデスクに連絡してください。
M21	M21: 再印字ﾃﾞｰﾀは ありません	再印字するデータがない場合に再印字キーが押されました。	２秒後に元の画面に戻ります。
M22 M23 M24 M25 M26	M22:　ｻﾑﾁｪｯｸｴﾗｰ　＊＊ 端末ﾒｰｶｰへお問合せ 下さい→0120-XXX-XXX	端末故障が発生しました。 ＊＊には、エラー発生テーブル名が表示されます。	富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。 1 行目にエラー発生テーブル名が表示されますので、それを伝えてください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
M29	M29:　お取り扱い不可 ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ	取扱いできないデビットカードが使用されました。	リセットキーを押して初期画面に戻り、操作し直してください。
M30	M30:　お取り扱い不可 電波状態のよい場所で やり直して下さい 確認	電波状態が不安定です。	PF4（確認）キーを押してください。 電波状態の良い場所に移動して使用してください。
M31	M31:　お取り扱い不可 電波状態のよい場所で やり直して下さい 確認	電波状態が不安定です。	PF4（確認）キーを押してください。 電波状態の良い場所に移動して使用してください。
M32	M32:　保護電池不足 端末ﾒｰｶｰへお問合せ 下さい→0120-XXX-XXX	メモリ保護電池の容量不足です。	電源キーを押し、電源を切ってください。 バッテリーをはずさずにメモリ保護電池を交換してください。 メモリ保護電池については、富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
M33	M33:　ﾊﾞｯﾃﾘ容量不足 充電して下さい	バッテリーの容量不足です。	電源キーを押し、電源を切ってください。 バッテリーを充電してください。
M34	M34:　ﾊﾞｯﾃﾘ/電池不足 端末ﾒｰｶｰへお問合せ 下さい→0120-XXX-XXX	バッテリーおよびメモリ保護電池の容量不足です。	電源キーを押し、電源を切ってください。 バッテリーの充電を行った（交換は不可）後、メモリ保護電池の交換を行ってください。 メモリ保護電池については、富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
M35	M35:　電源 OFF->ON 印字が未完了です 再印字ｷｰをどうぞ	印字中に電源が切断されました。	再印字キーを押して、再印字を行ってください。
M37	M37:　接続ｴﾗｰ XXXX ﾘｾｯﾄｷｰを押して やり直して下さい	通信エラーが発生しました。 XXXXには、エラー詳細コードが表示されます。	リセットキーを押して初期画面に戻り、操作し直してください。 電波状態の良い場所でも繰り返し発生する場合は、富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
M39	M39:　FOMA初期化ｴﾗｰ 電源を入れ直して 下さい	電源投入直後にFOMA初期化エラーが発生しました。	電源を入れ直してください。 繰り返し発生する場合は、富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
M43	M43:　設定ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞｴﾗｰ やり直して下さい	パスワードの確認入力にて､違うパスワードが入力されました。	パスワードを確認して、入力し直してください。 パスワードが分からない場合は、CARDNETサービスデスクに連絡してください。
M60	M60:　LCDｴﾗｰ 端末ﾒｰｶｰへお問合せ 下さい→0120-XXX-XXX	ハードエラーが発生しました。	電源キーを押し、電源を切ってください。 富士通決済端末サポートデスクに連絡し、左記メッセージが表示されたことをお伝えください。
M61	M61:　KBｴﾗｰ 端末ﾒｰｶｰへお問合せ 下さい→0120-XXX-XXX	ハードエラーが発生しました。	電源キーを押し、電源を切ってください。 富士通決済端末サポートデスクに連絡し、左記メッセージが表示されたことをお伝えください。
M62	M62:　FILEｴﾗｰ 端末ﾒｰｶｰへお問合せ 下さい→0120-XXX-XXX	ハードエラーが発生しました。	電源キーを押し、電源を切ってください。 富士通決済端末サポートデスクに連絡し、左記メッセージが表示されたことをお伝えください。
M63	M63:　ｶｰﾄﾞﾘｰﾀﾞｴﾗｰ 端末ﾒｰｶｰへお問合せ 下さい→0120-XXX-XXX	ハードエラーが発生しました。	電源キーを押し、電源を切ってください。 富士通決済端末サポートデスクに連絡し、左記メッセージが表示されたことをお伝えください。
M69	M69:　通信ｴﾗｰ 端末ﾒｰｶｰへお問合せ 下さい→0120-XXX-XXX	通信中にシステム関連のエラーが発生しました。	電源キーを押し、電源を切ってください。 富士通決済端末サポートデスクに連絡し、左記メッセージが表示されたことをお伝えください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
M71	M71:　通信ｴﾗｰ XXXX ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ	売上または取消／返品の取引において、通信エラーが発生し、データの送受信および障害取消に失敗しました。 XXXXには、エラー詳細コードが表示されます。	リセットキーを押してください。 リセットキーを押すと、「M72：障害取消エラー」が表示されます。 画面にしたがって操作してください。
M72	M72:　障害取消ｴﾗｰ 電波状態のよい場所で確定ｷｰをどうぞ	障害取消に失敗しました。	電波状態の良い場所に移動し、確定キーを押してください。 画面にしたがって操作してください。 電波状態の良い場所でも繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。
M88	M88:　FOMA 使用不可 端末ﾒｰｶｰへお問合せ下さい→0120-XXX-XXX	ハードエラーが発生しました。	電源キーを押し、電源を切ってください。 富士通決済端末サポートデスクに連絡し、左記メッセージが表示されたことをお伝えください。
M89	M89:　FOMA APN ｴﾗｰ 端末ﾒｰｶｰへお問合せ下さい→0120-XXX-XXX	ハードエラーが発生しました。	電源キーを押し、電源を切ってください。 富士通決済端末サポートデスクに連絡し、左記メッセージが表示されたことをお伝えください。
M90	M90:　ﾃｰﾌﾞﾙ反映失敗 端末ﾒｰｶｰへお問合せ下さい→0120-XXX-XXX	リモートメンテが正常終了していません。	確定キーを押して、再度、リモートメンテを行ってください。 繰り返し発生する場合は、富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
M91	M91:　ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃ異常 端末ﾒｰｶｰへお問合せ下さい→0120-XXX-XXX	リモートメンテが正常終了していません。	電源キーを押し、電源を切ってください。 富士通決済端末サポートデスクに連絡し、左記メッセージが表示されたことをお伝えください。
M93	M93:　ﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃ要 確定ｷｰを押してﾘﾓｰﾄﾒﾝﾃを実行して下さい	CARDNET センターからプログラムをダウンロードするように指示が出されてから、４日経過しています。	確定キーを押して、リモートメンテを行ってください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
M94	M94:　電波弱 電波状態のよい場所か 確認して下さい　確認	電波が弱くなっています。	電波状態の良い場所に移動し、PF4（確認）キーを押して、リモートメンテを行ってください。
M95	M95:　ﾊﾞｯﾃﾘ容量不足 充電器に接続して やり直して下さい 実行	バッテリーの容量不足です。	充電器を接続し、PF4（実行）キーを押して、リモートメンテを行ってください。
M96	M96:　ﾌﾟﾘﾝﾀｴﾗｰ 用紙/ｶﾊﾞｰを確認し 確定ｷｰをどうぞ	用紙切れが発生しました。 または、ロール紙カバーがきちんと閉められていません。	ロール紙をセットし、ロール紙カバーをきちんと閉めてから、確定キーを押して、リモートメンテを行ってください。
M97	M97:　集計ﾃﾞｰﾀ有 日計処理を実行のうえ やり直して下さい	日計処理を行っていないため、リモートメンテを実行できません。	リセットキーを押して、日計処理を実施してから、リモートメンテを行ってください。
M98	M98:　通信ｴﾗｰ XXXX やり直して下さい	通信エラーが発生しました。 XXXX には、エラー詳細コードが表示されます。	リセットキーを押し、電波状態の良い場所に移動して、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
M99	M99:　ｼｽﾃﾑｴﾗｰ XXXX 端末ﾒｰｶｰへお問合せ 下さい→0120-XXX-XXX	システムエラーが発生しました。 XXXX には、エラー詳細コードが表示されます。	電源キーを押し、電源を切ってください。 富士通決済端末サポートデスクに連絡し、左記メッセージが表示されたことをお伝えください。
MS1	MS1:　ｼｽﾃﾑｴﾗｰ XXXX 端末ﾒｰｶｰへお問合せ 下さい→0120-XXX-XXX	システムエラーが発生しました。 XXXX には、エラー詳細コードが表示されます。	富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。

8.8.2　IC クレジットカードでの取引のエラーメッセージ（エラーコード“I”）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
I 01	I01:　IC ｶｰﾄﾞ処理ｴﾗｰ XXXXYYYYxxxxyyyyyyyy ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ	IC カードとの通信処理で､エラーが発生しました。または、IC カードが裏または逆向きに挿入されました。 XXXXYYYYxxxxyyyyyyyy には､エラー詳細コードが表示されます。	リセットキーを押して初期画面に戻り、操作し直してください。 繰り返し発生する場合には、富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
I 02	I02:　ｻｰﾋﾞｽｺｰﾄﾞｴﾗｰ IC ｶｰﾄﾞﾘｰﾀﾞに ｶｰﾄﾞを挿入して下さい	IC カードが、磁気カードリーダにて操作されました。	IC カードを､IC カード挿入口に挿入してください。
I 04	I04:　ｶｰﾄﾞ挿入ｴﾗｰ ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ	操作中に、IC カードが抜き取られました。	リセットキーを押して初期画面に戻り、操作し直してください。
I 10	I10 :　ｻﾑﾁｪｯｸｴﾗｰ ICAQ 端末ﾒｰｶｰへお問合せ 下さい→0120-XXX-XXX	サムチェックエラーが発生しました。	富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
I 11	I11 :　ｻﾑﾁｪｯｸｴﾗｰ CAPK 端末ﾒｰｶｰへお問合せ 下さい→0120-XXX-XXX	サムチェックエラーが発生しました。	富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
I 12	I12:　送信ｴﾗｰ XXXX やり直して下さい ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ	結果通知送信中に通信エラーが発生しました。XXXX には、エラー詳細コードが表示されます。	リセットキーを押して初期画面に戻り、電波状態の良い場所に移動して、操作し直してください。 繰り返し発生する場合には、CARDNET サービスデスクに連絡してください。
I 15	I15:　業務規制中 結果通知して下さい ﾓｰﾄﾞｷｰをどうぞ	結果通知の送信が中止されたため､業務が規制されました。	モードキーを押して、集計モードにて、結果通知を行ってください。
I 17	I17:　ｱﾌﾟﾘ選択ｴﾗｰ ﾘｾｯﾄｷｰを押し磁気ｶｰﾄﾞ で処理して下さい	本端末で使用できない IC カードが挿入されました。	リセットキーを押して初期画面に戻り、磁気カードリーダにて操作し直してください。
I 18	I18:　IC ﾃｰﾌﾞﾙ未登録 IC ｶｰﾄﾞを抜き磁気ｶｰﾄﾞ で処理して下さい	本端末で使用できない IC カードが挿入されました。	磁気カードリーダにて、操作し直してください。
I 19	I19:　ｶｰﾄﾞﾃﾞｰﾀ不一致 処理を中止します ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ	IC カードを磁気カードリーダにて操作し直す際に､直前に使用したカードと違うカードが使用されました。	リセットキーを押して初期画面に戻り、取引を中止してください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
I 20	I20：　回線ｴﾗｰ 再接続を行いますか 再接続 中止	回線エラーが発生しました。	再接続を行う場合には、PF2（再接続）キーを押してください。 中止する場合には、PF3（中止）キーを押してください。
I 21	I21：　電話回線使用中 再接続を行いますか 再接続 中止	電話回線が使用中です。	再接続を行う場合には、PF2（再接続）キーを押してください。 中止する場合には、PF3（中止）キーを押してください。
I 22	I22：　接続ｴﾗｰ XXXX 再接続を行いますか 再接続 中止	接続エラーが発生しました。 XXXX には、エラー詳細コードが表示されます。	再接続を行う場合には、PF2（再接続）キーを押してください。 中止する場合には、PF3（中止）キーを押してください。
I 23	I23:　ｶｰﾄﾞ応答(AAR) 処理を中止します ﾘｾｯﾄｷｰをどうぞ	IC カードから、無効な応答を受け取りました。	リセットキーを押して初期画面に戻り、取引を中止してください。 その後、カード会社に連絡してください。
I 24	I24:　ｶｰﾄﾞ読出ｴﾗｰ IC ｶｰﾄﾞを抜き磁気ｶｰﾄﾞで処理して下さい	IC カードから、必要なデータが読み出せませんでした。	磁気カードリーダにて、操作し直してください。
I 25	I25:　ｱﾌﾟﾘ選択ｴﾗｰ IC ｶｰﾄﾞを抜き磁気ｶｰﾄﾞで処理して下さい	本端末で使用できない IC カードが挿入されました。	磁気カードリーダにて、操作し直してください。
I 26	I26:　ﾃｰﾌﾞﾙ未登録 IC ｶｰﾄﾞを抜き磁気ｶｰﾄﾞで処理して下さい	本端末で使用できない IC カードが挿入されました。	磁気カードリーダにて、操作し直してください。
I 27	I27：　ｻﾑﾁｪｯｸｴﾗｰ IC-D 端末ﾒｰｶｰへお問合せ下さい→0120-XXX-XXX	サムチェックエラーが発生しました。	富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
I 28	I28：　ｻﾑﾁｪｯｸｴﾗｰ AID 端末ﾒｰｶｰへお問合せ下さい→0120-XXX-XXX	サムチェックエラーが発生しました。	富士通決済端末サポートデスクに連絡してください。
I 29	I29:　最終選択ｴﾗｰ ﾘｾｯﾄｷｰを押し磁気ｶｰﾄﾞで処理して下さい	本端末で使用できない IC カードが挿入されました。	リセットキーを押して初期画面に戻り、磁気カードリーダにて操作し直してください。
I 30	I30:　最終選択ｴﾗｰ IC ｶｰﾄﾞを抜き磁気ｶｰﾄﾞで処理して下さい	本端末で使用できない IC カードが挿入されました。	磁気カードリーダにて、操作し直してください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
I 32	I32：　通信ｴﾗｰ XXXX 結果通知再送しますか 再送 中止	結果通知送信中に通信エラーが発生しました。XXXX には、エラー詳細コードが表示されます。	結果通知を再送する場合には、PF2（再送）キーを押してください。 結果通知を再送しない場合には、PF3（中止）キーを押してください。
I 33	I33：　再送ｴﾗｰ XXXX 結果通知再送しますか 再送 中止	結果通知再送中に通信エラーが発生しました。XXXX には、エラー詳細コードが表示されます。	結果通知を再送する場合には、PF2（再送）キーを押してください。 結果通知を再送しない場合には、PF3（中止）キーを押してください。
I 40	I40：　IC ﾃｰﾌﾞﾙ未登録 ﾘｾｯﾄｷｰを押し磁気ｶｰﾄﾞで処理して下さい	本端末で使用できない IC カードが挿入されました。	リセットキーを押して初期画面に戻り、磁気カードリーダにて操作し直してください。
I 41	I41：　ﾃｰﾌﾞﾙ未登録 ﾘｾｯﾄｷｰを押し磁気ｶｰﾄﾞで処理して下さい	本端末で使用できない IC カードが挿入されました。	リセットキーを押して初期画面に戻り、磁気カードリーダにて操作し直してください。
I 42	I42：　ｶｰﾄﾞ読出ｴﾗｰ ﾘｾｯﾄｷｰを押し磁気ｶｰﾄﾞで処理して下さい	IC カードから、必要なデータが読み出せませんでした。	リセットキーを押して初期画面に戻り、磁気カードリーダにて操作し直してください。
I 43	I43：　IC ｶｰﾄﾞ抜取ｴﾗｰ IC ｶｰﾄﾞを 抜いて下さい	伝票の印字終了後に、IC カードが挿入されたままとなっています。	IC カードを、IC カード挿入口から抜き取ってください。
I 53	I53：　ｼｽﾃﾑｴﾗｰ（結果） ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ下さい→0120-800-661	センターに結果通知を送信できませんでした。	CARDNET サービスデスクに連絡してください。
I 54	I54：　ｼｽﾃﾑｴﾗｰ（Zxx） ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ下さい→0120-800-661	センターに異常電文(アドバイス)を送信し、Zxx を受信しました。	CARDNET サービスデスクに連絡してください。
I 98	I98：　ﾊｯｼｭｴﾗｰ ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ下さい→0120-800-661	CA 公開鍵の登録で、エラーが発生しました。	CARDNET サービスデスクに連絡してください。

8.8.3　本端末からの確認メッセージ（エラーコードなし）

No.	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
MSG　A	前回取引と同内容です 別取引で処理しますか 継続　中止	同じ取引を、２度続けて実行しました。	同じ取引をする場合には、PF2（継続）キーを押してください。 中止する場合には、PF4（中止）キーを押してください。
MSG　B	取引を中止しました	上記二重取引のメッセージ（MSG　A）で、PF4（中止）キーを押した場合の、確認メッセージです。	約２秒後に、元の画面に戻ります。
MSG　C	ｻｲﾝをいただいて 下さい 確認	サインレス設定ありで、サインが必要となりました。	PF4(確認)キーを押すと、売上票が印字されます。お客様にサインをいただいてください。
MSG　D	利用金額上限超過です 金額を確認して下さい 訂正　中止	デビット取引金額が、デビット取引上限金額を超えました。	金額を訂正する場合には、PF2（訂正）キーを押して、金額を訂正してください。 取引を中止する場合には、PF4（中止）キーを押して、処理を中止してください。
MSG　F	選択ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝの処理に 失敗しました 再度選択して下さい	選択されたアプリケーションの起動に失敗しました。	約３秒後に、次の画面が表示されます。
MSG　G	暗証番号入力を ｽｷｯﾌﾟしますか ｽｷｯﾌﾟ　戻る	暗証番号入力画面にて、暗証番号が入力されずに、確定キーが押されました。	暗証番号入力をスキップする場合には、PF2（スキップ）キーを押してください。 暗証番号を再度入力する場合には、PF4（戻る）キーを押してください。
MSG　H	暗証番号入力ｴﾗｰ もう一度暗証番号を 入力して下さい	入力された暗証番号が誤っていました。	お客様に、正しい暗証番号を入力していただいてください。
MSG　I	暗証番号入力ｴﾗｰ 残りあと１回です ご注意下さい	入力された暗証番号が誤っていました。	お客様に、正しい暗証番号を入力していただいてください。
MSG　J	暗証番号入力ｴﾗｰ 処理は継続します	入力された暗証番号が誤っていました。	カード会社に連絡してください。
MSG　K	IC ｶｰﾄﾞお取り扱い不可 端末の表示に従って 処理を行って下さい	挿入された IC カードでは、処理が行えませんでした。	伝票印字後に、次の画面（MSG　L）が表示されます。

（続く）

（続き）

No.	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
MSG　L	磁気ｶｰﾄﾞﾘｰﾀﾞで 処理を行いますか 継続　中止	挿入された IC カードでは、処理が行えませんでした。	磁気カードリーダにて操作し直す場合には、PF2（継続）キーを押してください。 取引を中止する場合には、PF4（中止）キーを押してください。
MSG　M	今まで出力した伝票は 破棄して下さい 確定ｷｰをどうぞ	伝票印字中に、エラーが発生しました。	伝票を切り取って、確定キーを押してください。 その後、再印字を行ってください。
MSG　N	暗証番号入力を ｽｷｯﾌﾟしました	暗証番号入力がスキップされました。	約３秒後に、次の画面が表示されます。
MSG　O	暗証番号の確認完了 ｶｰﾄﾞを抜かずに端末を 係員にお戻し下さい	正しい暗証番号が入力されました。	約３秒後に、次の画面が表示されます。
MSG　P	暗証番号誤入力 回数ｵｰﾊﾞｰです ｶｰﾄﾞ 会社へお問合せ下さい	挿入された IC カードでは、暗証番号が確認できませんでした。	カード会社に連絡してください。
MSG　Q	暗証番号入力可能回数 残りあと１回です ご注意下さい	挿入された IC カードでは、暗証番号を入力できる回数が１回のみです。	お客様に、正しい暗証番号を入力していただいてください。

8.8.4　クレジットカードでの取引のエラーメッセージ（エラーコード“G”“C”“E”“Z”）

■ IC クレジットカードでの取消のエラーメッセージ（エラーコード“G”）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
G14	〈G14〉 端末の表示に従って 処理を行って下さい	IC カードでお取り扱いできません。	次の画面（MSG　L）が表示されるので、PF2(継続)キーを押し、磁気カードリーダにて操作し直してください。
G15	〈G15〉通信ｴﾗｰ もう一度 やり直して下さい	通信エラーが発生しました。	リセットキーを押して初期画面に戻り、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G16	〈G16〉IC ｶｰﾄﾞｴﾗｰ もう一度 やり直して下さい	IC カードと本端末間に偶発的なエラーが発生しました。または、IC カードのプログラム不良です。	カード会社に連絡してください。
G17	〈G17〉お取り扱い不可 暗証番号を入力して やり直して下さい	暗証番号入力をスキップしたことにより、取引が拒否されました。	暗証番号の入力が必須のカードです。 暗証番号を入力して、もう一度やり直してください。
G18	〈G18〉お取り扱い不可 ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい	暗証番号の誤入力回数が上限を超えたため、暗証番号の入力がブロックされました。	IC クレジットカードでのお取り扱いができない状態になっています。 カード会社に連絡してください。

■ カード会社からのエラーメッセージ（エラーコード“G”）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
G12	〈G12〉お取り扱い不可 ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	クレジットカードが使用不可能です。	カード会社に連絡してください。
G30	〈G30〉 ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	クレジットカード会社が受付けを拒否しました。	カード会社に連絡してください。
G42	〈G42〉暗証番号ｴﾗｰ ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	お客様が入力した暗証番号が誤っていました。	カード会社に連絡してください。
G44	〈G44〉ｾｷｭﾘﾃｨｺｰﾄﾞｴﾗｰ ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	セキュリティコードの入力が誤っていました。	カード会社に連絡してください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
G45	<G45> ｾｷｭﾘﾃｨｺｰﾄﾞｴﾗｰ ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	クレジットカード会社が受付けを拒否しました。	カード会社に連絡してください。
G46	<G46> お取り扱い不可 ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	クレジットカード会社が受付けを拒否しました。	カード会社に連絡してください。
G54	<G54> お取り扱い不可 ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	お客様の 1 日の利用回数または金額をオーバーしています。	カード会社に連絡してください。
G55	<G55> お取り扱い不可 ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	お客様の 1 日の利用限度額をオーバーしています。	カード会社に連絡してください。
G56	<G56> 無効ｶｰﾄﾞです ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	無効カードが入力されました。（カード取込）	カードをお預かりした後、カード会社に連絡してください。
G60	<G60> 事故ｶｰﾄﾞです ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	事故カードが入力されました。	カードをお預かりした後、カード会社に連絡してください。
G61	<G61> 無効ｶｰﾄﾞです ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	無効カードが入力されました。	カードをお預かりした後、カード会社に連絡してください。
G65	<G65> 会員番号ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	会員番号の入力が誤っていました。	会員番号を確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G67	<G67> 商品ｺｰﾄﾞｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	商品コードの入力が誤っていました。	商品コードを確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G68	<G68> 金額ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	金額の入力が誤っていました。	金額を確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G69	<G69> その他ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	その他の金額の入力が誤っていました。	その他の金額を確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
G70	<G70> ﾎﾞｰﾅｽ回数ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	ボーナス回数の入力が誤っていました。	ボーナス回数を確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G71	<G71> ﾎﾞｰﾅｽ月ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	ボーナス月の入力が誤っていました。	ボーナス月を確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G72	<G72> ﾎﾞｰﾅｽ金額ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	ボーナス金額の入力が誤っていました。	ボーナス金額を確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G73	<G73> 支払開始月ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	支払開始月の入力が誤っていました。	支払開始月を確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G74	<G74> 分割回数ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	分割回数の入力が誤っていました。	分割回数を確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G75	<G75> 分割金額ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	分割払いの下限額を下回っていました。	分割金額を確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G76	<G76> 初回金額ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	初回金額の入力が誤っていました。	初回金額を確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G77	<G77> 業務区分ｴﾗｰ ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	クレジットカード会社が受付けを拒否しました。	カード会社に連絡してください。
G78	<G78> 支払区分ｴﾗｰ ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	支払方法の入力が誤っていました。	カード会社に連絡してください。
G80	<G80> 取消区分ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	取消区分の入力が誤っていました。	取消区分を確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
G81	〈G81〉取扱区分ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	取扱区分の入力が誤っていました。	取扱区分を確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G83	〈G83〉有効期限ｴﾗｰ ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	有効期限切れのクレジットカードが入力されました。	カード会社に連絡してください。
G84	〈G84〉承認番号ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	承認番号の入力が誤っていました。	承認番号を確認し、操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G85	〈G85〉お取り扱い不可 ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	クレジットカード会社が受付けを拒否しました。	カード会社に連絡してください。
G92	〈G92〉 ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	クレジットカード会社が受付けを拒否しました。	カード会社に連絡してください。
G94	〈G94〉 もう一度 やり直して下さい	クレジットカード会社が受付けを拒否しました。	操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G95	〈G95〉ｶｰﾄﾞ会社終了 ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	クレジットカード会社での受付けが終了しています。	カード会社に連絡してください。
G97	〈G97〉お取り扱い不可 ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	クレジットカード会社が受付けを拒否しました。	カード会社に連絡してください。
G98	〈G98〉対象業務ｴﾗｰ 初めから やり直して下さい	接続されたクレジットカード会社の対象業務ではありません。	繰り返し発生する場合は、カード会社に連絡してください。
G99	〈G99〉お取り扱い不可 ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	クレジットカード会社が受付けを拒否しました。	カード会社に連絡してください。
G** （上記以外）	〈G**〉お取り扱い不可 ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	クレジットカード会社が受付けを拒否しました。	カード会社に連絡してください。

■ センターからのメッセージ（エラーコード“C”）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
C01	<C01> もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。
C02	<C02> もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。
C03	<C03> もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。
C04	<C04> もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。
C12	<C12> しばらくしてから やり直して下さい	クレジットカード会社で受付けできませんでした。	しばらくしてから、操作し直してください。
C13	<C13> しばらくしてから やり直して下さい	クレジットカード会社で受付けできませんでした。	しばらくしてから、操作し直してください。
C14	<C14> お取り扱い不可 ｶｰﾄﾞ会社受付休止中	クレジットカード会社で受付けできませんでした。	操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。
C15	<C15> お取り扱い不可 CAFIS ｾﾝﾀ受付休止中	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。
C16	<C16> もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。
C33	<C33> しばらくしてから やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	しばらくしてから、操作し直してください。
C50	<C50> しばらくしてから やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	しばらくしてから、操作し直してください。
C57	<C57> もう一度 やり直して下さい	クレジットカード会社で受付けできませんでした。	操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
C58	<C58> もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。
C60	<C60> もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。
C** （上記以外）	<C**> お取り扱い不可 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ 下さい→0120-800-661	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。

■ センターからのエラーメッセージ（エラーコード“E”“Z”）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
E01～E05 E07～E10 E12～E20 E27～E45 E50～E60 E62　E63 E66～E73	〈E**〉 もう一度 やり直して下さい	CARDNETセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNETサービスデスクに連絡してください。
E06 E21～E26 E48 E49 E74～E78 E80～E98	〈E**〉お取り扱い不可 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ 下さい→0120-800-661	CARDNETセンターで受付けできませんでした。	CARDNETサービスデスクに連絡してください。
E11	〈E11〉ｶｳﾝﾀ不一致 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ 下さい→0120-800-661	カウンタ不一致が発生しました。	CARDNETサービスデスクに連絡してください。
E46	〈E46〉 もう一度 やり直して下さい	CARDNETセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。
E47	〈E47〉 しばらくしてから やり直して下さい	CARDNETセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNETサービスデスクに連絡してください。
E61	〈E61〉 お取り扱いできません DLL参照禁止時間帯	DLLの禁止時間帯です。	しばらくしてから操作し直してください。
E64 E65	〈E**〉 しばらくしてから やり直して下さい	CARDNETセンターで受付けできませんでした。	しばらくしてから操作し直してください。
E79	〈E79〉お取り扱い不可 ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ 下さい→XX-XXXX-XXXX	接続されたクレジットカード会社で受付けできませんでした。	カード会社に連絡してください。
Z＊＊	〈Z**〉お取り扱い不可 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ 下さい→0120-800-661	CARDNETセンターで受付けできませんでした。	CARDNETサービスデスクに連絡してください。

8.8.5　　デビットカードでの取引のエラーメッセージ（エラーコード“G”“C”）

■ 金融機関からのエラーメッセージ（エラーコード“G”）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
G06	〈G06〉 残高不足 お取り扱いできません	当該取引の口座において残高が不足しています。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G07	〈G07〉 限度額ｵｰﾊﾞｰ お取り扱いできません	当該取引おいて限度額オーバーとなりました。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G42	〈G42〉 暗証番号ｴﾗｰ お取り扱いできません	入力暗証番号がエラーです。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G43	〈G43〉 お取り扱いできません	暗証番号の誤入力回数が既定値を超えました。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G60	〈G60〉 お取り扱いできません	利用停止となった口座のカードが使用されました。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G65	〈G65〉 お取り扱いできません	存在しない口座番号のカードが使用されました。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G68	〈G68〉 金額ｴﾗｰ お取り扱いできません	入力された金額が誤っていました。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G77	〈G77〉 お取り扱いできません	規定外の業務区分の電文を受信しました。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G78	〈G78〉 お取り扱いできません	規定外の支払区分の電文を受信しました。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G80	〈G80〉 お取り扱いできません	規定外の取消区分の電文を受信しました。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G81	〈G81〉 お取り扱いできません	規定外の取扱区分・取引区分の電文を受信しました。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G83	〈G83〉 有効期限ｴﾗｰ お取り扱いできません	有効期限切れのカードが使用されました。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G85	〈G85〉 お取り扱いできません	デビットサービス対象外の口座のカードが使用されました。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G91	〈G91〉 お取り扱いできません	金融機関側のシステムが一部障害中で口座引き落としなどができません。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
G94	＜G94＞ お取り扱いできません	以下の原因によって、取消処理ができません。 元取引が存在しない／元取引が既に取消済み／元取引と同一日付のコア時間帯でない	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G95	＜G95＞ 金融機関終了 お取り扱いできません	当該業務の運用が終了しています。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G97	＜G97＞ お取り扱いできません	何らかの理由により要求電文を処理できません。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G98	＜G98＞ 対象業務ｴﾗｰ お取り扱いできません	対象業務以外の電文を受信しました。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G99	＜G99＞ お取り扱いできません	何らかの理由により要求電文を処理できません。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
G** （上記以外）	＜G**＞ お取り扱いできません	金融機関で受付けができませんでした。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。

■ センターからのエラーメッセージ（エラーコード“C”）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
C01	＜C01＞ もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、CARDNETサービスデスクに連絡してください。
C03	＜C03＞ もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、CARDNETサービスデスクに連絡してください。
C12	＜C12＞ しばらくしてから やり直して下さい	金融機関で受付けできませんでした。	操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
C13	＜C13＞ しばらくしてから やり直して下さい	金融機関で受付けできませんでした。	操作し直してください。 繰り返し発生する場合は、処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
C 14	〈C14〉お取り扱い不可 金融機関受付休止中	金融機関で受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
C 15	〈C15〉お取り扱い不可 CAFIS ｾﾝﾀ受付休止中	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
C 20	〈C20〉お取り扱い不可 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ 下さい→0120-800-661	デビット契約のない金融機関のカードが使用されました。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
C 21	〈C21〉お取り扱い不可 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ 下さい→0120-800-661	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
C 22	〈C22〉お取り扱い不可 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ 下さい→0120-800-661	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
C 23	〈C23〉お取り扱い不可 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ 下さい→0120-800-661	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
C 24	〈C24〉お取り扱い不可 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ 下さい→0120-800-661	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
C 33	〈C33〉 しばらくしてから やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
C 50	〈C50〉 しばらくしてから やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、処理を中止して、お客様に、取引できないことを伝えてください。
C 51	〈C51〉 もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。
C 53	〈C53〉 もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。
C 54	〈C54〉 もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNET サービスデスクに連絡してください。

（続く）

（続き）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	画面メッセージ	内容・原因	対処方法
C55	<C55> もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNETサービスデスクに連絡してください。
C56	<C56> もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNETサービスデスクに連絡してください。
C57	<C57> もう一度 やり直して下さい	金融機関で受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNETサービスデスクに連絡してください。
C58	<C58> もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNETサービスデスクに連絡してください。
C60	<C60> もう一度 やり直して下さい	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNETサービスデスクに連絡してください。
C** （上記以外）	<C**> お取り扱い不可 ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸへお問合せ 下さい→0120-800-661	ＣＡＦＩＳセンターで受付けできませんでした。	操作し直してください。繰り返し発生する場合は、CARDNETサービスデスクに連絡してください。

第9章　伝票印字例

9.1　クレジット売上票

ここでは、クレジット売上票の見方を説明します。

Point　CARDNET のロゴは、本端末の業務設定で“ロゴ印字”に“あり”を設定した場合に印字されます。

Point　支払詳細は、本端末の業務設定で“支払詳細データ印字”に“あり”を設定した場合に印字されます。支払詳細とは、ボーナス払い、分割払い、およびボーナス併用払いで入力する次の項目のことで、これらを入力した場合のみ印字されます。

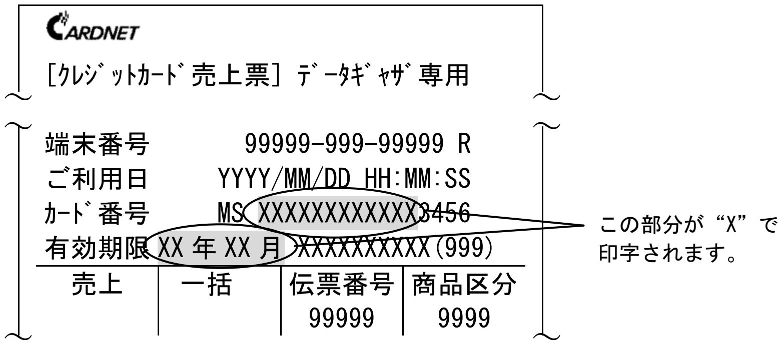
・ボーナス回数
・ボーナス月
・ボーナス金額
・支払開始月
・初回金額

Point　カード会社とのご契約によって会員番号を非表示とした場合には、次の印字例のように、カード番号の一部および有効期限が“X”で印字されます。

・カード会社用（１枚目）・加盟店控（３枚目）・集計用（４枚目）



・お客様控（２枚目）



>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

>参照>　会員番号の非表示については、「1-15ページ　会員番号の非表示機能について」を参照してください。

■ カード会社用（1枚目）



＜加盟店名＞
店舗名・電話番号などが印字されます。

＜取引種別＞
磁気クレジットカードを使用した場合には“MS”または“*MS”が、IC クレジットカードを使用した場合には“IC”が、マニュアル入力した場合には“MN”が印字されます。

＜有効期限＞
使用されたクレジットカードの有効期限が印字されます。

＜取引内容＞
取引内容が印字されます。

＜支払区分＞
支払方法が印字されます。

＜ボーナス回数・分割回数＞
ボーナス払いの場合にボーナス回数が、分割払い・ボーナス併用払いの場合に分割回数が印字されます。

＜取消伝票番号＞
取消返品の場合に、取消伝票の番号が印字されます。

＜支払詳細＞
支払詳細データ印字ありで、ボーナス払い・分割払い・ボーナス併用払いの場合に、開始月やボーナス月などの支払方法の詳細が印字されます。

＜ご署名＞
お客様の署名を記入していただく欄です。

このメッセージは、暗証番号が入力された場合に印字されます。

このメッセージは、カード会社とサインレスのご契約をされている場合に印字されます。

＜承認番号＞
カード会社から通知された承認番号が印字されます。

＜伝票種別＞
ギャザリング端末の場合には“データギャザ専用”と、オーソリ端末の場合には“オーソリ専用”と印字されます。

＜端末番号＞
本端末に設定されている端末識別番号が印字されます。

＜再印字マーク＞
再印字の場合に、“R”が印字されます。

＜ご利用日＞
カードをご利用になった日時が印字されます。

＜カード番号＞
お客様のカードのカード番号が印字されます。

＜カード会社 ＞
カード会社名（KID）が印字されます。

＜商品区分＞
入力された商品コードが印字されます。

＜伝票番号＞
本端末で処理した伝票の通番が印字されます。

＜金額＞
お客様が購入された商品の金額が印字されます。

＜その他＞
お客様が購入された商品の、その他の金額が印字されます。

＜合計金額＞
お客様が購入された商品の合計金額が印字されます。

＜処理通番＞
CARDNET センターで受け付けた処理通番が印字されます。

＜ご案内＞
エラーの場合に、CARDNET センターからのメッセージ、カード会社からのメッセージ、または本端末からのメッセージが印字されます。

＜IC 情報＞
IC クレジットカードでの取引の場合に、取引に関する情報が印字されます。

＜伝票種別＞
１枚目の伝票種別“カード会社用”が印字されます。

■ お客様控（２枚目）

CARDNET

［ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞ売上票］ﾃﾞｰﾀｷﾞｬｻﾞ専用

加盟店名 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

端末番号	99999-999-99999 R
ご利用日	YYYY/MM/DD HH:MM:SS
ｶｰﾄﾞ番号	MS 9999999999999999
有効期限 YY 年 MM 月	XXXXXXXXXX(999)

売上	ﾎﾞｰﾅｽ併用	伝票番号	商品区分
		99999	9999

分割回数	99 回
取消伝票番号	99999
開始月 99 月	ﾎﾞｰﾅｽ月 99 月　¥9,999,999

金額	¥9,999,999
その他	¥999,999
合計金額	**¥99,999,999**

品名・型式他	数量

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

承認番号 999999　処理通番 999999

ご案内
ご利用ありがとうございました。
またのご来店を
お待ちしております。
ARCXX･ATCXXXX･NoXX･*XXXXXXXXXXX*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXX･･･XXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

売場	係員

お客様控

＜品名・型式他、数量＞
“お客様控”には、ご署名欄のかわりに“品名・型式他”欄と“数量”欄が印字されます。加盟店様で、品名・型式や数量をご記入ください。なお、この欄は、一括払いや取消返品の場合には印字されません。

＜ご案内＞
CARDNETセンターからのメッセージ、カード会社からのメッセージ、または本端末からのメッセージが印字されます。

＜伝票種別＞
２枚目の伝票種別“お客様控”が印字されます。

■ 加盟店控（３枚目）・集計用（４枚目）

> **Point**　集計用（４枚目）は、本端末の業務設定によって、印字されない場合があります。

>参照>　本端末の業務設定については、｢7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）｣を参照してください。

CARDNET

[ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞ売上票] ﾃﾞｰﾀｷﾞｬｻﾞ専用

加盟店名 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

端末番号 99999-999-99999 R
ご利用日 YYYY/MM/DD HH:MM:SS
ｶｰﾄﾞ番号 MS 9999999999999999
有効期限 YY 年 MM 月 XXXXXXXXXX(999)

売上	ﾎﾞｰﾅｽ併用	伝票番号	商品区分
		99999	9999

分割回数 99 回
取消伝票番号 99999

開始月 99 月	ﾎﾞｰﾅｽ月 99 月 ¥9,999,999

金額 ¥9,999,999
その他 ¥999,999
合計金額 ¥99,999,999

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

承認番号 999999　処理通番 999999

ご案内
<G12 お取扱できません>
カード会社にお問合せ下さい。
ＴＥＬ：９９９－９９９－９９９９
ARCXX･ATCXXXX･NoXX･*XXXXXXXXXXX*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXX･･･XXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

売場	係員

加盟店控

＜ご案内＞
エラーの場合に、CARDNET センターからのメッセージ、カード会社からのメッセージ、または本端末からのメッセージが印字されます。

＜伝票種別＞
３枚目の場合には伝票種別“加盟店控”が、４枚目の場合には伝票種別 “集計用” が印字されます。

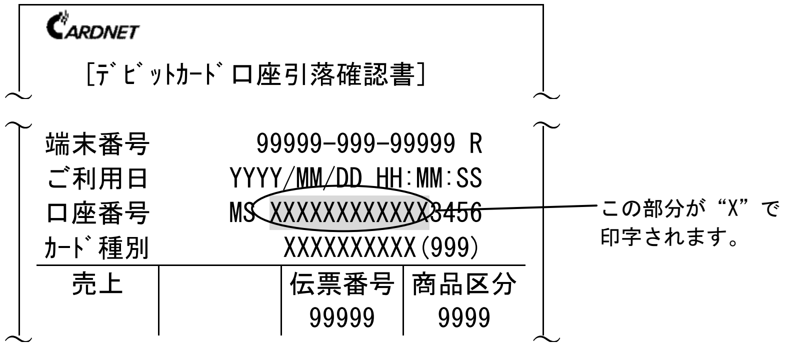
9.2　デビット売上票（口座引落確認書）

ここでは、デビット売上票（口座引落確認書）の見方を説明します。

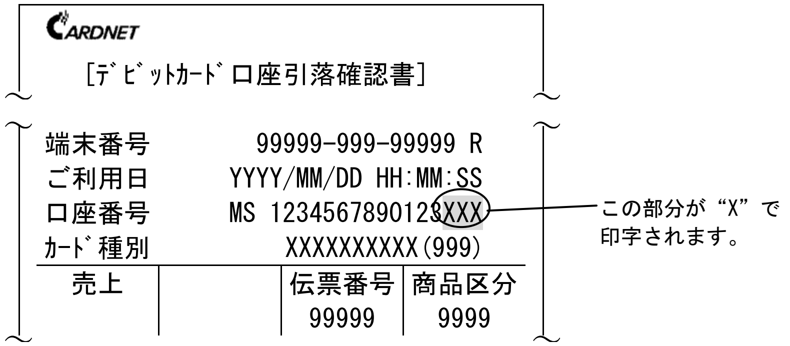
Point　CARDNETのロゴは、本端末の業務設定で“ロゴ印字”に“あり”を設定した場合に印字されます。

Point　カード会社とのご契約によって会員番号を非表示とした場合には、次の印字例のように、口座番号の一部が“X”で印字されます。

・お客様控（１枚目）



・保管センター用（２枚目）・加盟店控（３枚目）・集計用（４枚目）



>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

>参照>　会員番号の非表示については、「1-15ページ　会員番号の非表示機能について」を参照してください。

■ お客様控（１枚目）

＜加盟店名＞
店舗名・電話番号などが印字されます。

＜端末番号＞
本端末に設定されている端末識別番号が印字されます。

＜ご利用日＞
カードをご利用になった日時が印字されます。

＜取引内容＞
取引内容が印字されます。

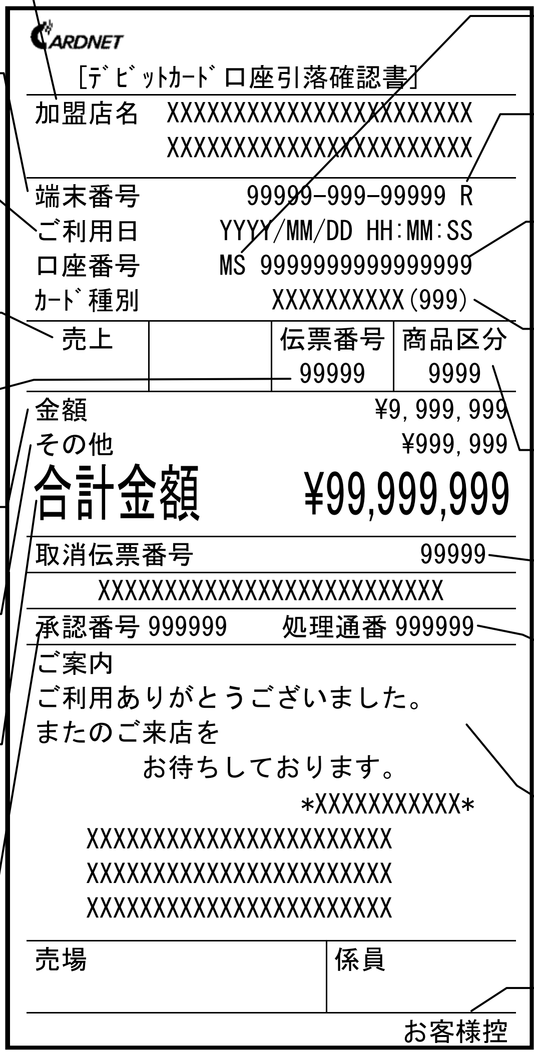
＜伝票番号＞
本端末で処理した伝票の通番が印字されます。

＜金額＞
お客様が購入された商品の金額が印字されます。

＜その他＞
お客様が購入された商品の、その他の金額が印字されます。

＜合計金額＞
お客様が購入された商品の合計金額が印字されます。

＜承認番号＞
金融機関から通知された承認番号が印字されます。



＜取引種別＞
常に、“MS”が印字されます。

＜再印字マーク＞
再印字の場合に、“R”が印字されます。

＜口座番号＞
お客様のカードの口座番号が印字されます。

＜カード種別＞
使用されたデビットカードの名称(KID)が印字されます。

＜商品区分＞
入力された商品コードが印字されます。

＜取消伝票番号＞
取消の場合に、取消伝票の番号が印字されます。

＜処理通番＞
CARDNET センターで受け付けた処理通番が印字されます。

＜ご案内＞
CARDNET センターからのメッセージ、金融機関からのメッセージ、または本端末からのメッセージが印字されます。

＜伝票種別＞
１枚目の伝票種別“お客様控”が印字されます。

■ 保管センター用（２枚目）

CARDNET

［ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞ口座引落確認書］

加盟店名　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
　　　　　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

端末番号　99999-999-99999 R
ご利用日　YYYY/MM/DD HH:MM:SS
口座番号　MS 9999999999999999
ｶｰﾄﾞ種別　XXXXXXXXXX(999)

売上		伝票番号	商品区分
		99999	9999

金額　¥9,999,999
その他　¥999,999
合計金額　¥99,999,999

取消伝票番号　99999

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

承認番号 999999　処理通番 999999

XXXXXXXXXXX

保管センタ用

＜伝票種別＞
２枚目の伝票種別“保管センタ用”が印字されます。

■ 加盟店控（３枚目）・集計用（４枚目）

Point　集計用（４枚目）は、本端末の業務設定によって、印字されない場合があります。

>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。



CARDNET
[ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞ口座引落確認書]

加盟店名　XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

端末番号　99999-999-99999 R
ご利用日　YYYY/MM/DD HH:MM:SS
口座番号　MS 9999999999999999
ｶｰﾄﾞ種別　XXXXXXXXXX(999)

売上		伝票番号	商品区分
		99999	9999

金額　¥9,999,999
その他　¥999,999
合計金額　¥99,999,999

取消伝票番号　99999
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
承認番号 999999　処理通番 999999
ご案内
＜G77 お取扱できません＞

XXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

売場	係員

加盟店控

＜ご案内＞
エラーの場合に、CARDNET センターからのメッセージ、金融機関からのメッセージ、または本端末からのメッセージが、加盟店控（３枚目）のみに印字されます。

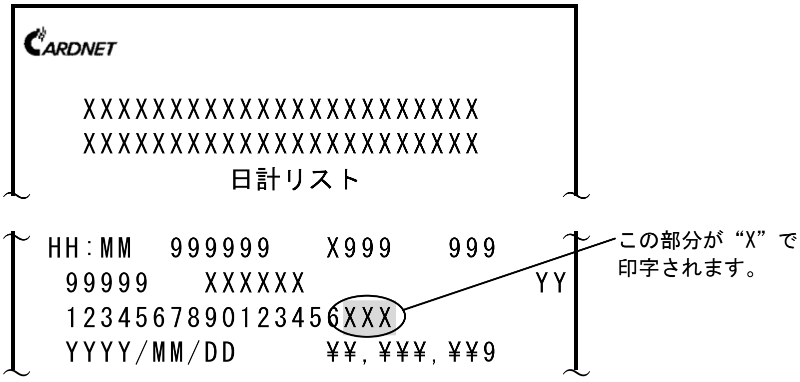
＜伝票種別＞
３枚目の場合には伝票種別“加盟店控”が、４枚目の場合には伝票種別“集計用”が印字されます。

9.3　日計表

ここでは、日計表の見方を説明します。

Point　CARDNETのロゴは、本端末の業務設定で“ロゴ印字”に“あり”を設定した場合に印字されます。

Point　カード会社とのご契約によって会員番号を非表示とした場合には、次の印字例のように、カード番号の一部および口座番号の一部が“X”で印字されます。



>参照>　本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

>参照>　会員番号の非表示については、「1-15ページ　会員番号の非表示機能について」を参照してください。

<加盟店名>
店舗名・電話番号などが印字されます。

<タイトル>
中間計の場合には“中間計リスト”と、日計の場合には“日計リスト”と印字されます。

<端末番号>
本端末に設定されている端末識別番号が印字されます。

<処理日時>
処理された日時が印字されます。

<取引種別>
クレジットカードでの取引の場合には“クレジット”と、デビットカードでの取引の場合には“デビット”と印字されます。

<KID・カード会社名>
カード会社番号とカード会社名が印字されます。

<再印字マーク>
再印字の場合に、“R”が印字されます。

<カード会社別合計>
カード会社ごとの合計が印字されます。

```
CARDNET

         XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
         XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
                 日計リスト
端末番号：  99999-999-99999
YYYY/MM/DD HH:MM                   R

< クレジット >
< 101:A ｸﾚｼﾞｯﾄ >
  時刻     処理通番    ｻｰﾋﾞｽ   取扱区分
  伝票番号    承認番号
  ｶｰﾄﾞ／口座番号
  利用日          金額
  HH:MM   999999    X999    999
   99999    XXXXXX               YY
   9999999999999999999
   YYYY/MM/DD      ¥¥,¥¥¥,¥¥9
  HH:MM   999999    X999    999
   99999    XXXXXX
   9999999999999999999
   YYYY/MM/DD      ¥¥,¥¥¥,¥¥9

<< Aｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞ合計 >>
                    件数        金額
  一括              ZZ9  ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
  分割              ZZ9  ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
  ﾎﾞｰﾅｽ             ZZ9  ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
  合計              ZZ9  ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
  YYYY/MM/DD [OK]
```

＜データ印字項目タイトル＞
“サービス”と“利用日”は、カウンタ不一致が発生して、CARDNET サービスデスクからの問合せがあった場合に確認いただく項目です。

＜１件分の取引データ＞
１件分の取引データです。

＜ARC＞
ICクレジットカードでの取引の場合に、印字されることがあります。

＜カウンタ不一致マーク＞
本端末の取引カウンタと CARDNET センターとの取引カウンタが不一致の場合に、“*”が印字されます。

＜利用日＞
マニュアル入力の、承認後売上または承認後売上の取消返品の場合に、利用日が印字されます。

＜カウンタチェック＞
本端末の取引カウンタと CARDNET センターとの取引カウンタが一致した場合には“OK”が、不一致の場合には“NG”が印字されます。

＜クレジット合計＞
全カード会社の合計が印字されます。

```
< 102:B ｸﾚｼﾞｯﾄ >
 時刻     処理通番    ｻｰﾋﾞｽ   取扱区分
 伝票番号   承認番号
 ｶｰﾄﾞ／口座番号
 利用日          金額
 HH:MM  999999   X999   999
  99999   XXXXXX               YY
  9999999999999999999
  YYYY/MM/DD      ¥¥,¥¥¥,¥¥9
*HH:MM  999999   X999   999
  99999   XXXXXX(MM/DD)
  9999999999999999999
  YYYY/MM/DD      ¥¥,¥¥¥,¥¥9

<< B ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞ合計 >>
                件数       金額
 一括           ZZ9  ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
 ﾎﾞｰﾅｽ          ZZ9  ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
 合計           ZZ9  ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
 YYYY/MM/DD [NG]

  ★★★★★ ｶｳﾝﾀ不一致 ★★★★★
  売上が正常に処理されていない
  可能性があります
  CARDNET ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸに
              至急お問合せください

<< クレジット合計 >>
                件数       金額
 一括           ZZ9  ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
 ﾎﾞｰﾅｽ          ZZ9  ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
 分割           ZZ9  ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
 ﾎﾞｰﾅｽ併用      ZZ9  ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
 ﾘﾎﾞﾙﾋﾞﾝｸﾞ      ZZ9  ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
 合計           ZZ9  ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
```

＜KID・デビット名称＞
デビット名称番号とデビット名称が印字されます。なお、デビットカードでの取引について情報は、カード会社とのご契約によって、印字されない場合があります。

＜デビット合計＞
全デビットの合計が印字されます。

＜加盟店合計＞
加盟店様の総合計が印字されます。

＜未送信結果通知あり＞
中間計の場合で、IC クレジットカードでの売上の際に取引データの送信に失敗して、本端末内に送信されていない取引データが残っている場合に印字されます。なお、この未送信データは、集計されません。

```
<デビット>
< 201:Aﾃﾞﾋﾞｯﾄ >
 時刻     処理通番     ｻｰﾋﾞｽ    取扱区分
 伝票番号    承認番号
 ｶｰﾄﾞ／口座番号
 利用日           金額
  HH:MM   999999    X999    999
   99999    XXXXXX
   9999999999999999999
   YYYY/MM/DD             ¥¥,¥¥¥,¥¥9
  HH:MM   999999    X999    999
   99999    XXXXXX
   9999999999999999999
   YYYY/MM/DD             ¥¥,¥¥¥,¥¥9

<< Aﾃﾞﾋﾞｯﾄ合計 >>
                    件数          金額
  合計              ZZ9   ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
  YYYY/MM/DD [OK]

<< デビット合計 >>
                    件数          金額
  合計              ZZ9   ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9

   *****< 加盟店合計 >*****
                    件数          金額
  ｸﾚｼﾞｯﾄ            ZZ9   ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
  ﾃﾞﾋﾞｯﾄ            ZZ9   ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9
  合計              ZZ9   ¥,¥¥¥,¥¥¥,¥¥9

   *** 未送信結果通知あり ***
   CARDNET ｻｰﾋﾞｽﾃﾞｽｸに
              お問い合わせください
```

9.4 KID 一覧

ここでは、KID 一覧の見方を説明します。

Point CARDNET のロゴは、本端末の業務設定で“ロゴ印字”に“あり”を設定した場合に印字されます。

>参照> 本端末の業務設定については、「7-13ページ　業務設定（業務に関する情報の設定）」を参照してください。

＜端末番号＞
本端末に設定されている端末識別番号が印字されます。

＜磁気カード KID 一覧＞
磁気クレジットカードでの取引ができるカード会社名と、デビットカードでの取引ができるデビット名称の一覧が印字されます。なお、デビット名称の一覧は、カード会社とのご契約によって、印字されない場合があります。

＜KID＞
KID（カード会社番号またはデビット名称番号）が印字されます。

＜カード会社名／デビット名称＞
カード会社名またはデビット名称が印字されます。

＜IC カード KID 一覧＞
IC クレジットカードでの取引ができる IC クレジットの種類の一覧が印字されます。なお、IC カード KID 一覧は、カード会社とのご契約によって、印字されない場合があります。

CARDNET

登録会社リスト

端末番号：99999-999-99999

＊＊＊＊＊　磁 気 カ ー ド　＊＊＊＊＊

KID	会社名	電話番号
101	Aｸﾚｼﾞｯﾄ	03-1234-5678
102	Bｸﾚｼﾞｯﾄ	0120-123456
103	Cｸﾚｼﾞｯﾄ	075-123-4567
201	Aﾃﾞﾋﾞｯﾄ	1234-56-7890
202	Bﾃﾞﾋﾞｯﾄ	075-123-4567
203	Cﾃﾞﾋﾞｯﾄ	075-234-5678

＊＊＊＊＊　ＩＣカード　＊＊＊＊＊

KID	名 称
101	Ａクレジット／ＩＣ
102	Ｂクレジット／ＩＣ
103	Ｃクレジット／ＩＣ
＊104	国内／ＩＣ
＊105	国内／ＩＣ

＊国内／ＩＣについては
当該ｶｰﾄﾞ会社へお問合せ下さい

付録A　商品区分コード

商品ｺｰﾄﾞ	商品名・サービス名
0**	**海外利用**
000	海外一般利用
010	海外キャッシュサービス
020	海外通販1(電話)
021	海外通販1(電話) 旅行・運輸
022	海外通販1(電話)ｻｰﾋﾞｽ
023	海外通販1(電話)物品 (1)
024	海外通販1(電話)物品 (2)
025	海外通販1(電話) 物品流通券
030	海外通販2(郵便)
031	海外通販2(郵便) 旅行・運輸
032	海外通販2(郵便)ｻｰﾋﾞｽ
033	海外通販2(郵便)物品 (1)
034	海外通販2(郵便)物品 (2)
035	海外通販2(郵便) 物品流通券
040	海外医療
050	海外学費
060	海外宿泊
070	海外レンタカー
080	海外交通費
090	海外飲食
1**	**ﾛｰﾝｷｬｯｼﾝｸﾞｻｰﾋﾞｽ**
100	キャッシュサービス
110	ローン
120	通販
121	通販 旅行・運輸
122	通販 サービス
123	通販 物品(1)
124	通販 物品(2)
125	通販 物品流通券
130	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ通販
131	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ通販 旅行・運輸
132	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ通販 サービス
133	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ通販 物品(1)
134	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ通販 物品(2)
135	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ通販 物品流通券
136	プロバイダー利用料
137	デジタルコンテンツ
2**	**旅行・運輸**
200	鉄道・バス運賃
201	鉄道回数券
202	ﾌﾟﾘﾍﾟｰﾄﾞｶｰﾄﾞ(鉄道・ﾊﾞｽ)
203	鉄道定期券・周遊券
210	国内航空券
211	航空回数券
212	国際航空券
220	乗船券

商品ｺｰﾄﾞ	商品名・サービス名
230	国内パッケージ旅行
231	国際パッケージ旅行
240	ﾚﾝﾀｶｰ・ﾀｸｼｰ・ﾊｲﾔｰ
250	引越代金
3**	**サービス(1)**
300	宿泊
310	食事・宴会
320	飲食
330	施設利用料・結婚式場
331	ゴルフプレー
332	入場料(テーマパーク)
333	カラオケ
340	入浴 (サウナ)
350	不動産
351	リフォーム
4**	**サービス(2)**
400	修理・営繕(含車検)
410	理容・美容院
411	エステティックサロン
412	ネイルサロン
420	医療
421	ﾏｯｻｰｼﾞ・ｶｲﾛﾌﾟﾗｸﾃｨｯｸ
430	通話料
431	国内通話料
432	国際通話料
433	携帯電話・PHS 通話料
440	受講料・学費
450	保険料
460	新聞購読料
470	公共料金
480	RESERVE
49*	RESERVE (ｶｰﾄﾞ会社独自使用可)
5**	**物品(1)**
500	宝石・貴金属
510	指輪
540	時計類
541	ライター
560	ｶﾒﾗ (含ﾚﾝｽﾞ・8ﾐﾘ)
561	ビデオカメラ
562	デジタルカメラ
570	事務用品
590	RESERVE
6**	**物品(2)**
610	工具・園芸用品
650	電気製品
652	音響製品 (ｽﾃﾚｵ・ﾗｼﾞｵ・ｱﾝﾌﾟ)
653	ビデオ
654	テレビ

商品ｺｰﾄﾞ	商品名・サービス名
655	エアコン
656	DVD プレイヤー
657	液晶テレビ
660	照明器具
670	携帯電話・PHS
680	OA 機器
681	パソコン
682	OA 周辺機器
683	ノート型パソコン
7**	**物品(3)**
710	自動車・自動二輪
720	自転車
730	中古車
750	ガソリン類
760	ﾀｲﾔ・ｶｰｴｱｺﾝ・その他自動車用品
770	カーナビ
790	メガネ・コンタクト
8**	**物品(4)**
810	薬・化粧品
820	家庭用雑貨
830	衣服
831	毛皮・生地
832	呉服
840	バック・カバン
850	靴
860	寝具・カーペット
870	身辺雑貨品
880	家具
890	食料品
891	健康食品
892	酒類・タバコ
893	土産
894	花
9**	**物品(5)**
910	スポーツ用品・玩具・人形
911	ゴルフボール
912	クラブセット
913	ｹﾞｰﾑ機・ｹﾞｰﾑｿﾌﾄ
914	ペット
920	書籍・レコード・CD
921	CD レンタル
950	楽器
970	美術・骨董品・古銭・切手
971	陶磁器
980	進物・歳暮・中元
981	流通券 (ﾋﾞｰﾙ・ﾊﾑ・醤油・図書・旅行券)
990	区分けできないもの

付録B　各カード会社連絡先　メモ

加盟店様とご契約されているカード会社の番号（KID）や、本端末の運用に関わる連絡先などを記入して、ご活用ください。

KID	カード会社の名称	加盟店様メモ（電話番号など）

付録C　端末オプション品

品名	型名	交換の目安	備考
バッテリー	KD02901-1707	充電サイクル： 500 回または 購入後２年	
メモリ保護電池	KD02901-1846	４年	
ロール紙カバー	KD30147-D204	破損時	プラテンなし
プラテン	KD02901-1708	破損時	
AC アダプタ	KD02902-5420	―	AC コードなし
AC コード	CA63077-2001	―	AC アダプタ用 電源コード
クリーニングカード	D99L-1005-0214	―	磁気カード、 IC カード兼用
避雷器	CA53500-0033	―	雷サージ保護用

Point　端末オプション品のご注文については、富士通決済端末サポートデスクまで、お電話にてご連絡ください。

Point　ロール紙および売上票送付用封筒のご注文については、CARDNET サービスデスクまで、お電話（自動音声応答）にてご連絡ください。

JET-MOBILE 取扱説明書
２０１１年７月１日発行

・本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
・本書を無断で他に転載しないようにお願いします。
・落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

株式会社日本カードネットワーク

■各種お問合せ

カードネット
CARDNETサービスデスク（24時間受付）
TEL：0120-800-661

■備品のご注文

インターネット（PC・携帯共通）
URL:https://www.cardnet.co.jp/jets/
※PCサイトでは、取扱説明書の閲覧や売上伝票の交換方法を動画でご説明しております。

自動音声応答（24時間受付）
TEL：0120-707-243

FUJITSU

■端末故障のお問合せ

富士通決済端末サポートデスク
TEL：0120-982-219

※富士通決済端末サポートデスクの電話番号は、本端末の裏面に貼付したシールに記載されています。

このマニュアルは、再生紙を使用しています。